絶園のテンペスト



★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

絶園のテンペスト

～THE CIVILIZATION BLASTER～

1



原作◉城平京
構成◉左有秀
作画◉彩崎廉

CONTENTS

第一話／魔法使いは、樽の中 ―― 〇〇五

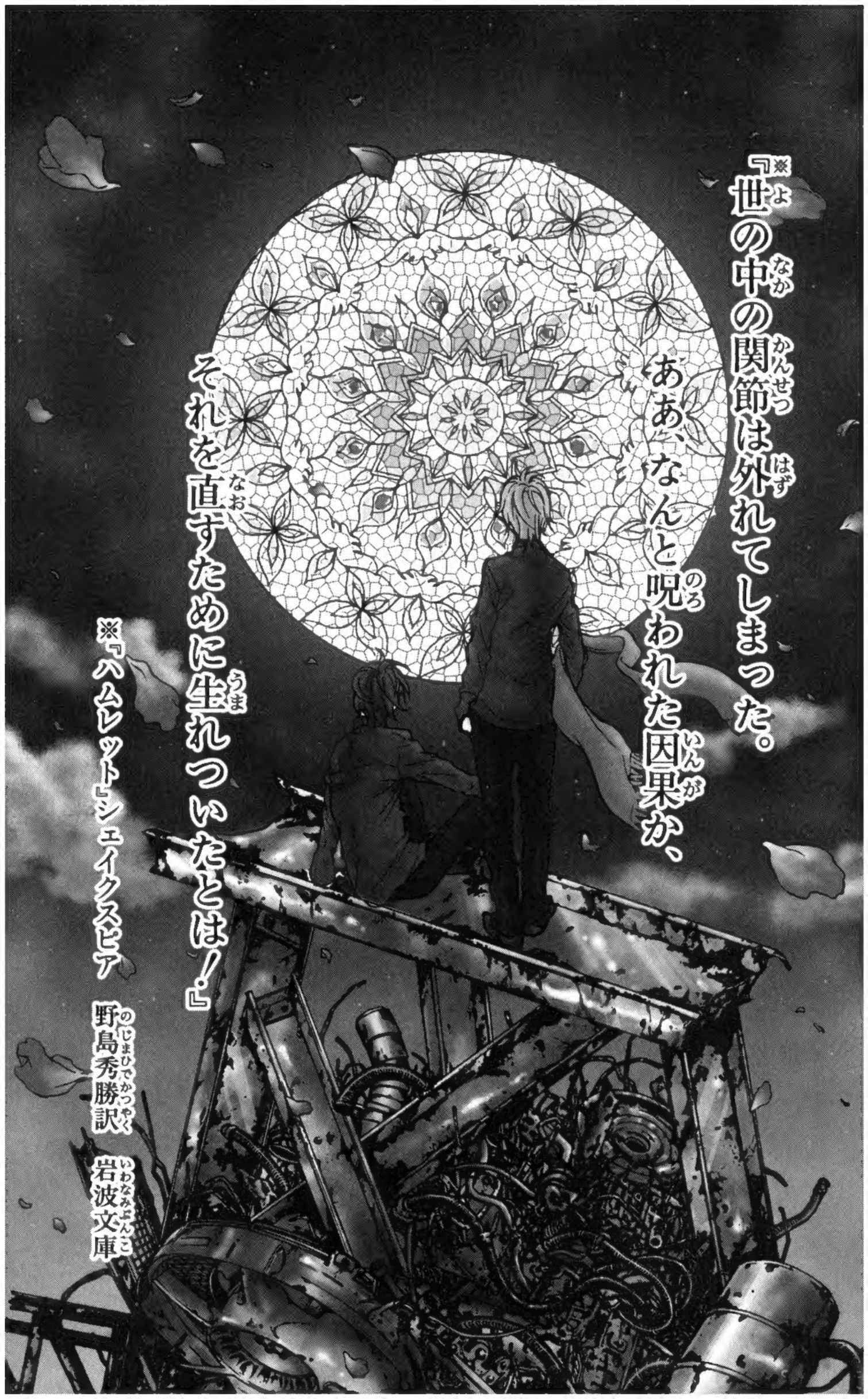
第二話／彼女はとてもきれいだった、と彼女は言った ―― 〇七一

第三話／できないことは、魔法にもある ―― 一三一

第四話／全てのことには、わけがある ―― 一八一

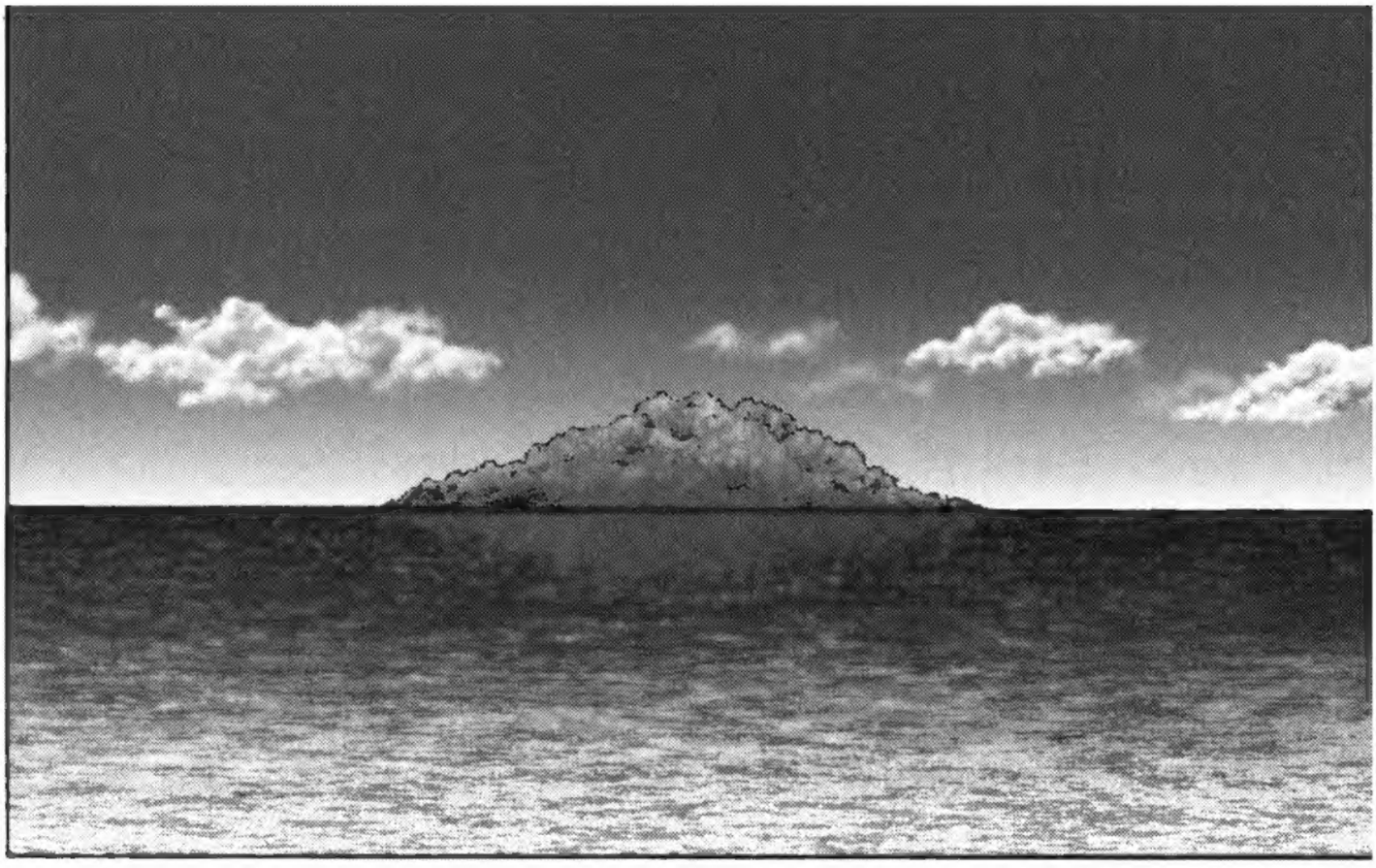
絶園のテンペスト 1

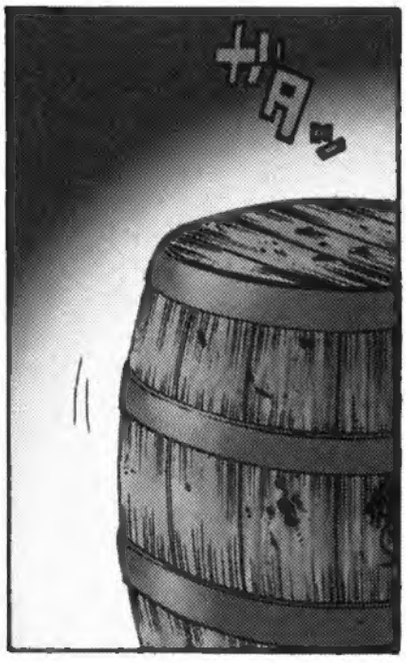
~THE CIVILIZATION BLASTER~

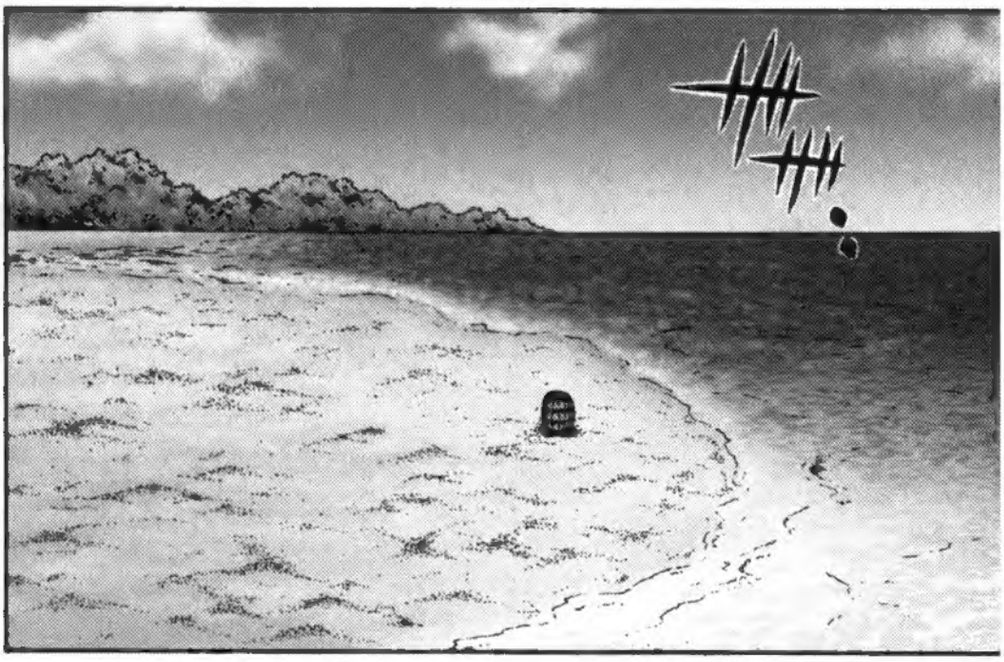

『※世の中の関節は外れてしまった。
ああ、なんと呪われた因果か、
それを直すために生れついたとは！』
※『ハムレット』シェイクスピア
野島秀勝訳
岩波文庫

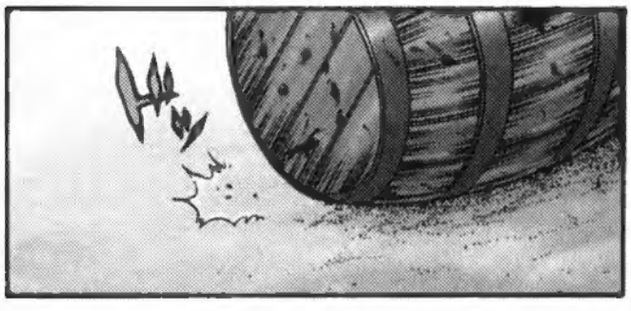


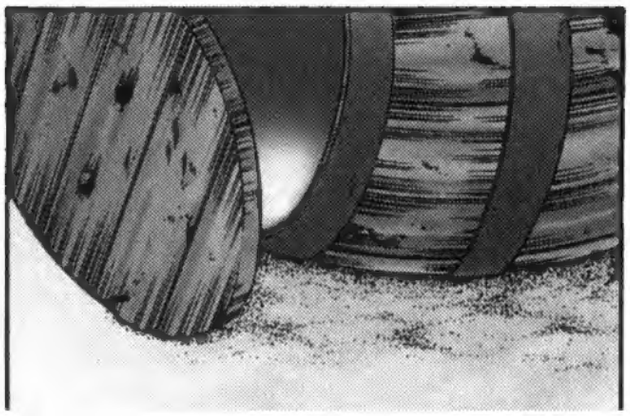

第一話：魔法使いは、樽の中




ガタン







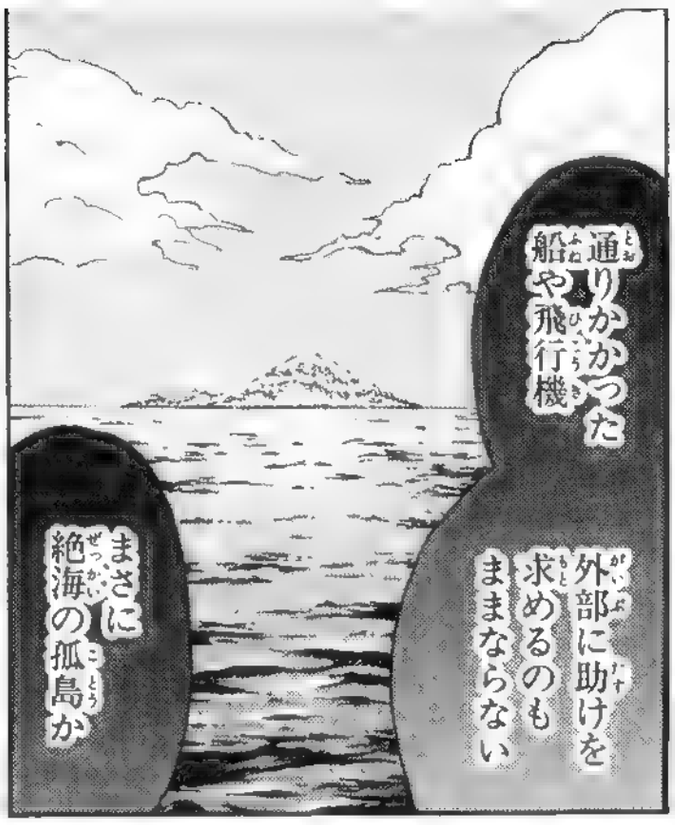

ガタ
ガタ
ガタ


う……
……
ズル
くうっ
…おのれ左門(さもん)
謀(はか)ったな


ここは…
無人島(むじんとう)？
日本国内(にほんこくない)ではなさそうだな


なるほど
安物のサンダルにワンピースで孤島に置き去りにされたわけか
パンツ一丁で放り出されなかった分
少しは敬意を払われたらしいが…
さすがの私も――
これではろくに「魔法」を使えんな…
――左門殿
あれで姫様を封じられたのでしょうか？


あの方は
やはり…
ならば「魔法」は
ほとんど使えん
あの島では
「魔法」に必要な
供物はまともに
手に入らん
あの姫様とて
普通の娘と
変わりなくなる
姫様は
あの島で
骨となる
必ずな
左門の事だ
島を見えなくする
結界くらい
張っているな

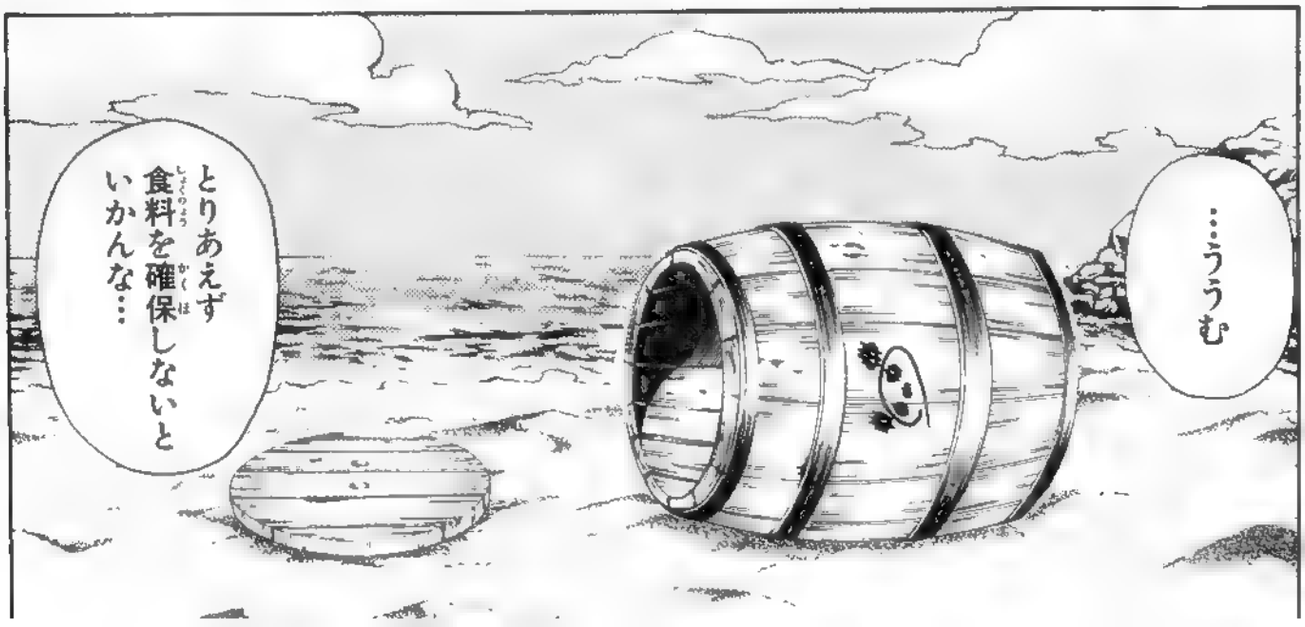

通りかかった船や飛行機
外部に助けを求めるのもままならない
まさに絶海の孤島か

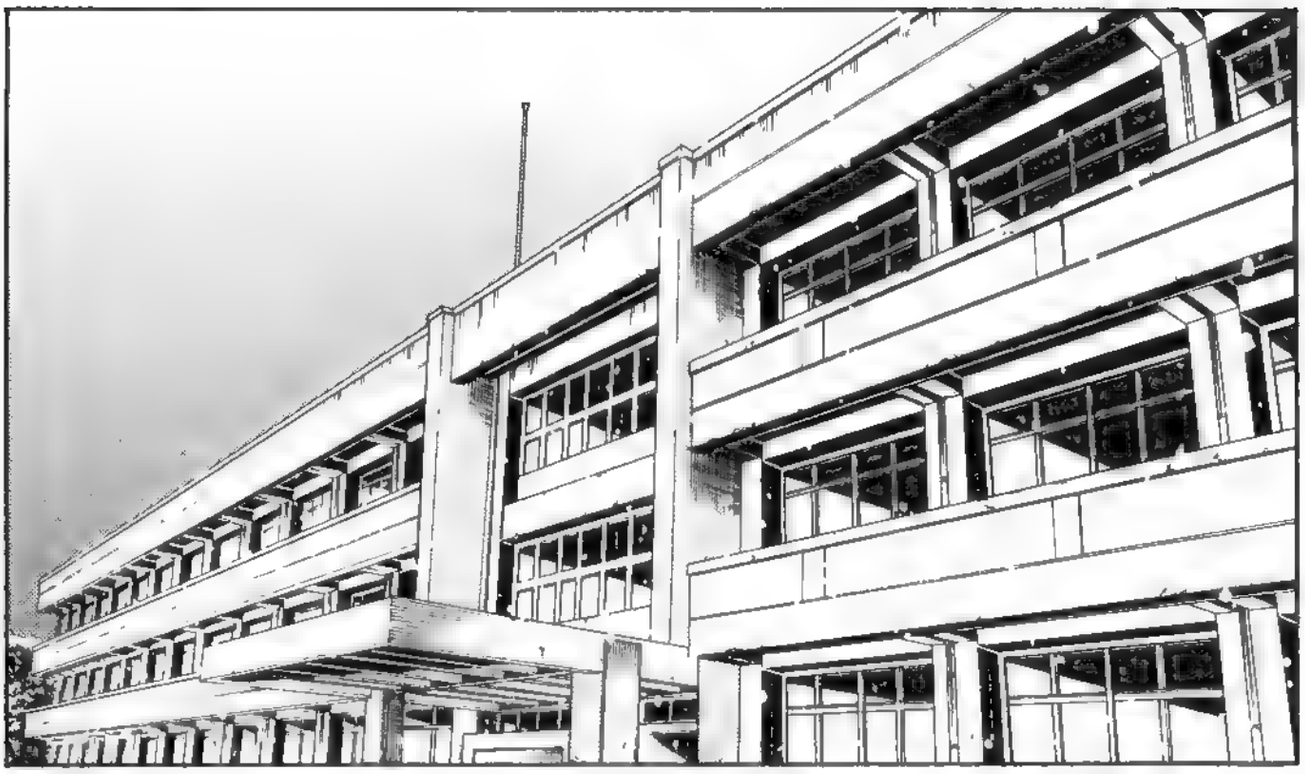

だが左門
安心するなよ！

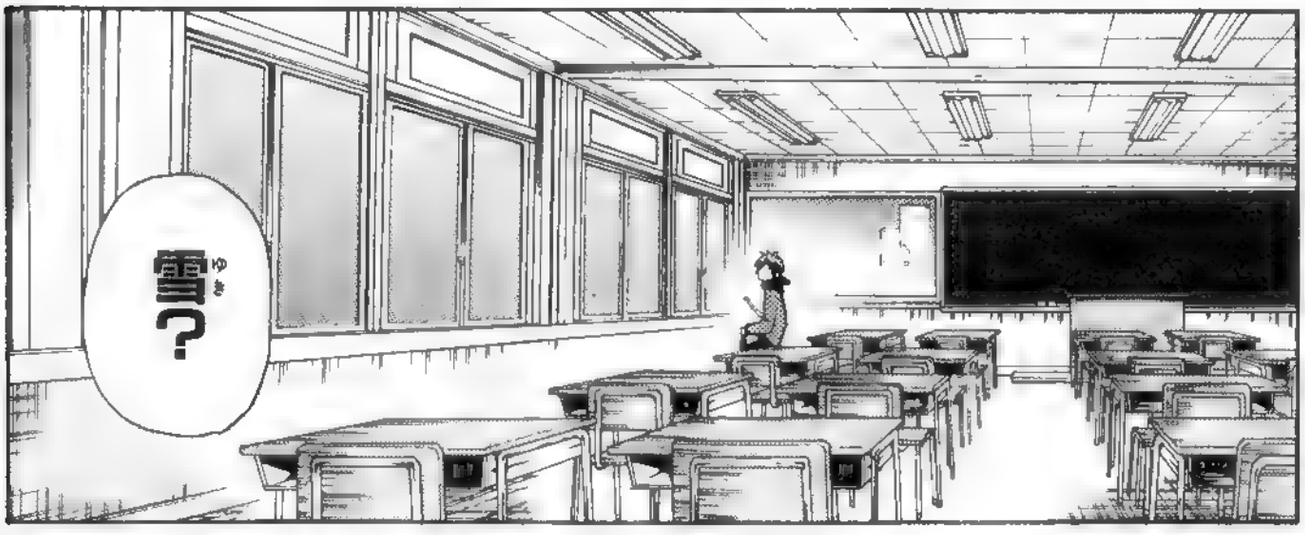

私は鎖部葉風
一族史上最強の魔法使い！


貴様の野望必ずくじいてみせる！

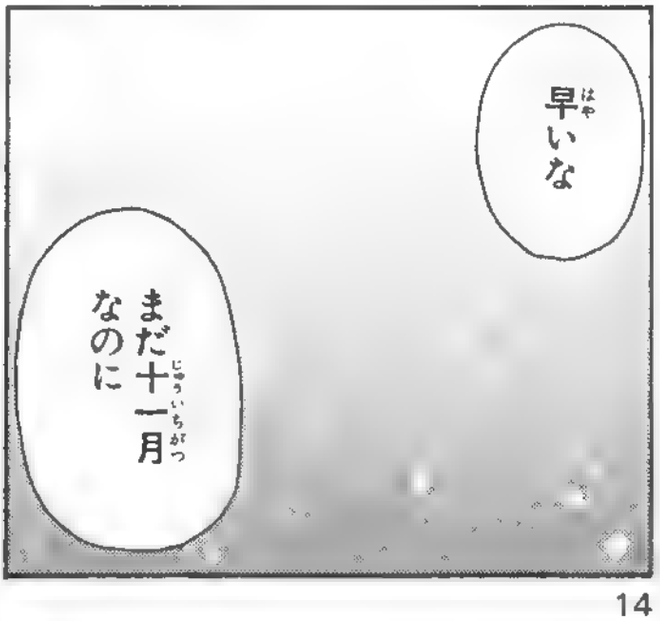


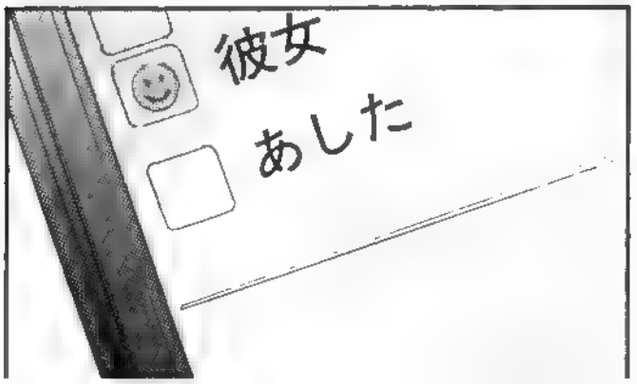

…ううむ
とりあえず食料を確保しないといかんな…




雪？




早いな
まだ十一月なのに


彼女
あした

明日のデート、楽しみにしています。今度すっぽかしたら許しません。



いつまで僕は

来ない明日の確認をするんだろう

それより今は

「真広」の方を心配すべきなんだけど

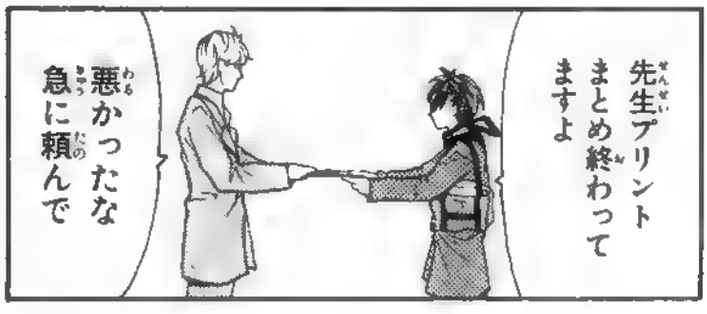
パチン

本当に早いよ

「真広」がいなくなってもう一か月か

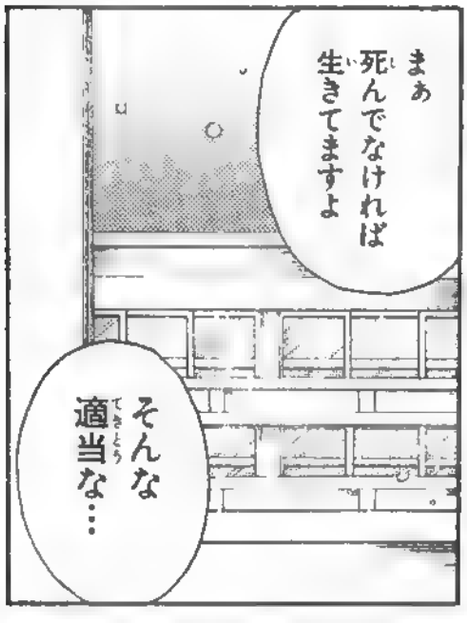

今頃あいつは
何をしているやら
おう
ご苦労さま


…滝川
不破からその後
連絡もないのか？


先生プリント
まとめ終わって
ますよ
悪かったな
急に頼んで


…はい


でも真広の事は
心配するだけ
損です


まぁ
死んでなければ
生きてますよ
そんな
適当な…


幼なじみの
お前が言うなら
大丈夫なんだろうが
退学届け出して
いきなり
消えたからな


あいつの事だ
何か…
新聞に載る
ような事件を
起こしそうでな…


今頃あいつ
家族を殺した犯人を殺してなければいいんですが
そうですね
コツ…
真広が姿を消したのは
一年前の事件の手掛かりを見つけたからかもしれない


吉野
不破家之墓
どうして
父さんと
母さんと
愛花は
殺されたんだ？
…警察の
言う通りだろ
夜中お前の
両親と妹は
金銭目的の
何者かに
家に押し入られ
殺されたんだ
まとまった現金が
なくなっていたし
強盗殺人として
捜査もされてる


そういう事を訊いてるんじゃない
父さんも母さんも普通に生活してた
愛花もいい子だった
なのにどうしてこんな風に死ぬと決められたんだ？
その上いまだに犯人は捕まってないんだ？
犯人は捕まるかもしれないよ
事件から十か月——
いまだに手掛かり一つつかめていない
遺留物はない
目撃者もない
犯人が単独か複数かも割り出せていない


捜査本部も
ほとんど動かなく
なった
これから先
事件が進展する
可能性はない
ブツ…
不合理だろ
この犯人が
何の裁きも
受けないなんて
辻褄が
合わない
まあ
そこが
人の世の
おくゆかしさと
いうやつじゃないか？
――で
その不合理を
お前はどうするんだ？
犯人を自力で
見つけて自力で
裁くのか？


ああ
そうだな
どんな手を使っても
辻褄を合わせてやる

でも
真広――

警察が
投げ出した何の
手掛かりもない
事件を

どうやって
解決するんだ？

かと言って
今さら

事件を解決する
手掛かりなんて
出そうもないけど…

真広

お前が
求めているものは
手に入りにくくても
つまらないものだよ

たとえ
手に入ったって
それは――

お前を幸せに
するものじゃ
ない


まぁ…
こうしている
僕も
相当ダメ
なんだけれど
ハァ…
キミが
不破真広君?
…っ!
…ん?
ごめん
人違い
「不破真広」
にしてはどうも
野暮ったい


失礼
私は
エヴァンジェリン
山本
親しい人には
フロイライン山本と
呼ばれている
無職の
28歳
あやしい者じゃ
ないから
いやいや
にっこり
まるごと
全部あやしい
ですって
「不破真広」君を
探してるん
だけど
キミは彼と
どういう関係？


友人です
滝川吉野
高二
それだけで
お墓参りまで
するかな？
親友？
付き合い
だけは
長いですが
彼の家は
空き家
同然だし
手掛かりがないかと
一応ここまで足を
伸ばしたんだけど
真広君と
最近連絡は？
一月前に
いなくなって
それきりです
メール一つ
ありませんね
本当？
本当




悪いけど
問題は
差し迫って
いるの
知ってる事は
全部話して


おい
真広
お前また
何やらかし
たんだ？
——二週間前
ある地域で
十代後半とおぼしき
少年が目撃された
以後
その地域は
封鎖されてる
そして一週間前
別の地域で同一と
思われる少年が
目撃された
その地域も
現在立ち入り禁止の
厳重封鎖中
KEEP OUT
立入禁止
それが
真広!?
いや…
地域封鎖って
何です？
二番目の地域で
少年は
死の危険に
あった人間を
一人助けている
その時
名を尋ねられ
少年は——

「ふわまひろ」と名乗った

その名と目撃された容姿

推測される年齢を合わせてしぼりこんだ結果

墓

所在のわからない「ふわまひろ」は

この「不破真広」だけ

……それ人違いです

あいつは人助けなんてするタイプじゃない

親友がひどい言い草ね

事実あいつはひどいんです

助けた相手に本名を言うのもらしくない

…相手が女の子だとついってことない？

パサ!!

十五歳のきれいな子だったけど？

許しません。

…なら
助けたかも
しれません

うっかり名前も
言ったかも

あら

そういう子が
真広君の
好み？

いえ
あいつは年上
好きです

それでも見捨てる
時は容赦なく
見捨てますが

……

ただ

真広には妹が
いましたから

似た子を見ると
放っておけなかった
かもしれません

あいつは
愛花ちゃんを
何より大事に
してましたから

大事に
してた？

どうして
過去形？

彼女は今
この下です


本当に
何も知らない？
地域封鎖とかニュースで言ってないよな
そんな秘密を知った相手をそのまま生かしておく？
じ…
えーと…どうする？
とりあえず時間を稼ぐ？
少し気を逸らせれば…


蝶…
何？
いえ…
揚羽蝶が飛んでるんです
蝶々がどうしたの？
初めて見るわけでもないでしょ？
ゲンゴロ
揚羽蝶はサナギで冬を越すはずです
今十一月雪降ってるんですよ！
十六無
普通に飛んでるわけありません！
でも一匹でしょう
何かの間違いで…
!?


そんな……!!
まさか これ……




!?
カッ
ニメアマーノ
まだだっ！
できれば
もう一押しっ……!!
え…！


お生憎様
カッ
ア
ア
ア
ア
ア
ア
銃は一挺だけじゃないの
ショ…
ショットガン!?
うわ…
これはないって…!


ガガガガ
くはっ!!
人の家の
墓の前で
何してやがる


ああ？

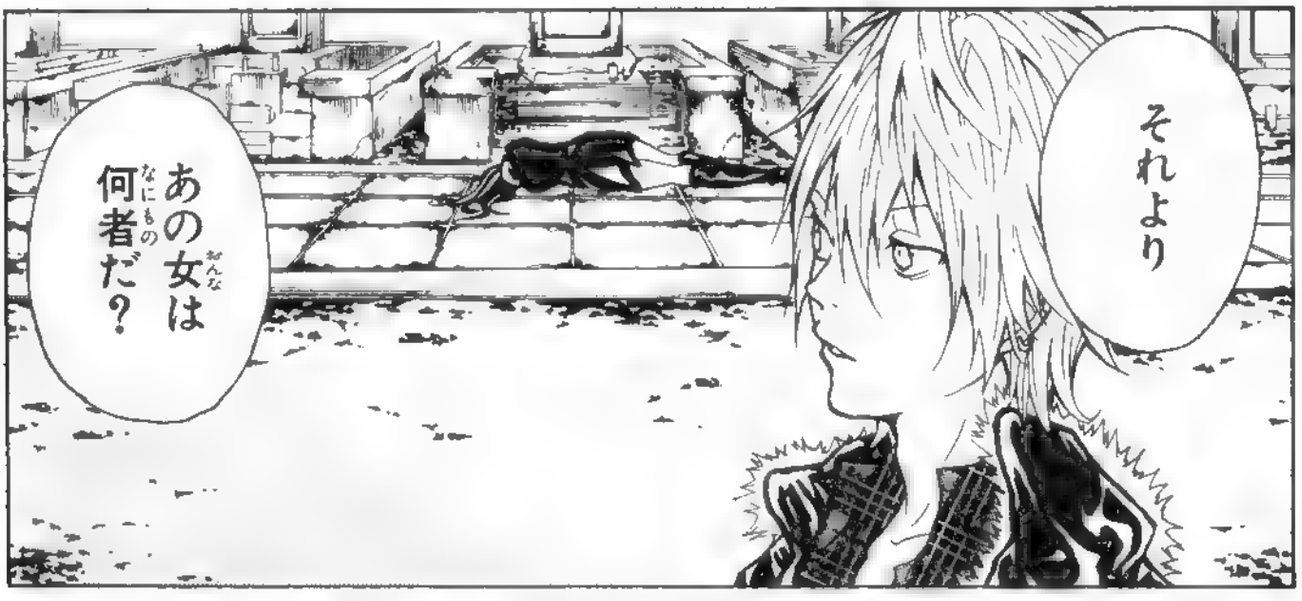

真広！


お前…
どこから現れたんだ？


飛んで
来たんだよ


あっちだ


あっちは
崖だぞ
だから


それより
あの女は
何者だ？




二十八歳で無職の
フロイライン山本
さんだ
何の
冗談だよ
冗談じゃないから
びっくりなんだ


この蝶は
お前が連れて
来たのか？


逆だ
こいつらを追ってきた
一度ここには戻ってくるつもりだったけどな
なぁ
真広……
真広っ!!


カキキ…
キキ…
弾が…
空中で止まってる！
スウ…
コロ…
当たったら
どうしたんだ？
…くっ


不破真広
やはりキミは「魔法使い」に会っているのね
答えなさい
キミは
「黒鉄病」とどう関わっているの？
まほうつかい？
くろがねびょう？
あんた政府の人間か？
残念ただのボランティア
役人や政治家が「魔法」を信じると思う？

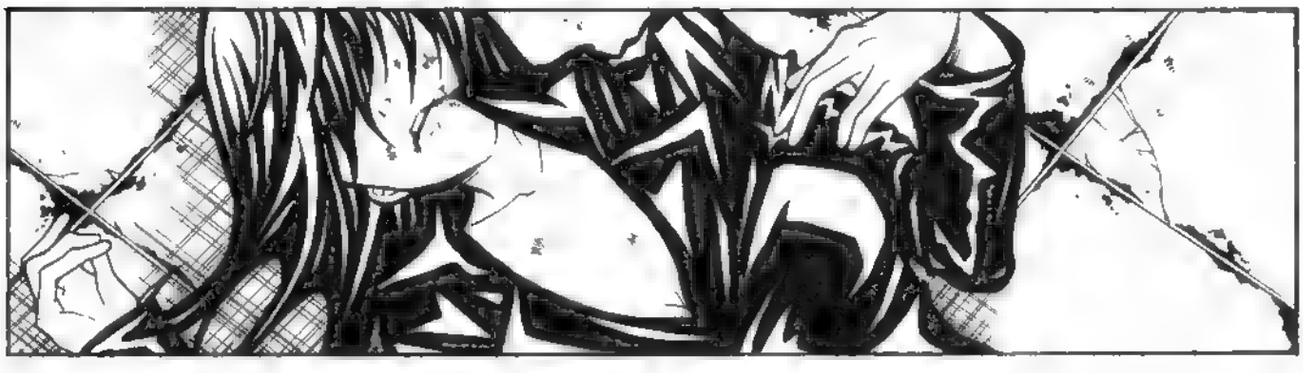

答えて！
「黒鉄病」の被害者は増え続けている
このままだと日本は滅びかねない！
だから何だよ
ガキィィン
速いっ！この間合いを瞬で詰めるっ！
これが魔法の効果ってわけ!?


容赦なしねっ
OK
なら構わない！
その力
どれほどのものか
ドシャーン
見せてもらおう
じゃない！
ガラ


ニヤッ
ゼロ距離でも効かないかっ…ならっ…!!
いいぜ
その強気なとこ


でも 今は
寝てろよ

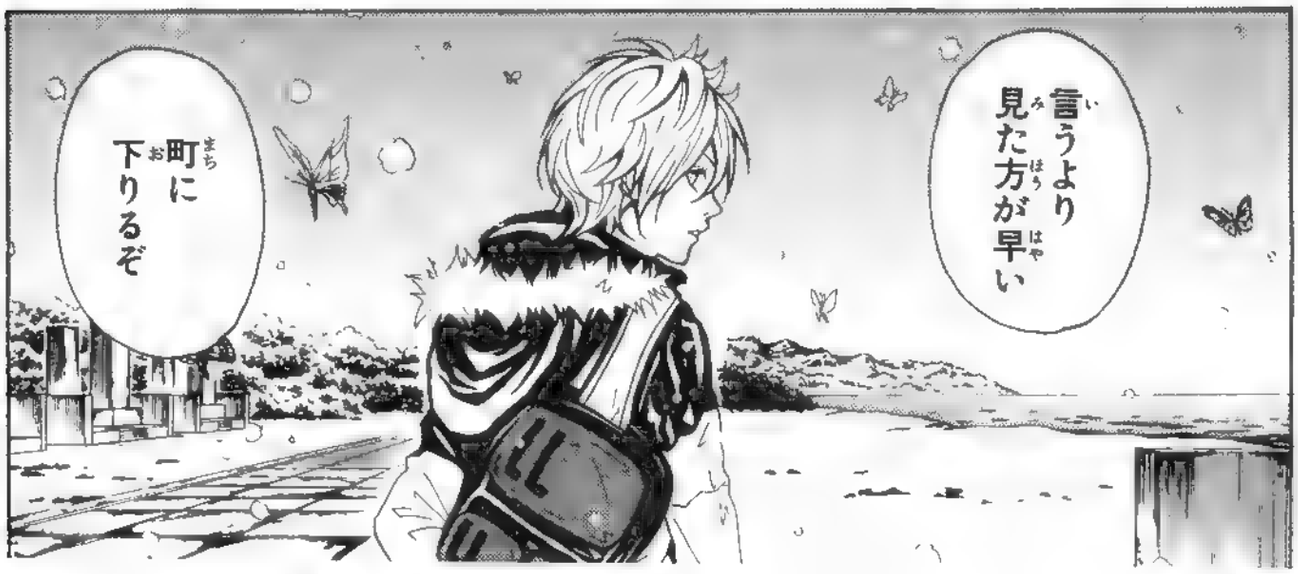

シュウウ…

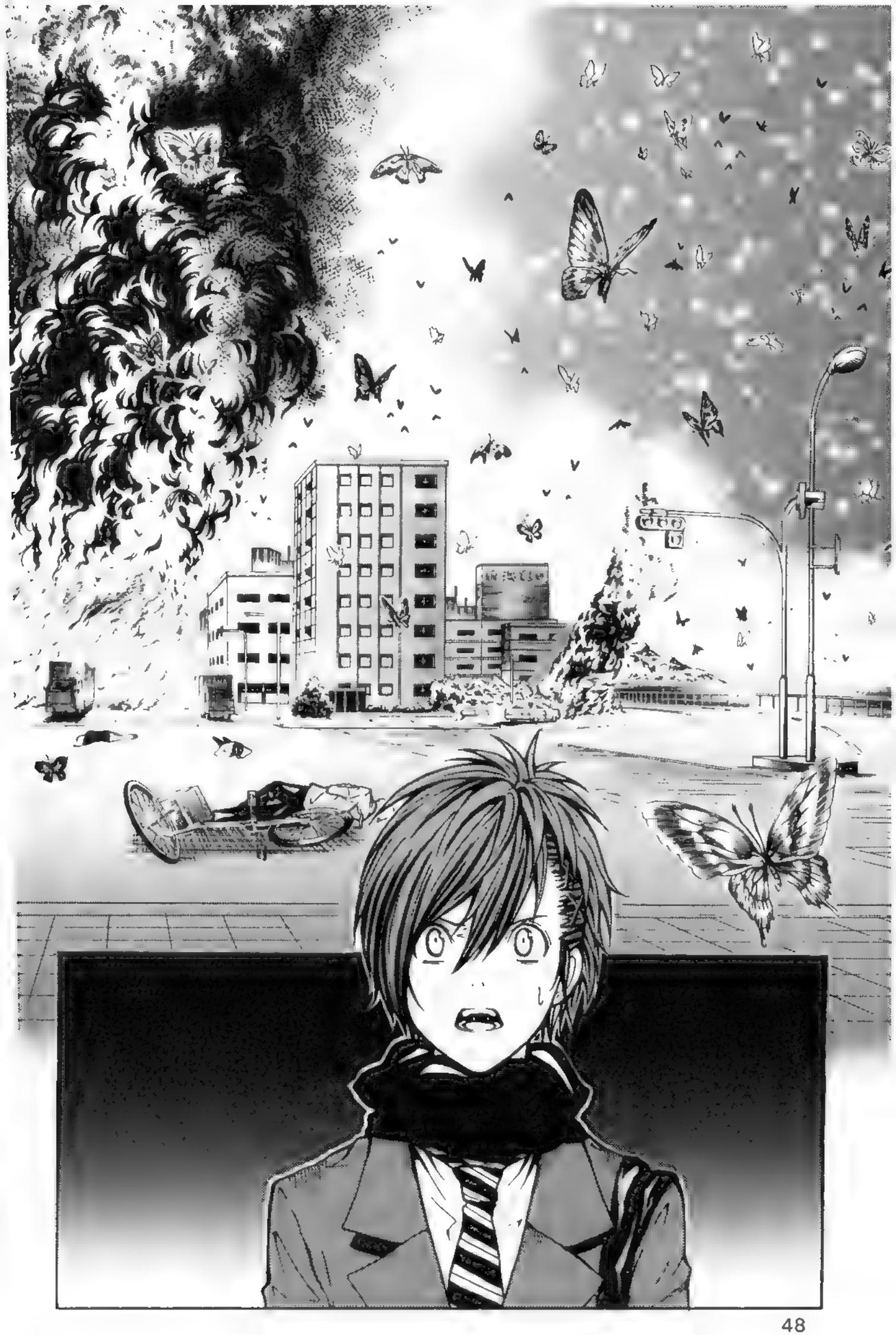



…さて
行くか
ポン
ポン


……


飛んで来たり
銃が効かなかったり
お前「魔法使い」の弟子にでもなったのか？


言うより見た方が早い
町に下りるぞ




何……
何だ…これ…？


おいっ！
大丈夫かっ
放っとけ
もう金属化が
始まってる
金属化？
そろ…
硬い…
確かに
金属みたい…


あの女が言ってた
「黒鉄病」ってやつだ


生物を
金属化する
呪的現象だよ
病気じゃ
ないが
状況だけ見れば
たちの悪い
伝染病だな


すでに三つ以上の
地域で同じ事が
起こってる
人間だけでもう
千人くらいはやられて
るんじゃないか

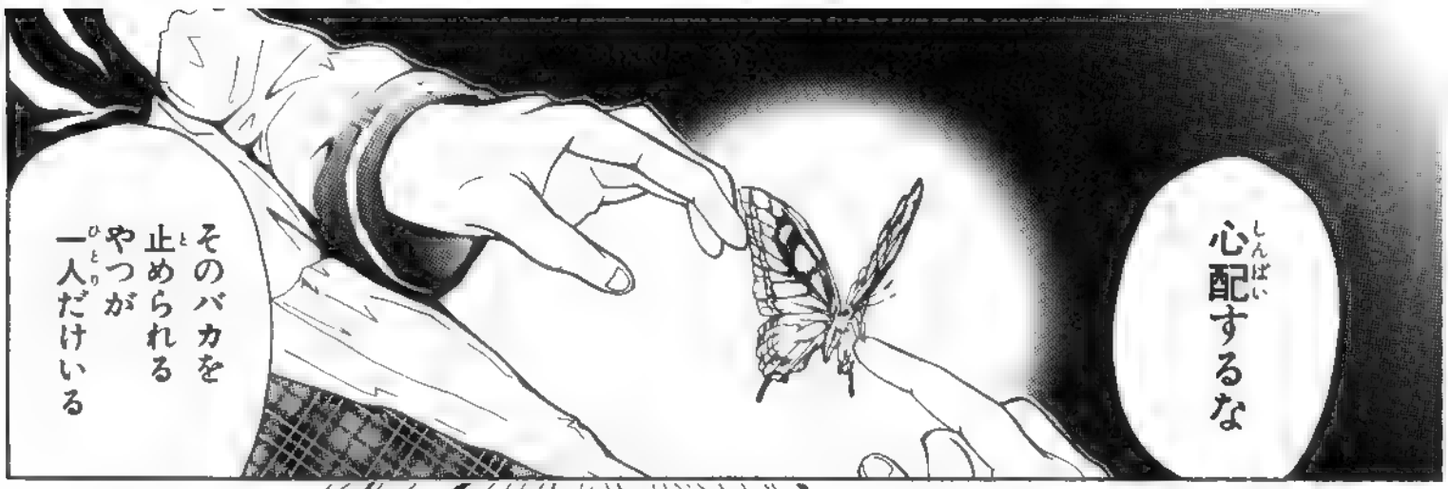

千人って…


政府は必死に
隠しているが
いつまでもつか
ここらも何か
理由つけて
封鎖されるぞ


あの人が言ってた
地域封鎖って…
こんな事が
起こっているから
なのか？
ハッ


呪いか何か知らないけど
僕らは大丈夫なのか？
あのフロイライン山本さんも…
――大丈夫だろお前もあの女も
一番影響のある時にオレの近くにいたからな
……
いったい何だ？
いったい
何が……起こってるんだ？


魔法さ
それを扱う一族がバカな野望を抱いたんだ
より大きな力を得ようと
目覚めさせてはならないものを目覚めさせようとしている
「黒鉄病」はただの前触れだ
そいつが目覚めれば日本どころか
世の中すべてがひっくり返る
すべてがひっくり返る？
魔法？
そんなのどうしろっていうんだ？


心配するな
そのバカを止められるやつが一人だけいる

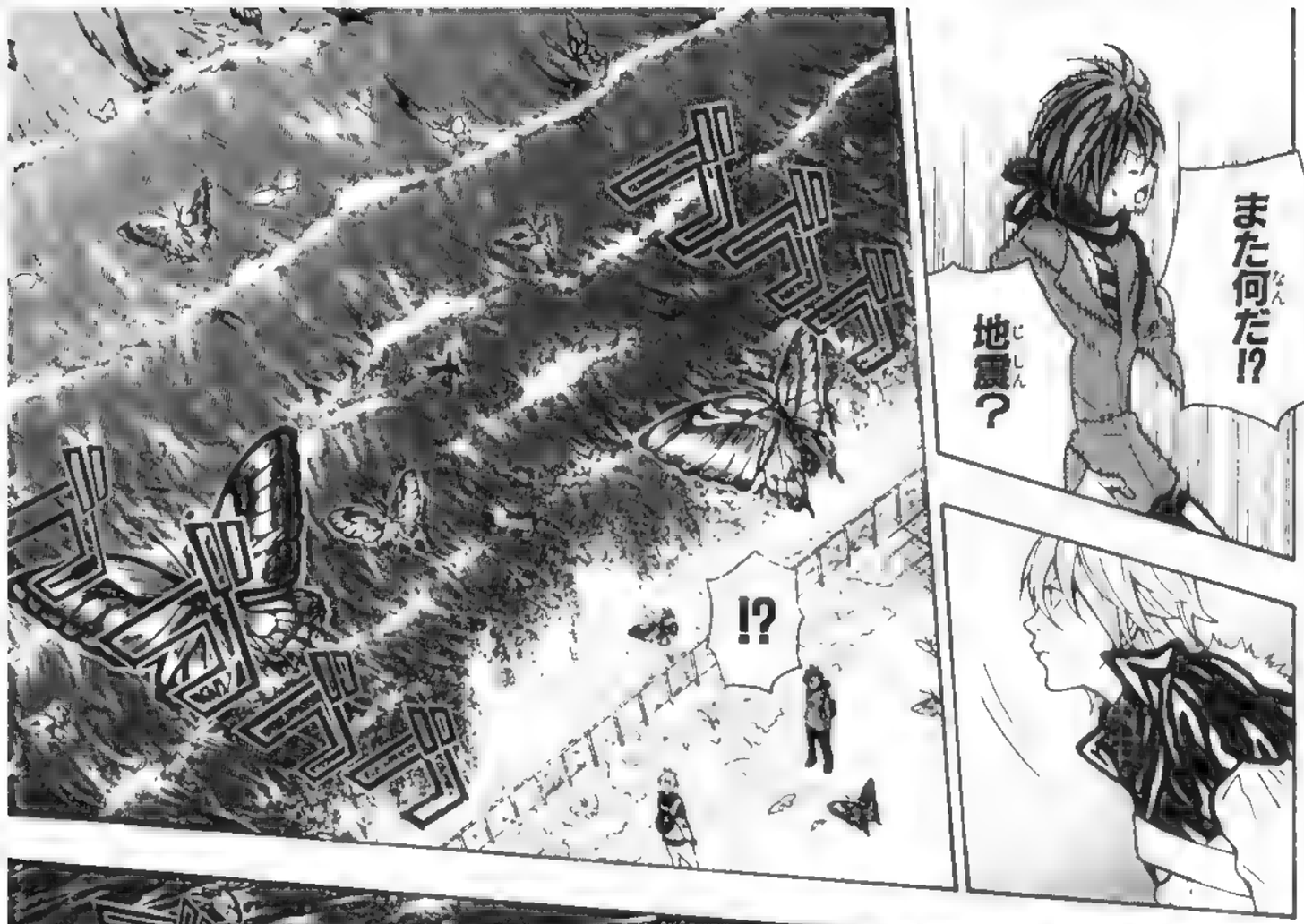

その一族の姫にして史上最強の魔法使い
鎖部葉風
こいつがいれば止められる

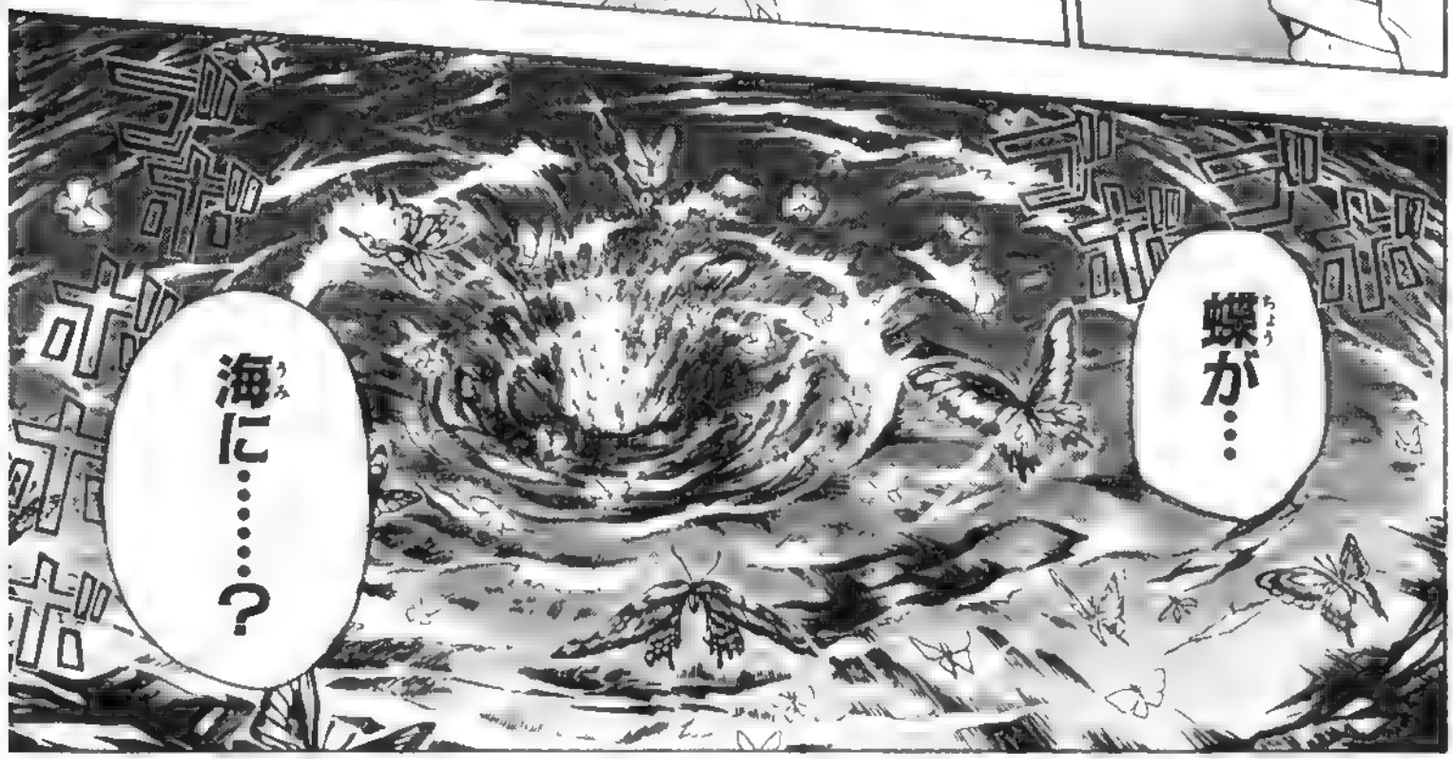

じゃあ…そのお姫様は今どこにいるんだ？
身内にはめられどことも知れない無人島に閉じ込められてるよ


どことも知れないって…
魔法を使って脱出できないのか？
魔法を使うには条件があって
そこじゃろくに使えない


ダメじゃないか
ダメだな
——だから
オレがその姫様に
手を貸してやることにしたのさ
おい 真広
これは公平な取引きだ
恩を着せられる筋合いはない
いつ!!?
そうは言っても葉風
オレがいなくて困るのはお前だろ？
…ほう


貴様の妹を
殺した犯人を
私が見つけて
やらなくてもいいと
言うのか?
おい…
その人形はっ!?
うん?
誰か
いるのか?
ああ
いるが…
十月
十月

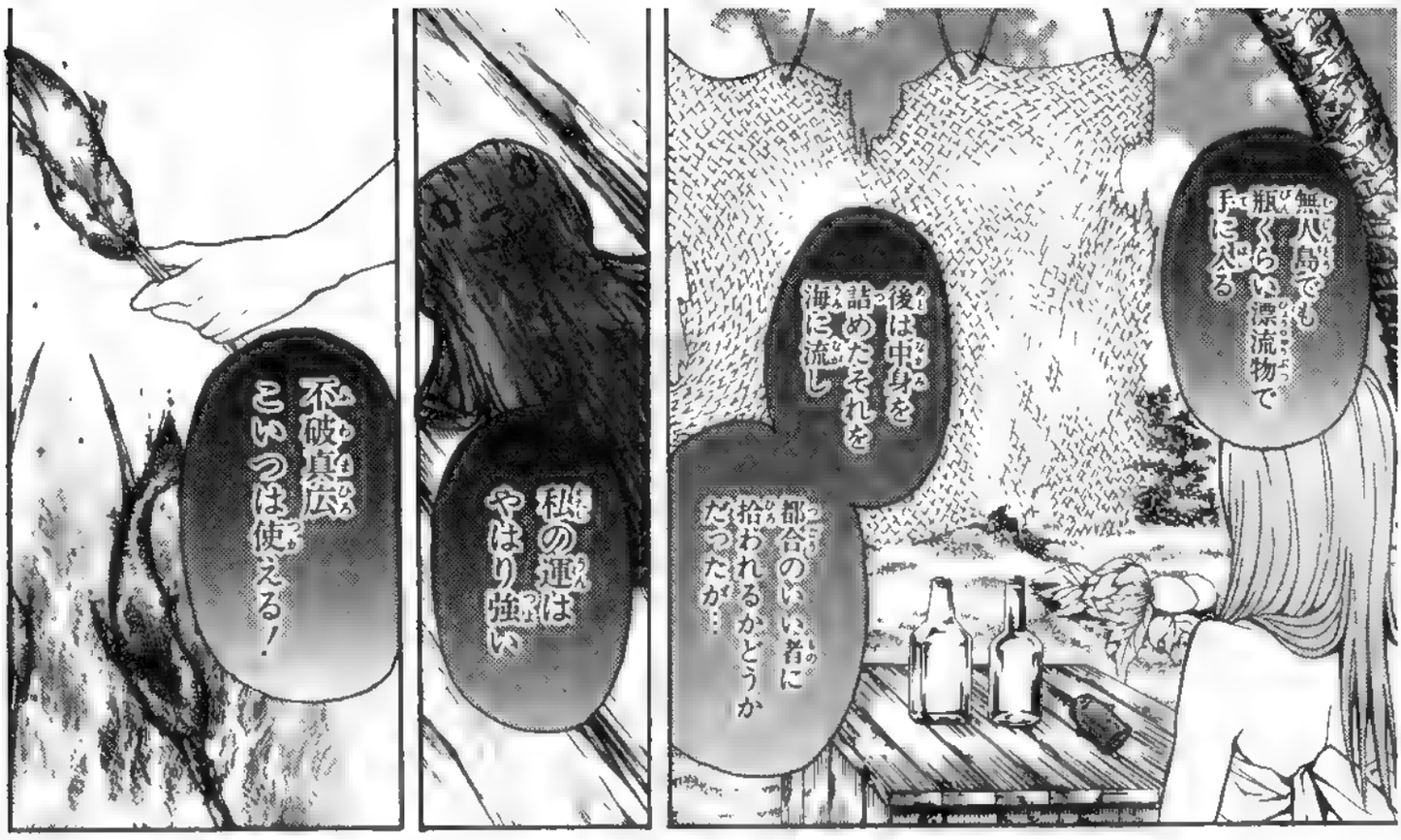

また何だ!?
地震?
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
!?


蝶が…
海に……?

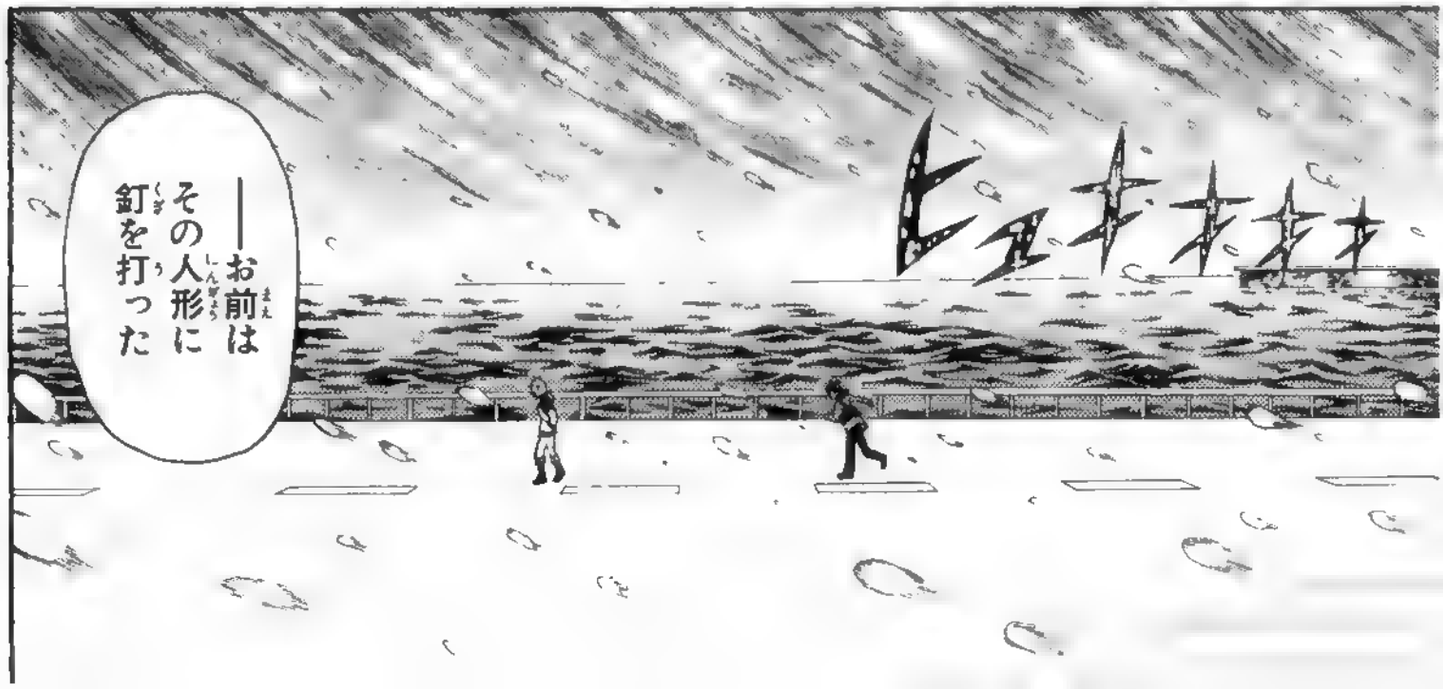

集まってる?
集まってるよな?


いつものが来る
今度は海だ
わかった方角を正確に測れ
これで左門の本拠地がかなりしぼれる
……真広
その人形で無人島の魔法使いと話ができるみたいだけど…
そんなものどうやって手に入れた？
魔法でお前の手に？
でもろくに使えないんだよな？
…一か月前
オレは砂浜に流れついてたガラス瓶を見つけた
中にはこの人形と
メッセージが書かれた板きれが詰められていたよ
板にはこうあった

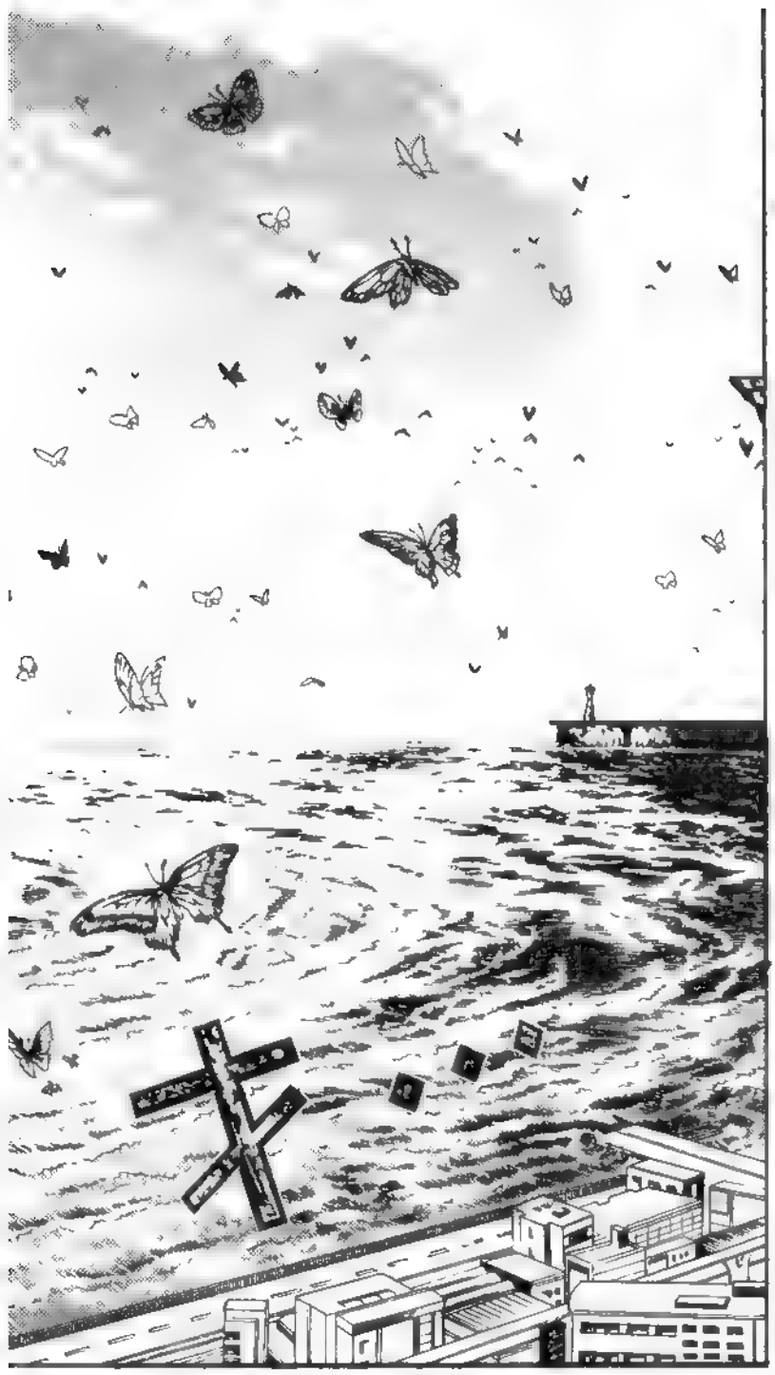

『魔法を信じ
魂と引き換えでも
叶えたい願いが
あるなら――
この人形に
釘を打て』と
瓶詰めの
手記！
海に流された
それを
偶然真広が
拾ったのか！
左門
いかに
島を隠しても
海は世界と
つながっている
ここから流した
瓶は潮に乗り
遠くまで運ばれる
海流研究や
海での遭難者が使う
情報伝達法
瓶詰めの
メッセージだ
パチパチ


無人島でも瓶くらい漂流物で手に入る
後は中身を詰めたそれを海に流し
都合のいい者に拾われるかどうかだったが…
私の運はやはり強い
不破真広
こいつは使える！


左門
パンツ一丁でも私は手強いぞ？


——お前はその人形に釘を打った

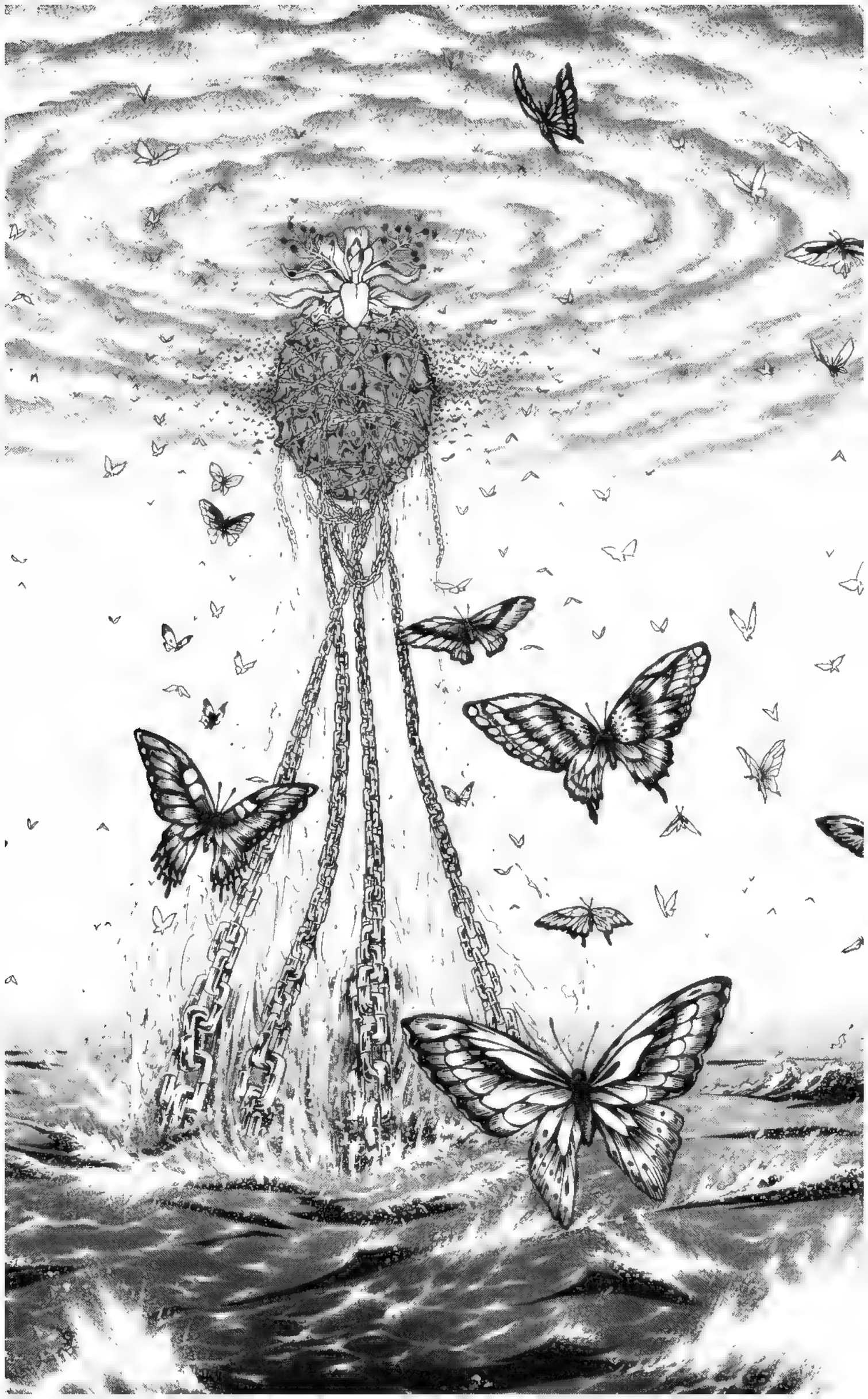

それで何らかの魔法がやっと発動し
遠く離れた孤島の魔法使いと話せるようになったんだよな？
入谷 IRIYA
ああ
本当に話せるだけの頼りない魔法だがな
そしてオレは取引した
オレはそちらに手を貸してやるその代わり
愛花を殺した犯人を魔法とやらで見つけろ
となる
愛花が殺されたのは不合理だ
魔法も不合理だ
なら二つをぶつければ辻褄が合う



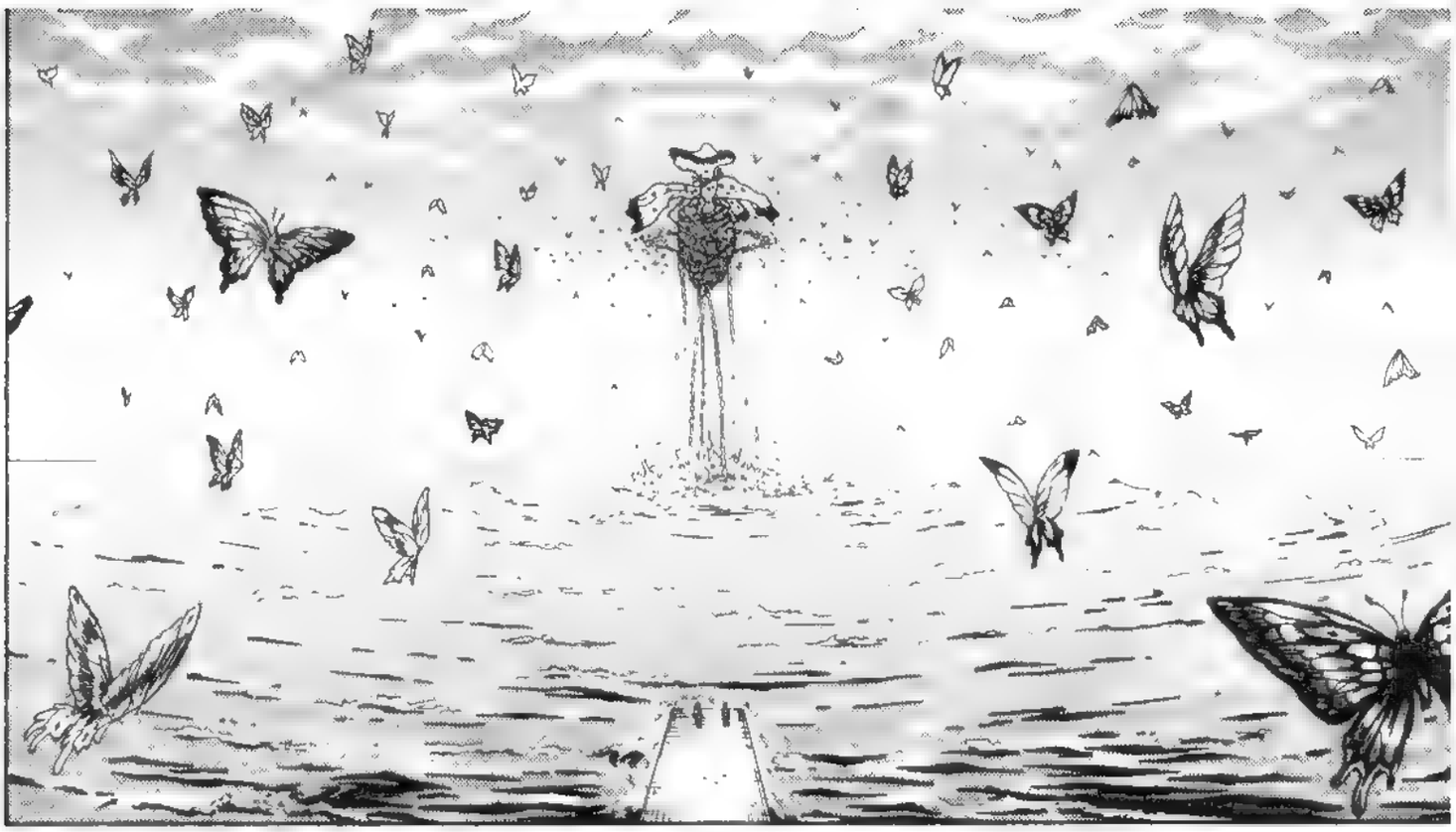

愛花を
殺したやつを
この手で
殺してやれる


見ろ
吉野


あれが
オレらが止めようと
しているもの
その力の
一部だ




果実!?
鎖を巻かれた巨大な…!

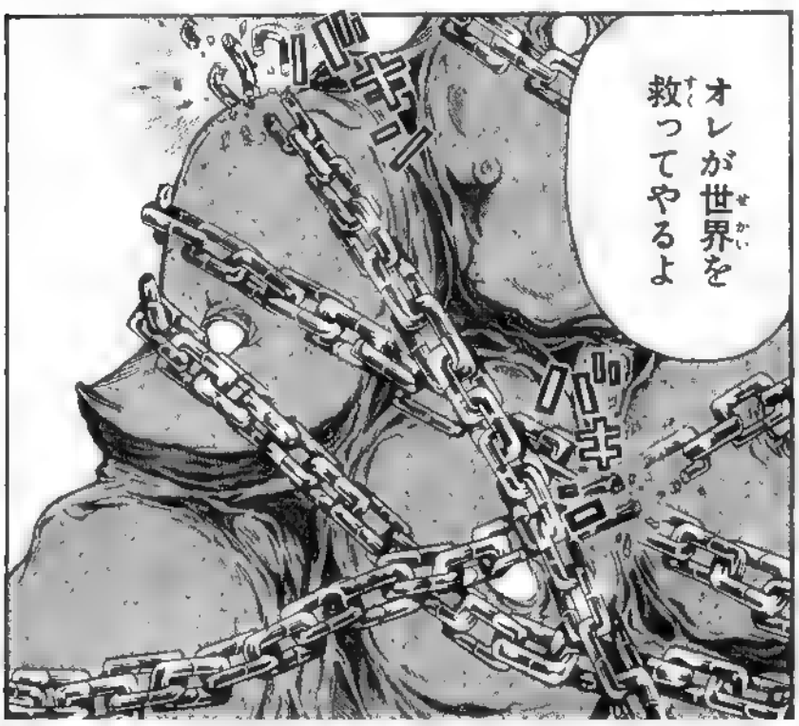



あれが…
一部？
じゃあ全体なら
どうなるんだ？

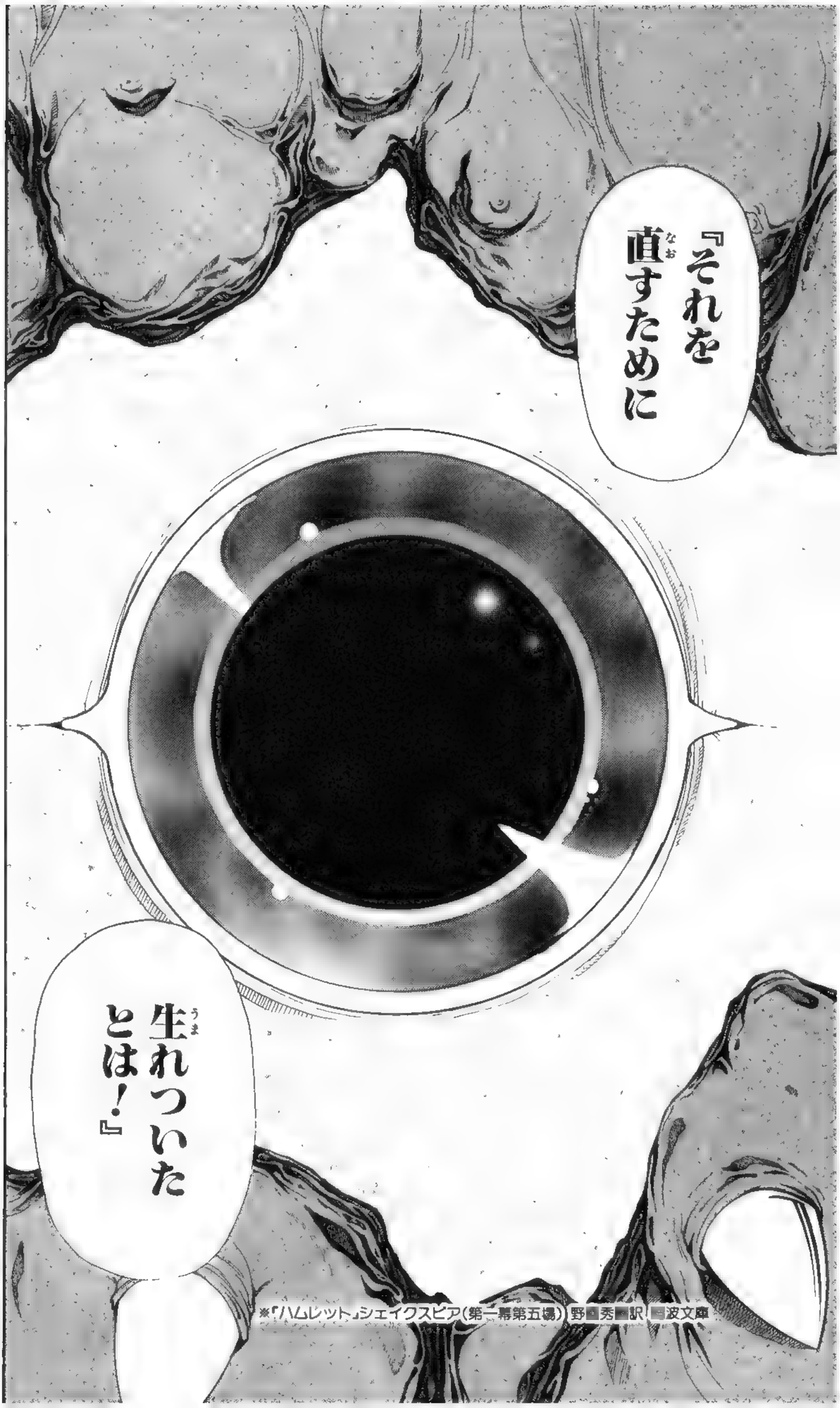

こんなの…
もうとっくに
世界はおかしく
なってるんじゃ
ないか？


この世が
バラバラになろうと
構いやしない


だが
吉野


オレが世界を
救ってやるよ


『世の中の関節は外れてしまった。
バキ
ボロ…
ボロ
ス――…
ああ、なんと呪われた因果か、』



※「ハムレット」シェイクスピア（第一幕第五場）野島秀勝訳 岩波文庫

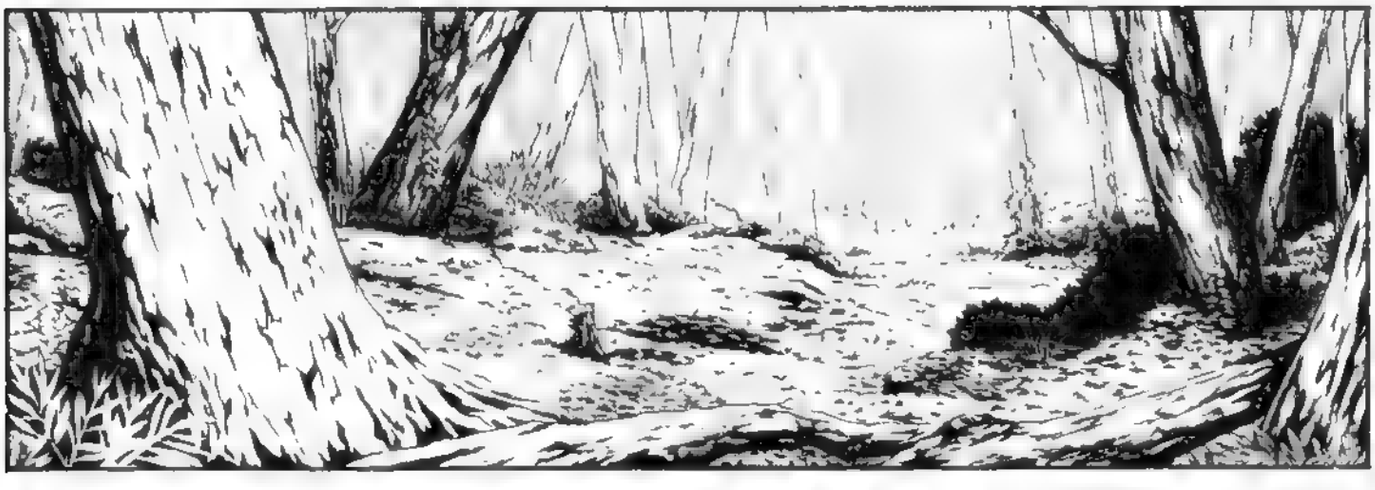
絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

第二話：彼女はとてもきれいだった、と少年は言った



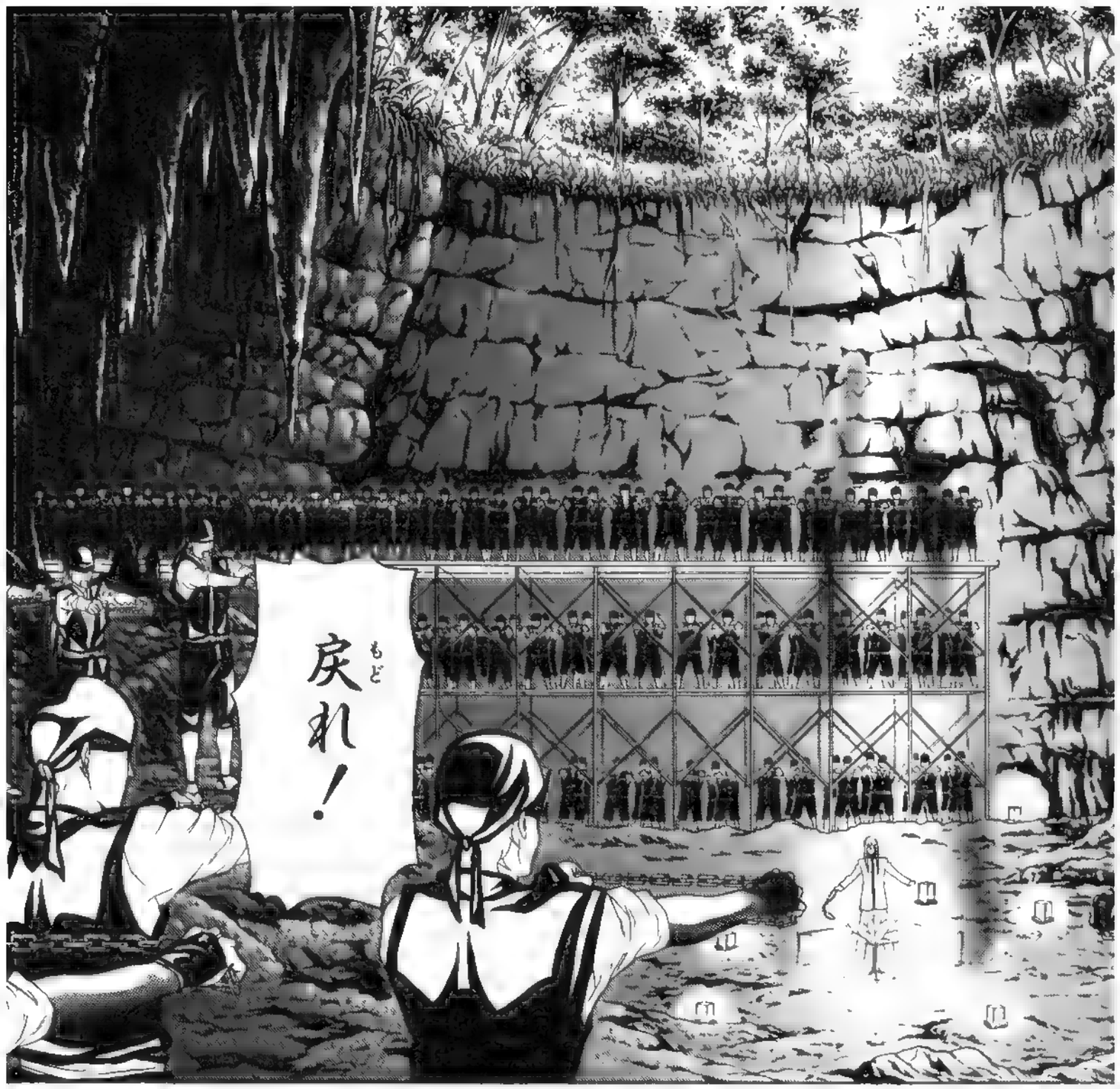





……れ
戻れ……
……れ
戻れ…

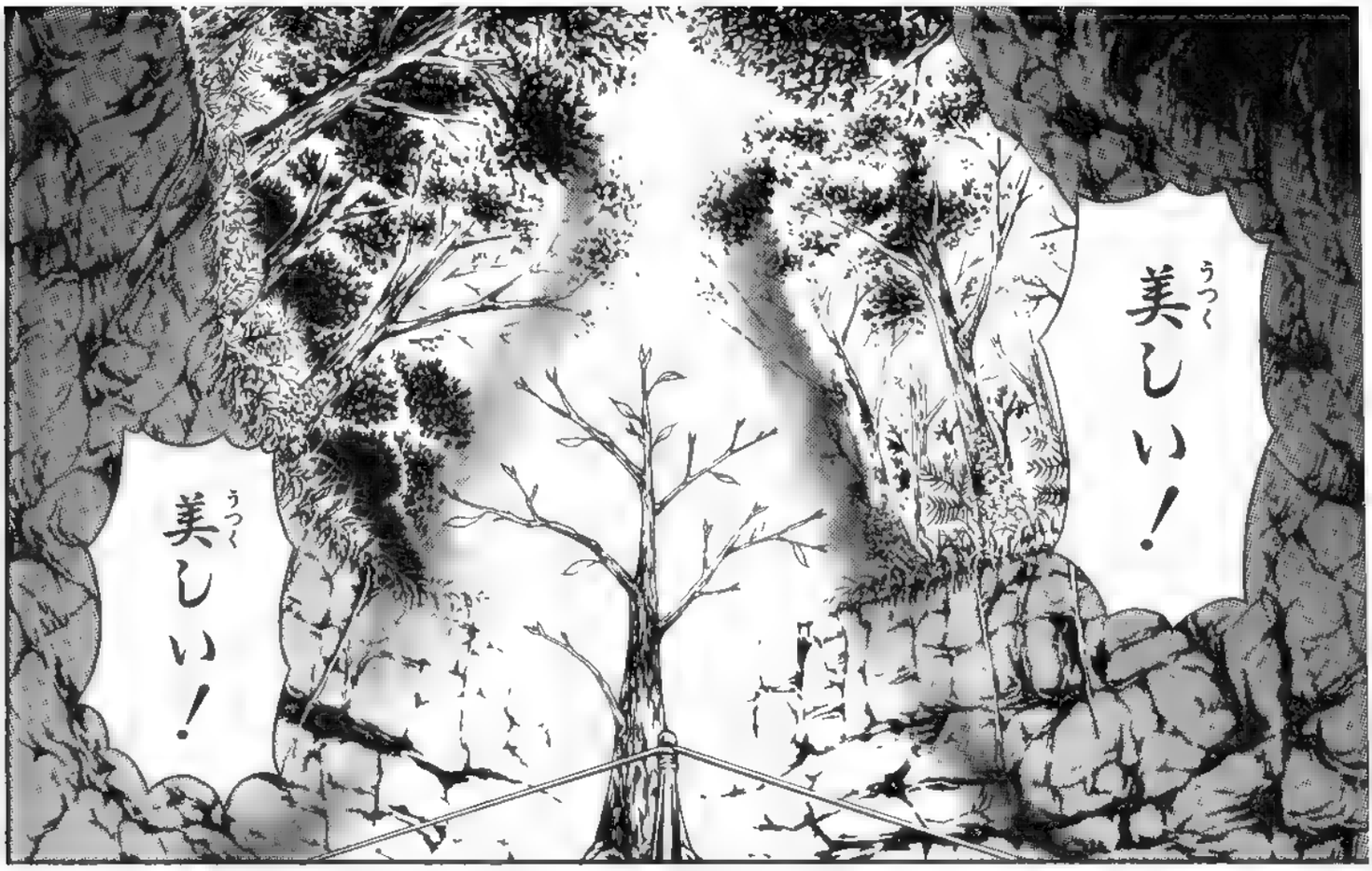

戻れ！
戻れ！
戻れ！
戻れ！
ガラ！
戻れ！
戻れ！
戻れ！

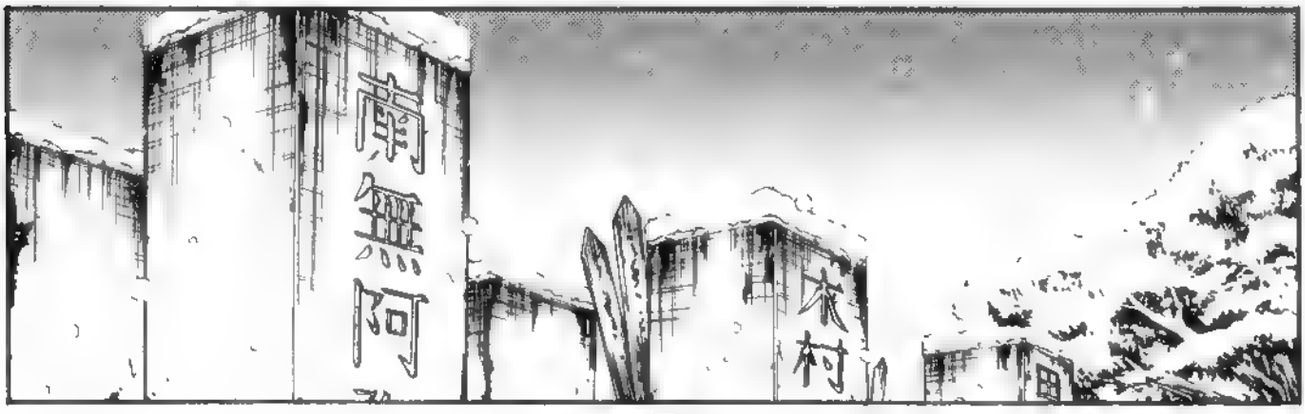

戻れ！
戻れ！
今こそ
戻れ！
分かたれし
果実！


戻れ！


果実！
果実！
果実！
果実！


樹の中の樹
大樹の中の大樹
美しき
絶園の樹に！


美しい！
美しい！


南無阿
木村


……
うう…
…あんのガキども…
チッ

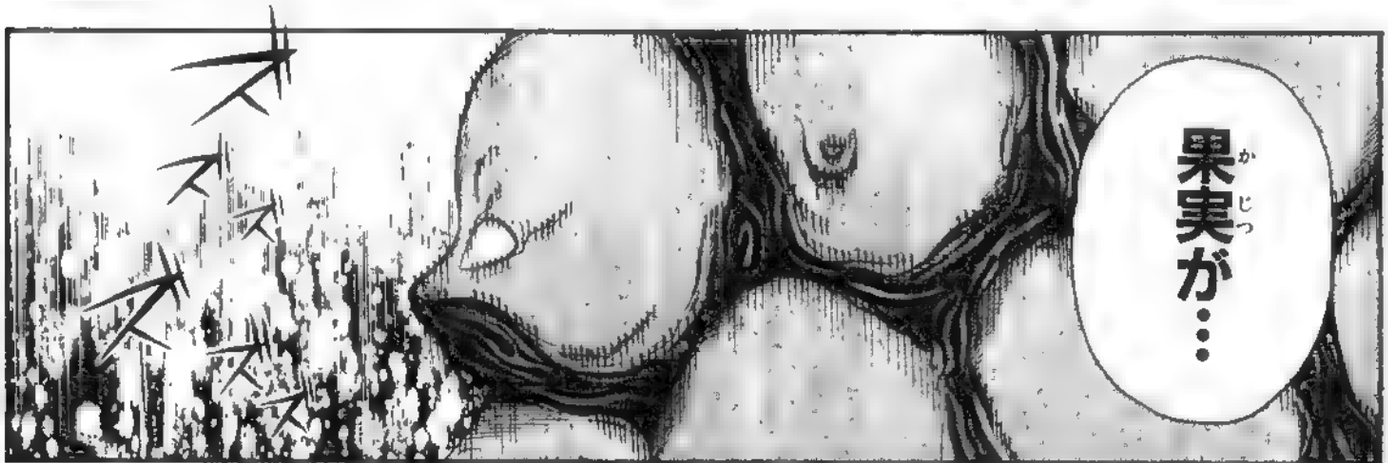

カツ
一応「早河」に連絡入れるか？
「たきがわよしの」を
調べてもらうって手も…
……
あれが――


「魔法」の力
とでも
言うの…？
——この世が
バラバラになろうと
構いやしない
だが吉野
オレが世界を
救ってやるよ
はしゃぐな
真広


左門の本拠地をしぼり込むのを忘れるな

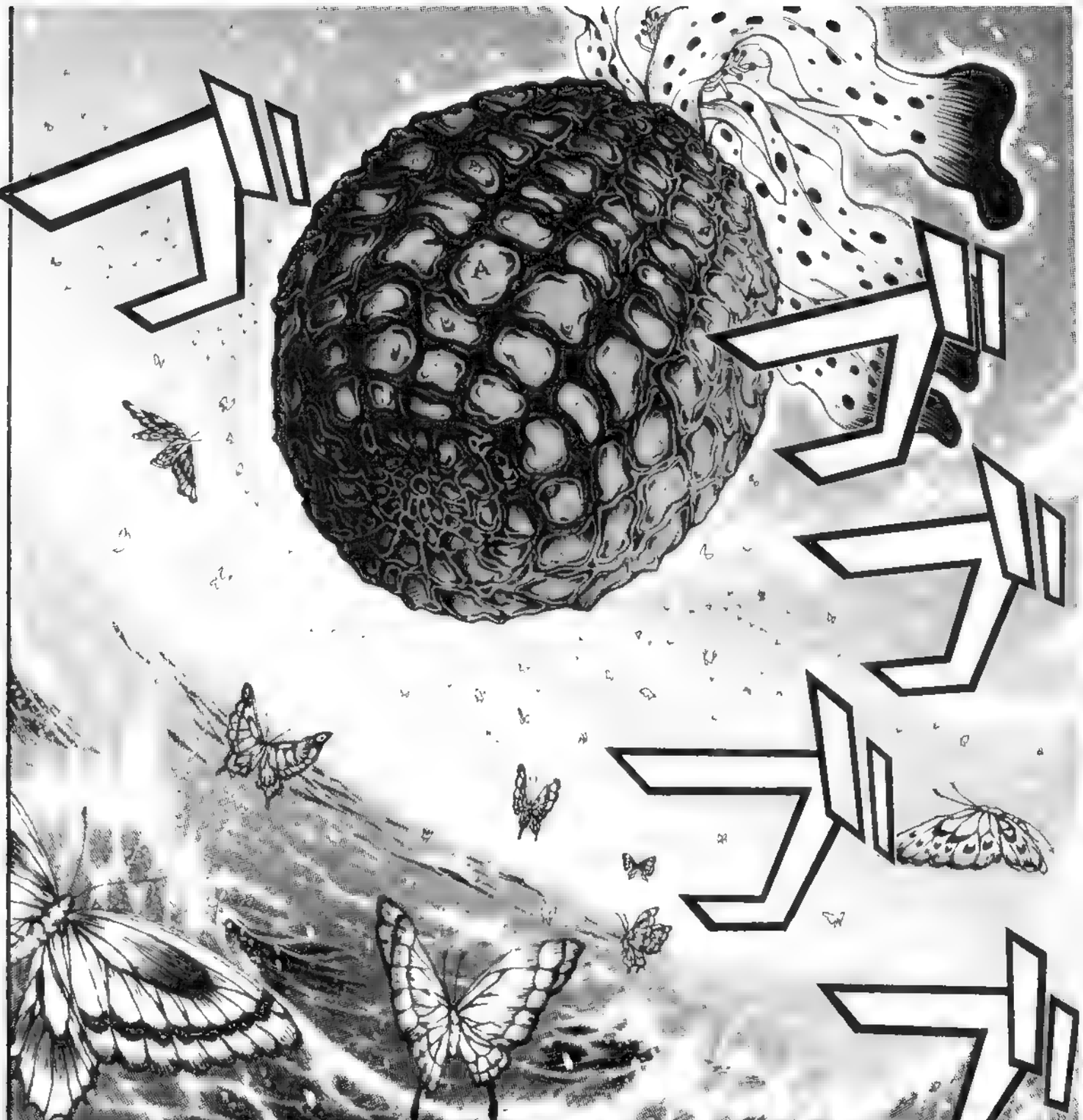

わかってるよ葉風
黙ってろ


――あ


果実が…




ズズズズズズズ


ゴゴゴゴゴゴ


果実が
飛んでいく…

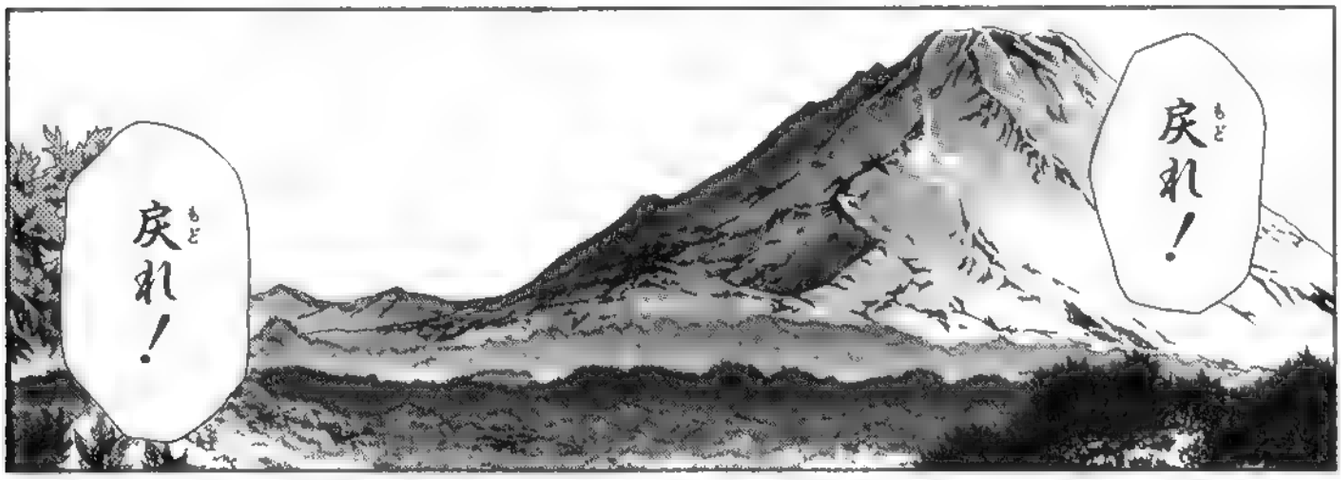

…いったい何だ…？


僕は何に
巻き込まれて
るんだ？


今こそ
ここに！
失われた魔法
失われた大樹


終わりの理を
復活させるのだ！
戻れ！
戻れ！
戻れ！

戻れ！


戻れ！
戻れ！



魔法…
魔法使い

そんなものが
あるなんて
思ってもみなかった

けど…
信じないわけには
いかないらしい

黒鉄病

あの果実が
飛び出す直前に
辺りにいる生物を
金属化させる
現象らしいけど

いったい
どこまで
それに襲われ
たんだ？


いい加減
消防車や救急車が
走り回ってそうな
ものなのに
パパパ
そんな気配
ひとつもない…
——おい
吉野
そう深刻に
なるな


言ったろ
オレが世界を
救ってやるって
……
それが一番
あてにならないよ


お前は
ちょっと前まで
ただの高校生で
相手は
魔法使いの
集団だろ？
どこに勝ち目が
あるんだ？
それに
さっきの
果実みたいな
巨大な物体
あれは
一部だって
言ったよな？


鎖部一族が
目覚めさせようとしているものの？
——ああ
今 全国各地で
ああいうのが海とか
山から飛び出して
一か所に
集まろうと
しているあれが全部
集まったら
終わりだ
この世の理を全て
ひっくり返すやつが
元の形を取り戻し
復活する
この有様じゃ
復活する前に
終わってないか？
町の十や二十の
犠牲で済んでる
うちは——
まだまし
なんだよ


吉野と言ったな？
案ずるな私は健在だ
この史上最強の魔法使い鎖部葉風が
左門の好きにはさせん
そうは言ってもあなた
孤島に閉じ込められてるんでしょ？
それくらいで私が敗れるものか
…
真広の説明によると
鎖部とかいう魔法使いの一族があって
その内部で意見の対立権力争いがあったらしい
うまい、コレ
結果一族の姫君であった葉風さんは左門という男の罠にかかり
ろくに魔法を使えない孤島に閉じこめられてしまった

そして左門が
一族を指導し

このひどい事態を
起こしているって
いう

左門の企みを
止める力を持つのは
葉風さんだけ

でも今使える魔法は
あの人形を通して外部と
会話する事くらい

つまり
ほとんど
頼りに
ならない

…けど
それより
問題は

真広が
葉風さんに手を
貸してる理由なんだ


不破
FUWA
葉風
約束は
守ってもらうぞ
…うん？
ああそうか
貴様の家に
戻って来たのか
わかった
犯人が確実に
いただろう
場所に行け
そこから跡を
たどれる
外見と逃走経路
くらいは割り出せ
るだろう
それ以上と
なるとまだ
条件が厳しい
ああ


完全にたどれたら
この先オレがお前に手を貸す理由もなくなるからな
ゴン…
吉野
開けろ
チャリーン
…そういえば久しぶりだな
真広の家に入るのも
愛花ちゃんが殺されてから真広は誰も寄せつけなかったからな…

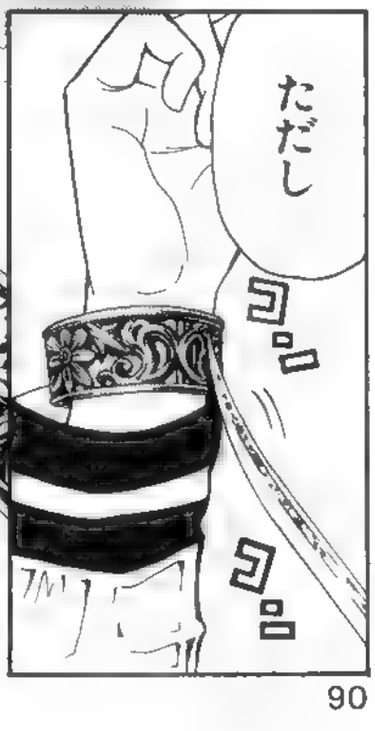

着いたぞ
葉風
カチッ
——なら
魔具を
ステンレス鋼のナイフがあったろう
殺人犯のトレースはやや特殊な魔法だ
刃物が向いている
それは？
カラン
魔法の力を封じた
魔具だ


葉風は
何らかの理由で
魔法が使えなくなった
時のために
あらかじめ
あちこちに
隠しておいたんだ
一族の者にも
気づかれない
ようにな


そいつを
こう――


直接肌に
触れる形で
身につけ
葉風の音声で
許可が出されて
いれば
オレでも単純な
魔法が使える

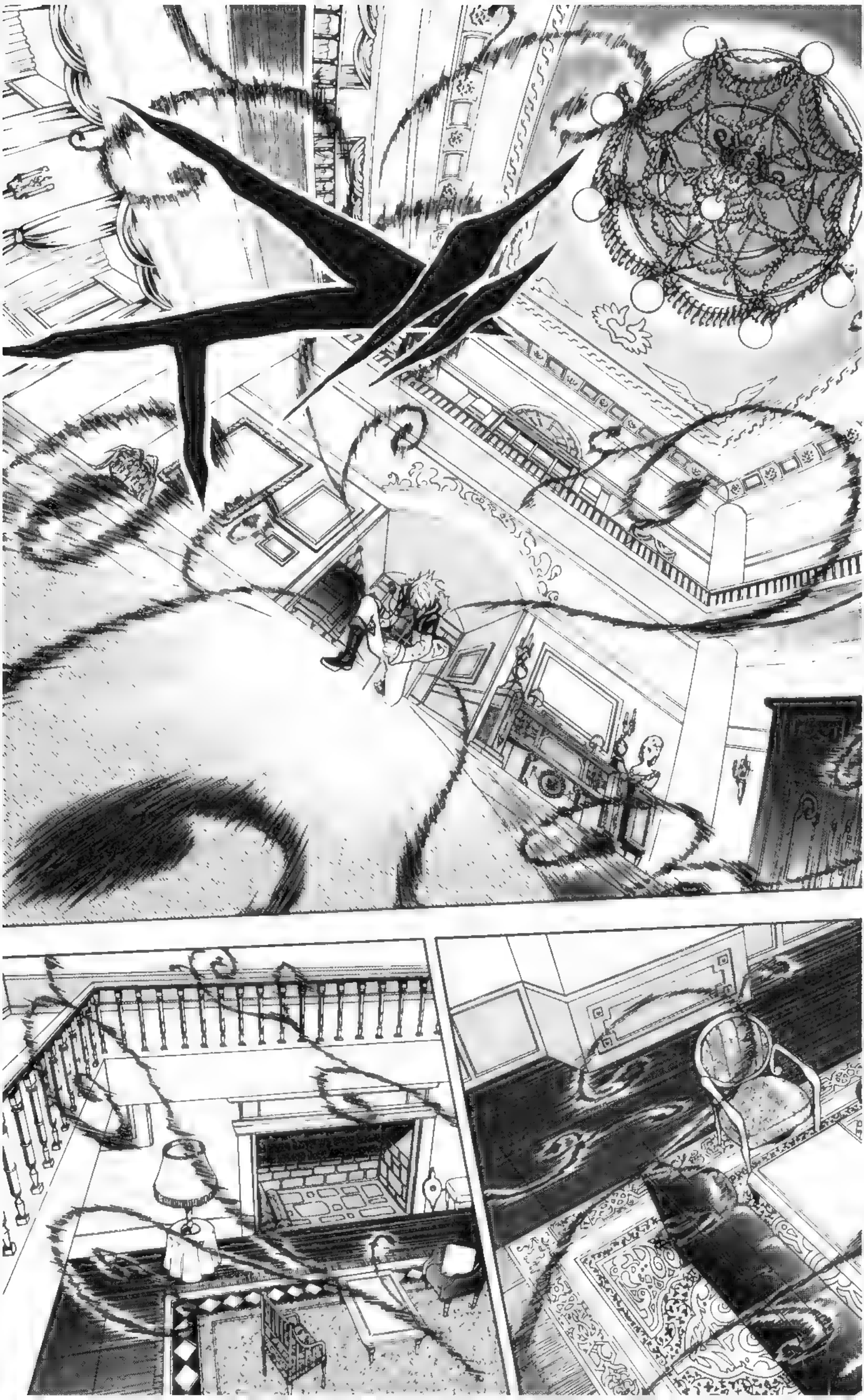

さっき
みたいにな
ふうん…


ただし
コ…
コ…


パキッ
サラ…
使える回数は
限られるがな


これで
黒鉄病も防げる
お前が大丈夫だった
のも持ってるオレの
近くにいたからだ
本物の
魔法使い相手に
こんな小道具で
対抗できるのか？
できなければ
誰も左門を
止められん
魔法を
破れるのは
魔法だけだ
葉風
魔法の許可を
出せ
よし
魔具を
放すな


——我が
言葉にて聞き
届けよ
樹の中の樹
大樹の中の大樹
始まりにありし
はじまりの樹よ
この地より人の
理を外れし者
血を欲せし者の
跡をたどれ
聞き届けろ




一年くらい前の事件となれば
残留した犯人の情報を収集するのに時間がかかるぞ


どのくらいだ？
五分


大した時間じゃない
オレはもう一年待ってる


愛花を殺したやつを
この手で殺すのをな


…真広は
葉風さんと
取引した
手を貸す
かわりに
一年前、妹を殺した犯人を
魔法で見つけろ、と。
真広にとって
世界がどう
なろうと構わない
愛花ちゃんを
殺したやつを
見つけられるなら
迷わず世界を
滅ぼすだろう
お前の
心意気には
天国の愛花ちゃんも
感激するだろうね
バカ言うな
死んだ人間は
喜びも悲しみも
しない
天国なんてものも
ありはしない


オレは愛花を
殺したやつが
何の裁きも
受けない不合理を
許せないだけだ
これは誰のためでもない
真広はただ自分のため
そうしないではいられないだけだ
だからオレには
魔法が必要だ
だから
葉風に
手を貸し
ついでに
世界を
救ってやる


…葉風さん
こんなヤツを信用していいんですか？
利害は一致している
なら裏切らん
そいつが妹思いのバカでむしろ好都合だ
この人も
性格に問題がありそうだなあ
吉野――
町はじき封鎖される
早く逃げろ
お前の両親は町の外で働いてるから無事のはずだ
お前ひとり金属化していないのは適当にごまかせ


…僕は
この先手を貸さなくていいのか？
ずいっ
…？
あのな
いくらオレでも彼女がいるやつを
これ以上は巻き込めないぞ？
ポン
彼女がいるって誰から聞いたんだか…
学校のどいつだかが話してたよ
二か月程前かお前が
デートの約束のメールをじっと見てたって

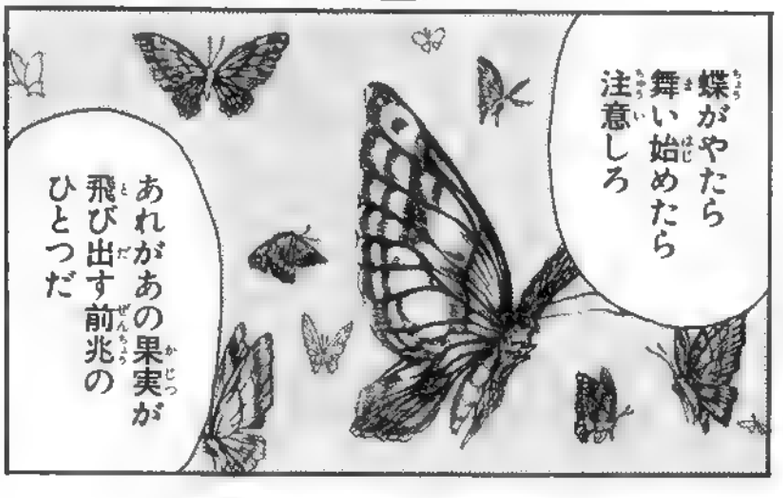

…しまった
真広の耳に入るなんて…
――それに
お前と愛花が仲悪かったろ
この先オレに付き合う義理はねえよ
…そうだろうな
そうなんだよ
持って行け
チャリ…
魔具だ


黒鉄病も
防げるし
葉風の
発動許可も
出してある
防御と
高速移動が
可能だ


直接肌に触れて
望む能力をイメージ
すれば魔法が発動する
止める時は
それをイメージしろ


ただし
チャリ…
三回も使えば
ゴミになる

それと


蝶がやたら
舞い始めたら
注意しろ
あれがあの果実が
飛び出す前兆の
ひとつだ


果実の香りに
あてられて
卵やサナギが
一気に成虫に
なるんだ

じゃあな

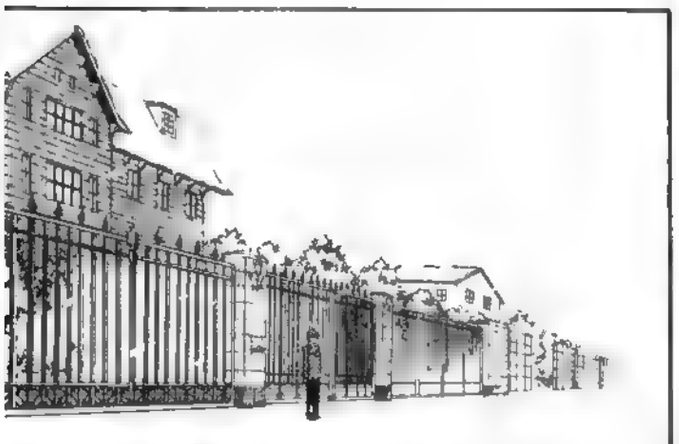
愛花を殺したやつを
ぶっ殺したら
戻ってくる

その時 彼女も
紹介しろ

…そうだな

ちゃんと彼女を
紹介するよ

その時は






彼女
明日
明日のデート、楽しみにしています。今度すっぽかしたら許しません。
明日の
でも
真広
「明日」は来ないんだ
ずっと――…
パチン




一度家に帰るか
制服のまま逃げるのも落ちつかないし…


吉野とは長い付き合いだ

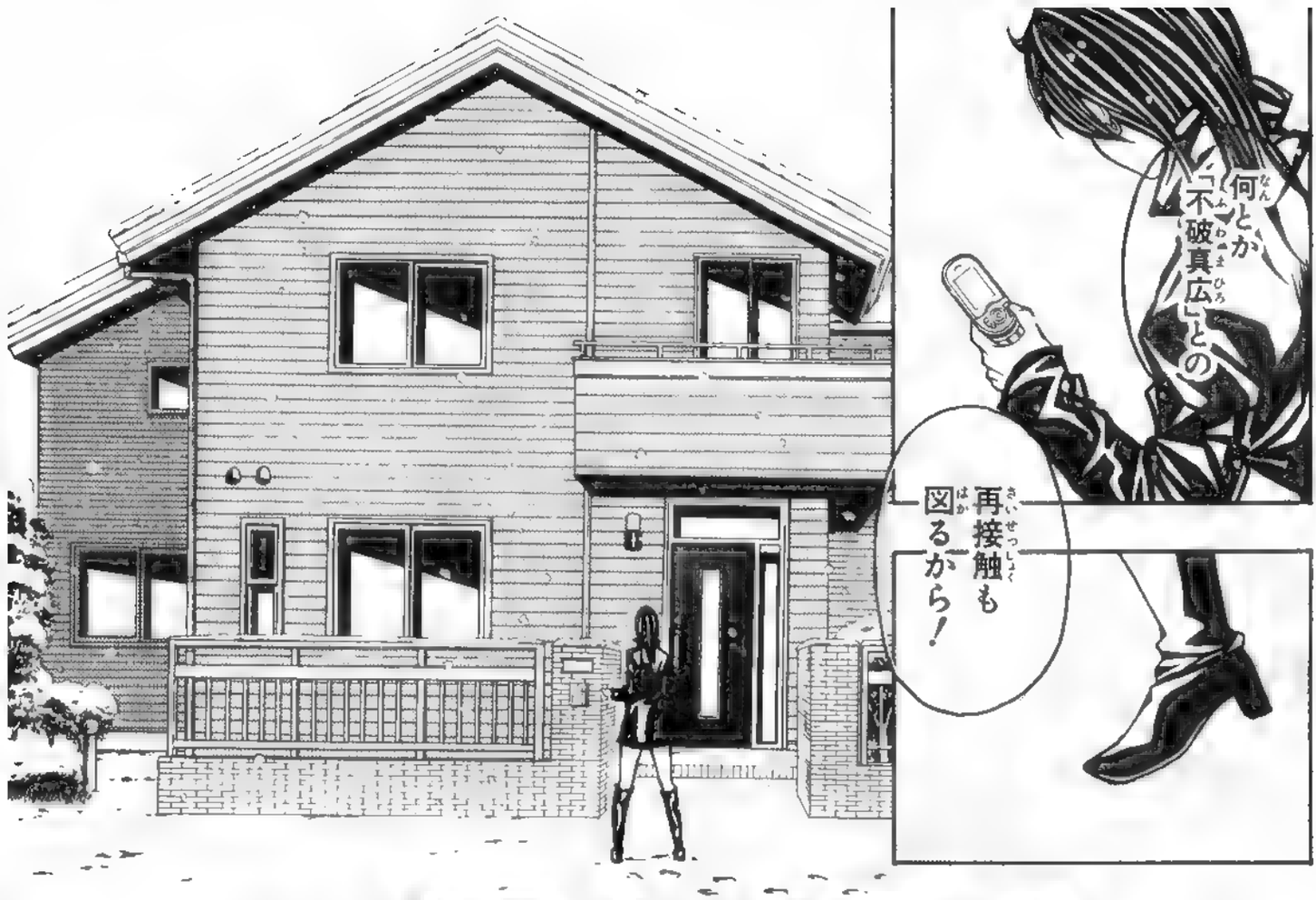

滝川吉野の
魔具までくれてやって信用できるのか?

お前みたいないけ好かない女と一緒にするな


私も左門や一族の者とは長い付き合いだったぞ
だが樽詰めにされて島流しにされたな

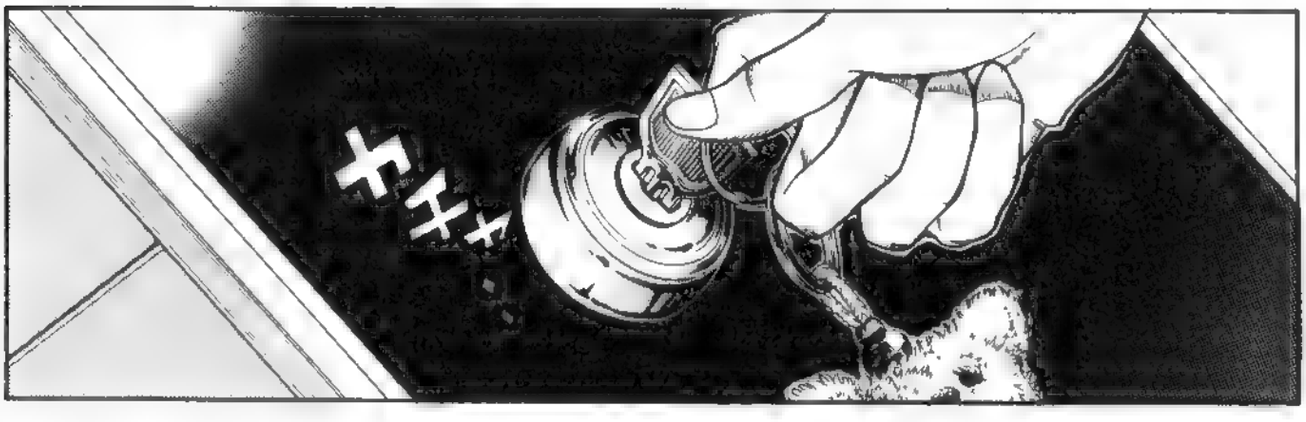
いけ好かなさでは貴様も相当なものだぞ!
黙れよ


——お
どうやら
結果が出そうだぜ
この地域を封鎖？
範囲はほぼ全体
三十分後には開始
OK
それまでに脱出すればいいのね…


何とか
「不破真広」との
再接触も
図るから！


…ここで
手掛かりが
得られると
いいんだけど


滝口


カチャ

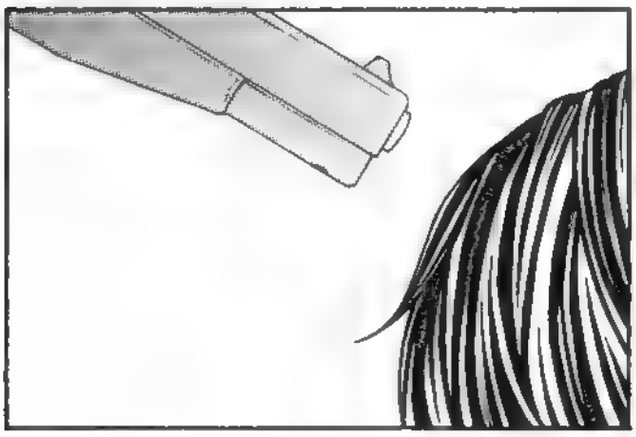

ふう
急いだ方がいいな
トッ
封鎖が始まる前に
町を出ないとややこしそうだし
シュル
ﾀﾀﾀｯ
うあっ！


がっ…
…いい？
助けを呼んだり
少しでも抵抗
したら
まず
足を撃ち
ぬくから
全部
話しなさい
魔法使いに
ついて
キミ達は
鎖部葉風の
居場所を
知っているの？

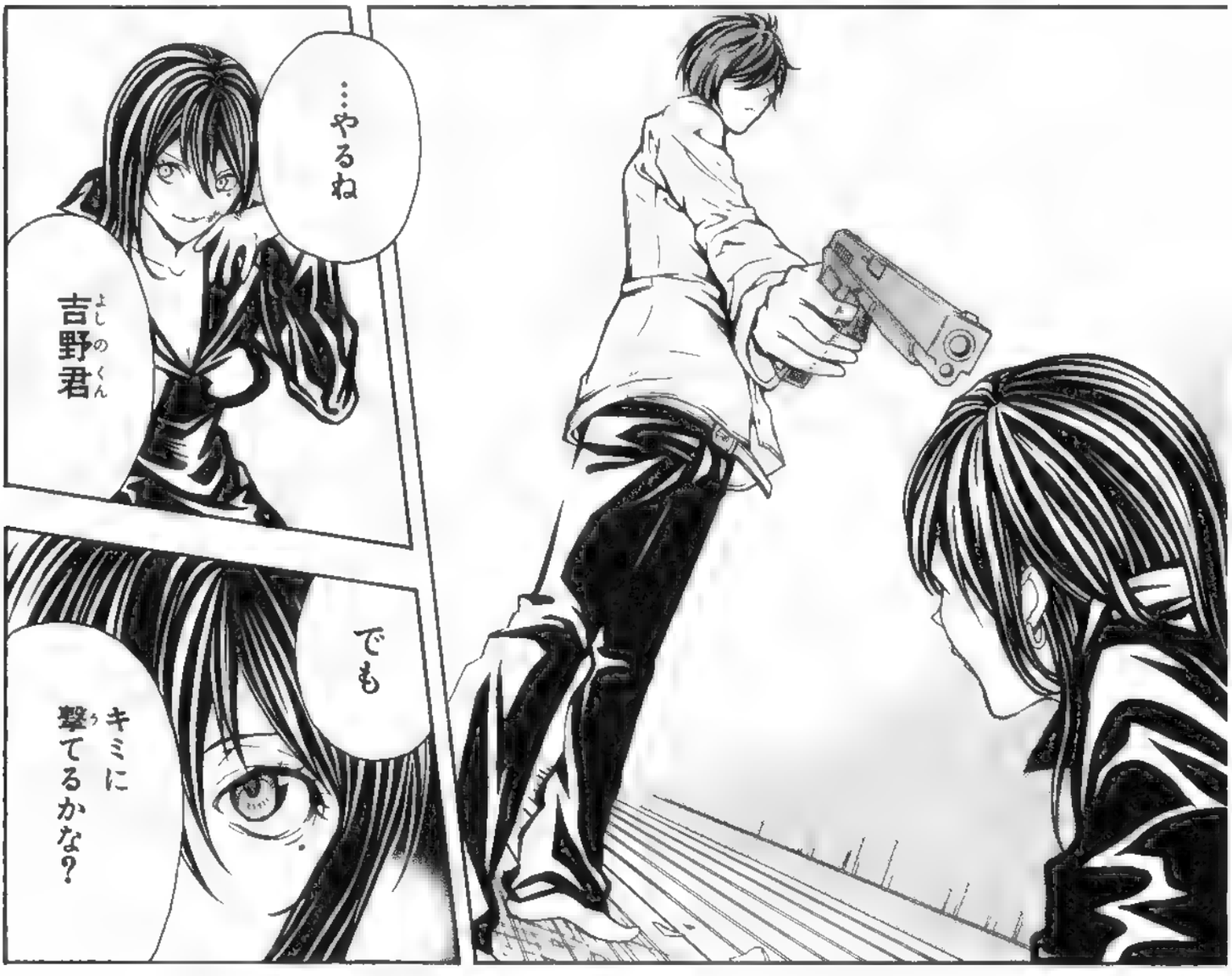

うっ…
く……
魔具に直接触れ…
イメージ…
防御と…
!?
高速移動だったな


かはっ…
くっ
このっ…
ズル…
ズン


痛う…

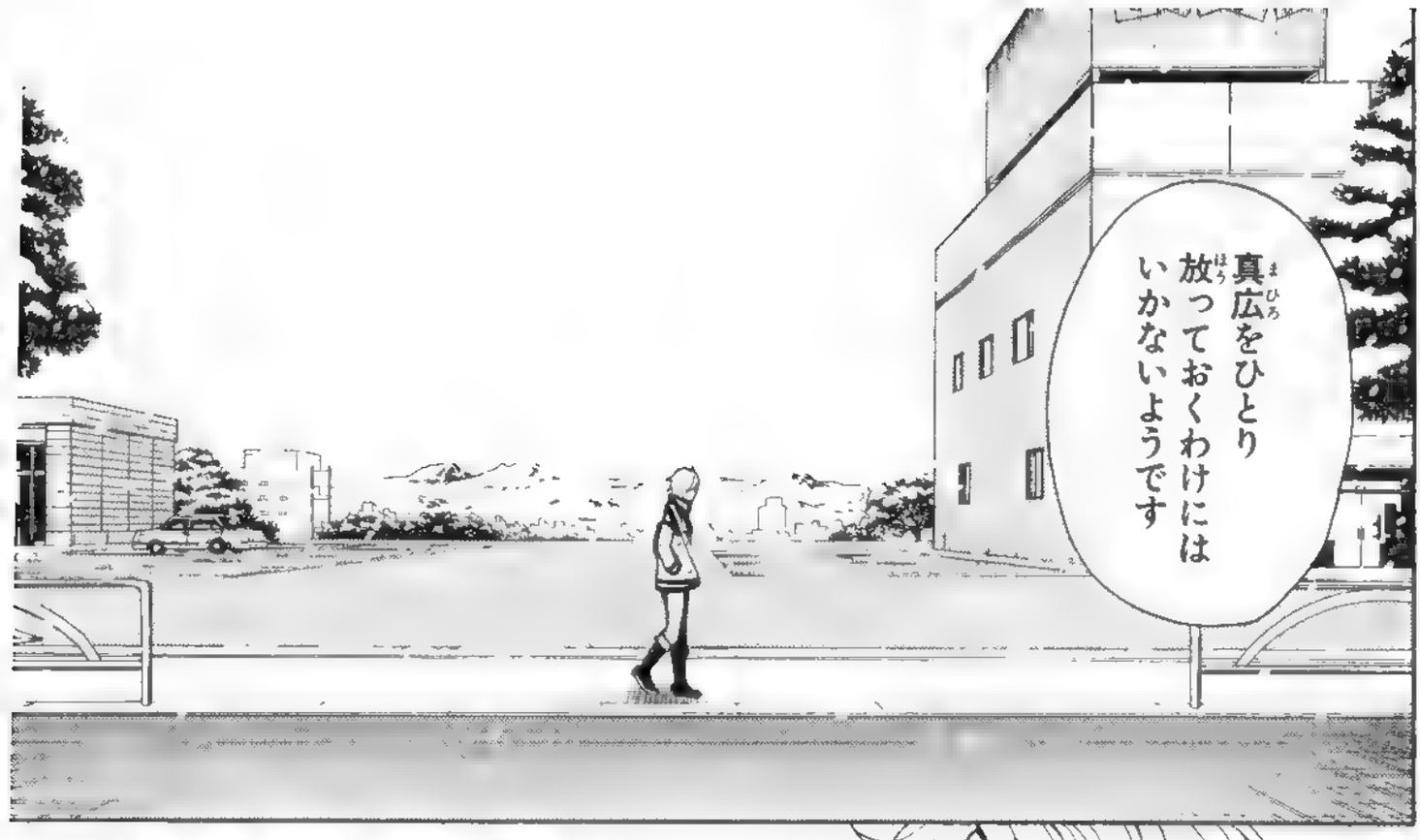



な何で
あの子まで
魔法を使えるように
なってるのよっ


…やるね
吉野君
でも
キミに撃てるかな?


下手に撃てば
相手は死ぬよ？
あなたは
ここに来るまでに
何を見ました？
蝶々が吹雪のように舞い
生き物が金属化し
怪しい果実が飛び出す
…そんな——
「この世の関節が外れてしまった」中で——
起こりえない事が
あるとでも!?
…この世の関節って
「ハムレット」か……
教養ある事言うねぇ
——やばい…
じり…


…この子は撃てる
冷静にあたりまえに
とんだ狼じゃない
――どうです？
取引しませんか？
取引？
はい
チャ…
フッ…
やっぱり
僕は――


真広をひとり
放っておくわけには
いかないようです


犯人探しが
こんな風に
つながるとは


真広
誤解するな
これは
予想外だ


別に悪い結果じゃ
ないだろ!?
犯人を
押さえるのに
お前が必要ってのは
はっきりしたんだ


事件は
一年前か


その頃はまだ
島流しにされて
いなかったのに
気づかずに
いたとは


梅詰めにされる
間抜けな姫君じゃ
仕方ねえよ
その「間抜け」の
力がないと困るのは
お前だぞ
オレの協力がなくて
困るのはお前だろ
案外早く
会っちまったな
チャラ…
どうした？


本物の
「魔法使い」だ
左門の犬かっ
!!

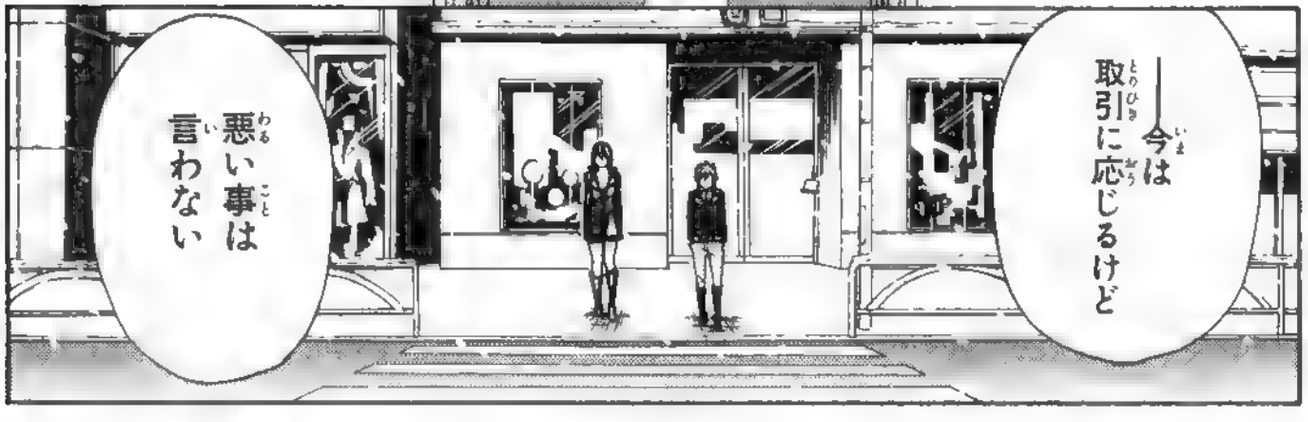

なぜ
ここにいる？
少年
お前こそ
左門の
昏いつけで
現地調査か？
…なるほど
気の利いた
答えだ




その魔法
樽の中でさ
どこで覚えた？
そうか
それは
狭くて大変だな


おお
やる気十分だな
真広っ！
まともに戦うなっ！
そいつはおそらく鎖部夏村
手強いっ
手強いぞ！
それなら――
タ
ン
ッ


ここで倒しておこうぜ！


今は取引に応じるけど
悪い事は言わない


いくら親友でも妹の復讐で狂ってるやつに付き合ってたら
命がいくつあっても足りないわよ


早い段階で私達に任せなさい
より多くの人を守るためにも


キミは
早くこの件から降りた方がいい


ええ
きっとそれが正しいんでしょうね
そう 正しいの
FLOWER
ご両親も心配するだろうし
彼女だっているんじゃないの？
そうですね
ワンワン
彼女にはよく
「マヒロに付き合ってるとろくなことはありませんよ」って
言われてました
「ました」って過去形よね？
まさか最近振られちゃってるとか？
一年程前突然会えなくなりまして
翌日にデートの約束もあったんですが



※『ハムレット』シェイクスピア（第五幕第一場）野島秀勝訳 岩波文庫


彼女が
生きてた時も
お互い
仲の悪いふり
したり
大変だったん
ですから
今でもばれたら
どうなる事やら
…ま
待って！
まさか
キミも
愛花って子の
復讐を？
僕は
――
真広と
違います
…真広には
内緒ですよ
この事


何も
変わりません

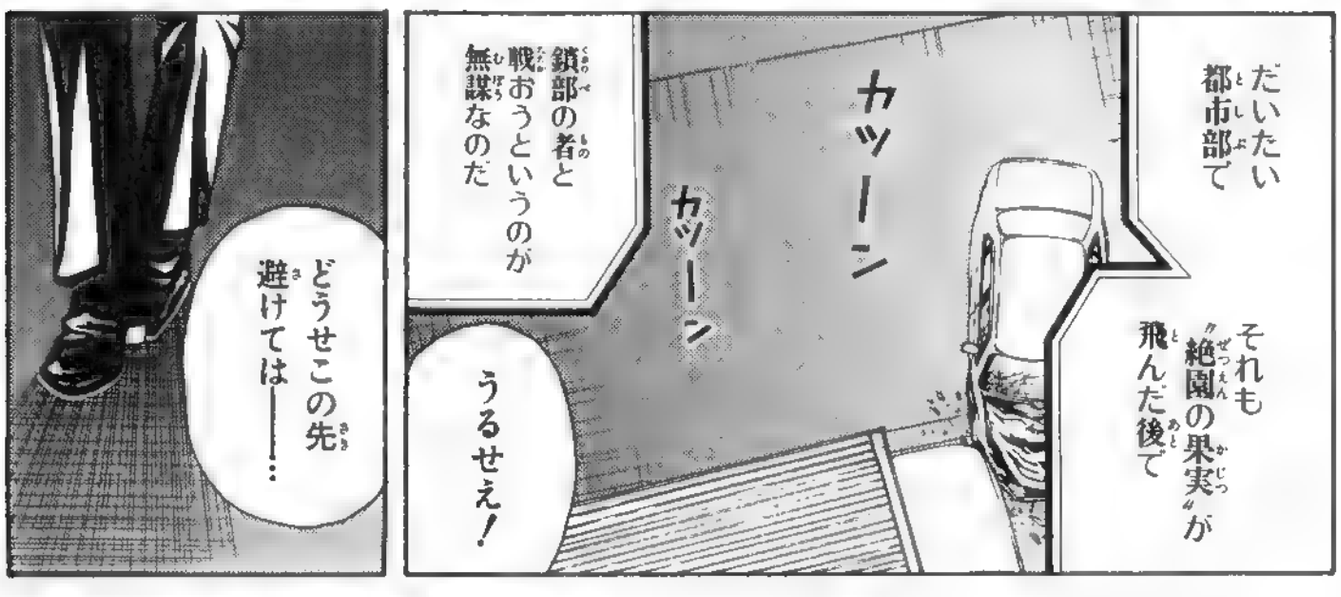

何ひとつ
戻ってきは
しません


復讐したって
犯人を
殺したって
不合理は
不合理のままです


いったい
死んだ彼女に
何ができるんで
しょうね


ひょっとすると
この関節が外れた
世界でなら
見つかるかも
しれません


あいっ
強すぎるだろ！
だから
言ったであろう
…おいっ
葉風…
やつは本物の
魔法使いだ
カツーン
使える魔具も
魔法も限られている
お前とは違う


だいたい
都市部で
それも
〝絶園の果実〟が
飛んだ後で
カツーン
カツーン
鎖部の者と
戦おうというのが
無謀なのだ
うるせえ！
どうせこの先
避けては――…


これも
限界かよ
どうするかな
腹も減って
きやがるし…


食べるか？
SAYJOY
ばっ…
バカかっ
何て逃げて
なり！
どうも彼女に
怒られそうでね
「友達を大事に
しない人は嫌いです」
って
情けねぇな

女の言う事
気にすんなよ

お前は
人の言う事
気にしろよ



じゃあ
とりあえず

あの野郎に
痛い目見せて
やろうぜ

どっちかって
いうと

痛い目見せられ
ない様に気をつける
べきじゃないか？

愛花ちゃん…

きみのお兄さんに
付き合っていると

トン

ほんとろくな事が
ないよ…

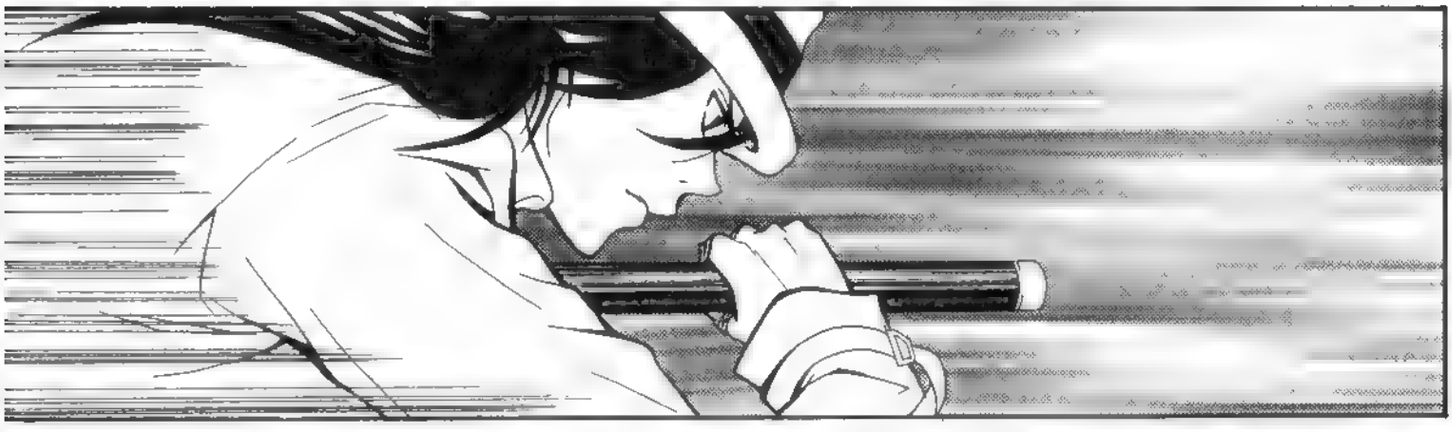

ﾌｷｷｷｨ..

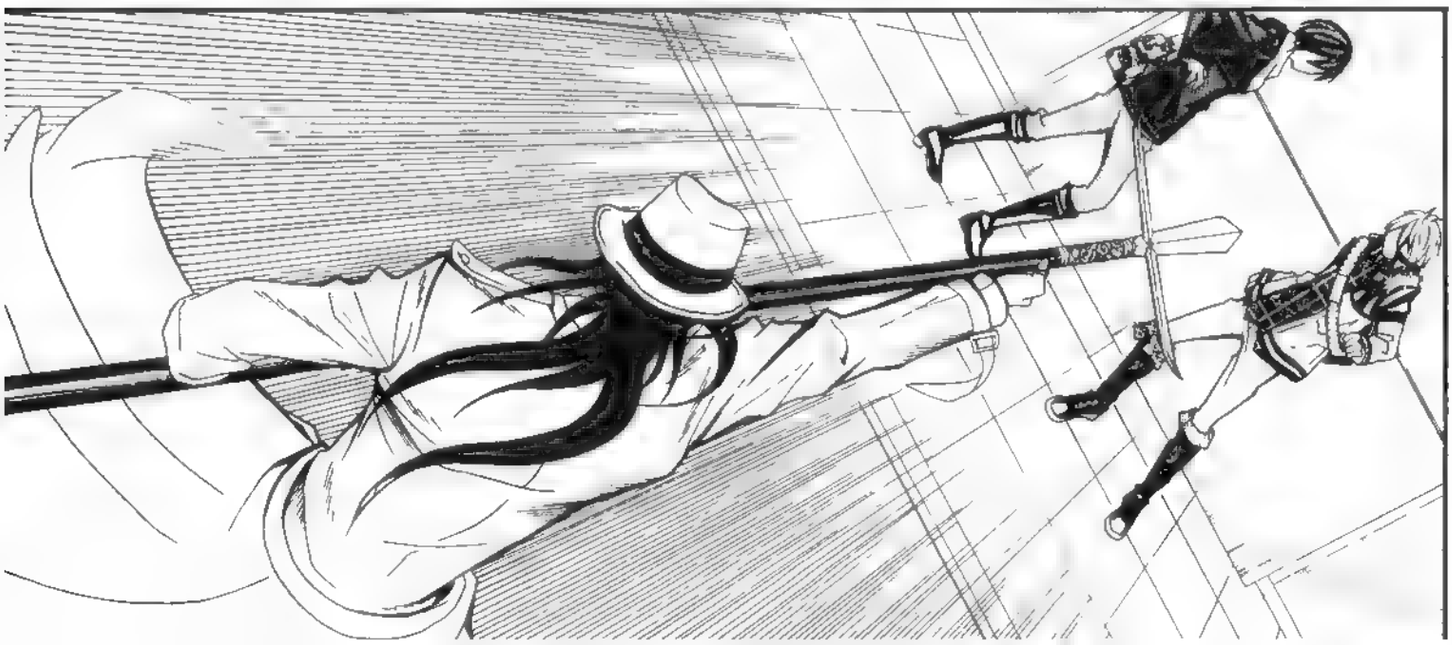

参る
(まい)

THE CIVILIZATION BLASTER


吉野！
合わせろっ

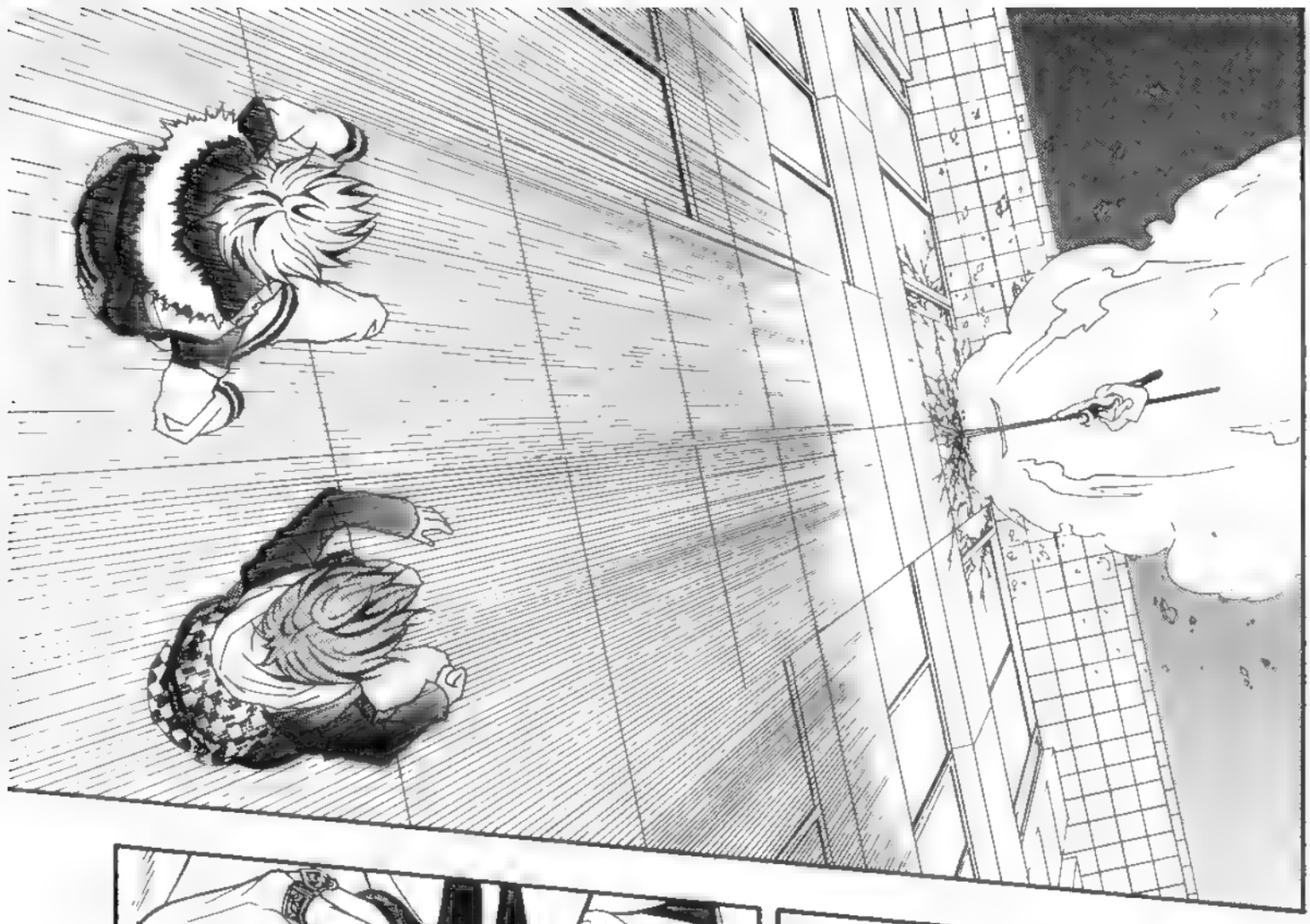

合わせろって
どうだよ!?

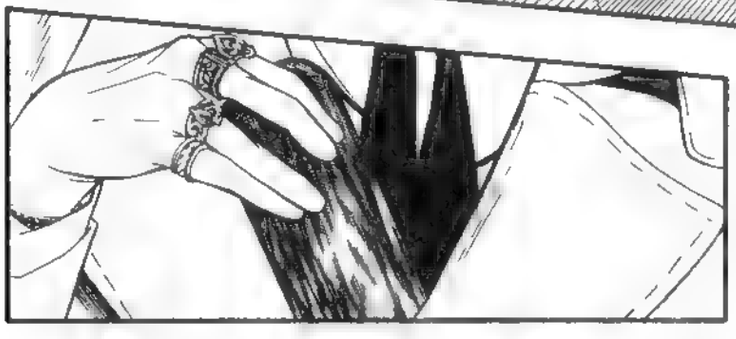




第三話：できないことは、魔法にもある





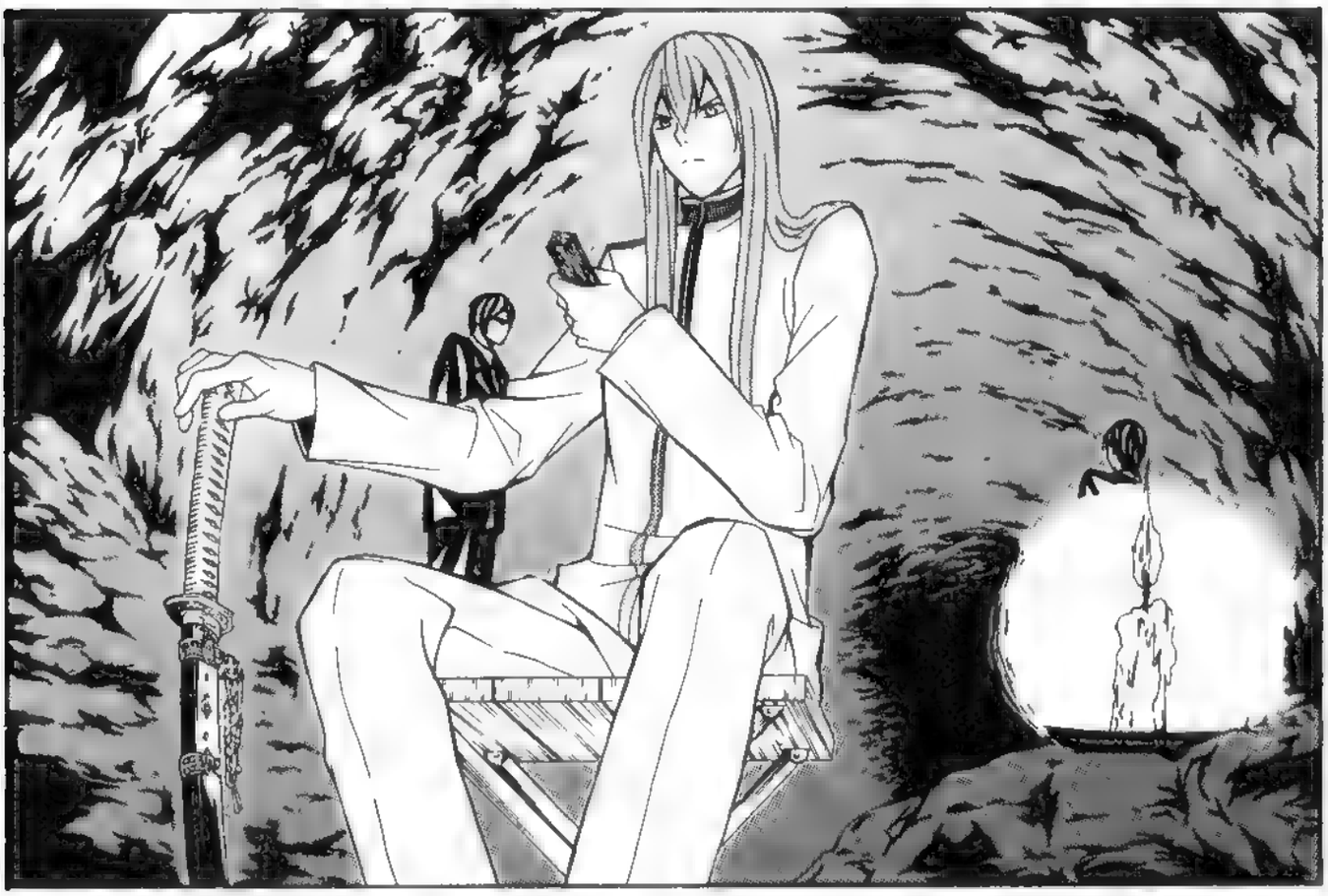



……




左門殿
よろしいですか
左門殿


どうした？
夏村

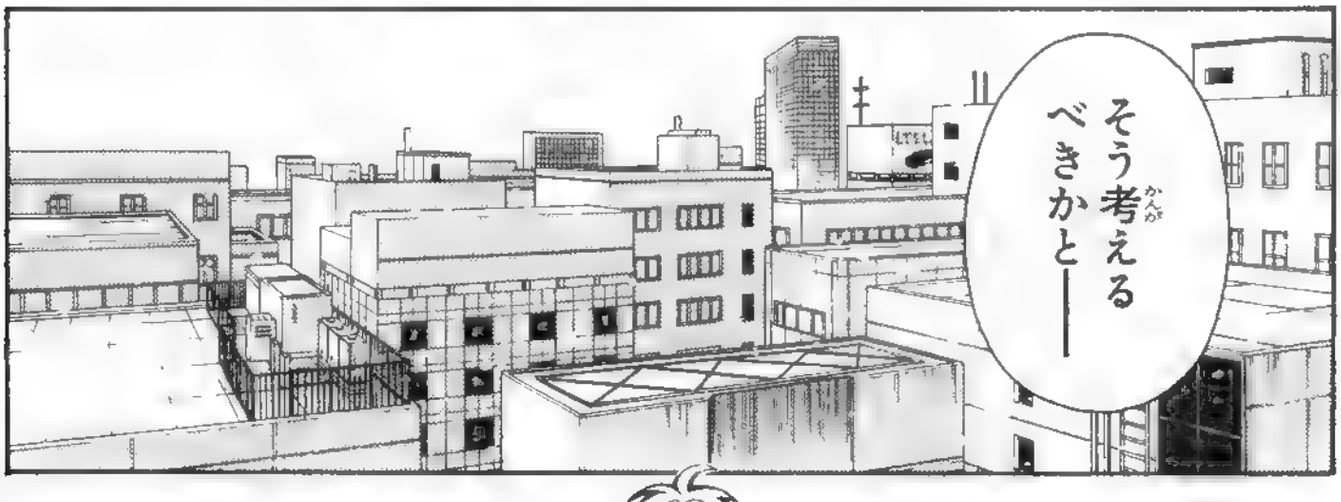



果実の飛んだ地で二人
金属化していない少年に遭遇しました


鎖部の魔法も使えるようです


……

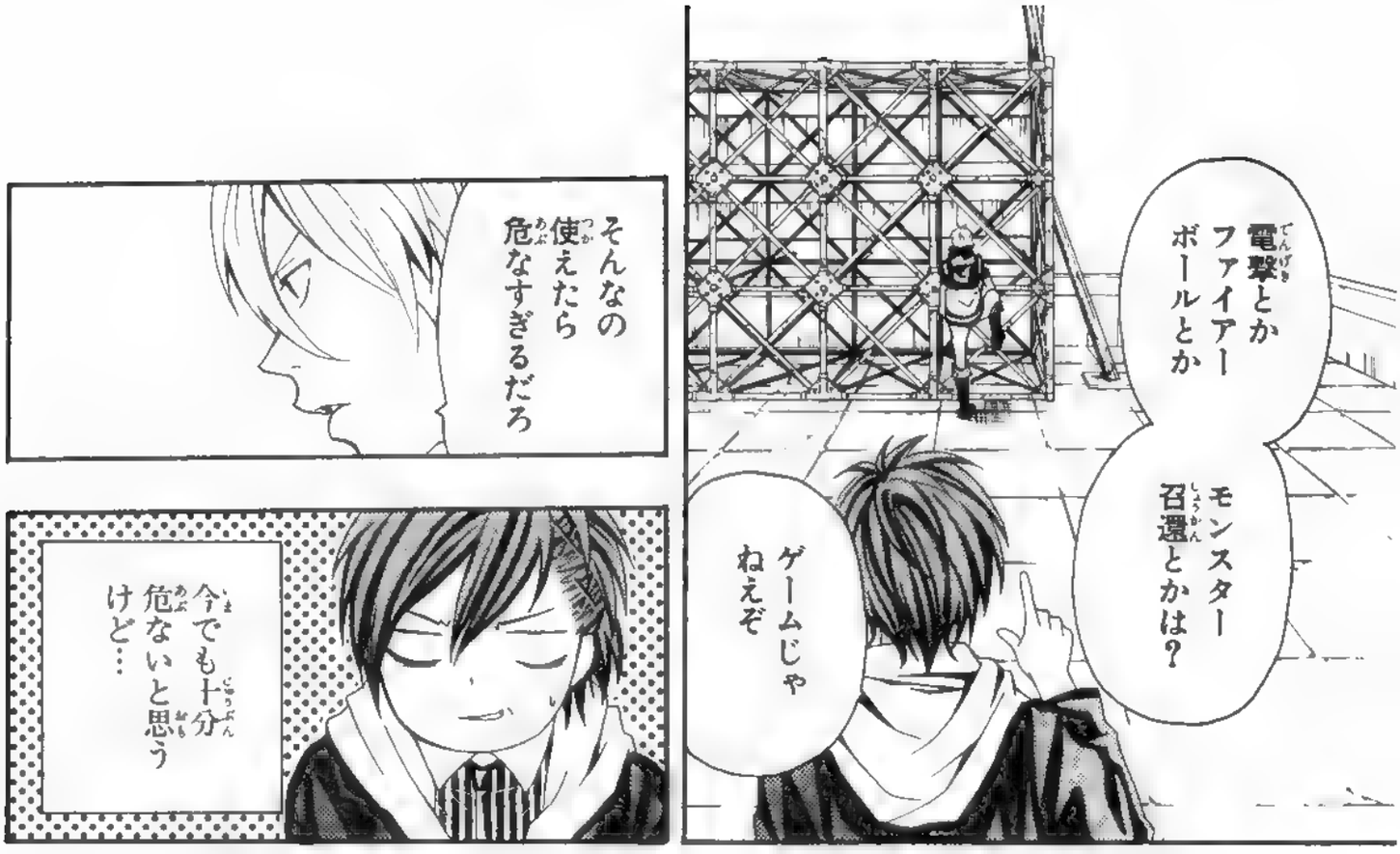

姫様が
裏にいると？

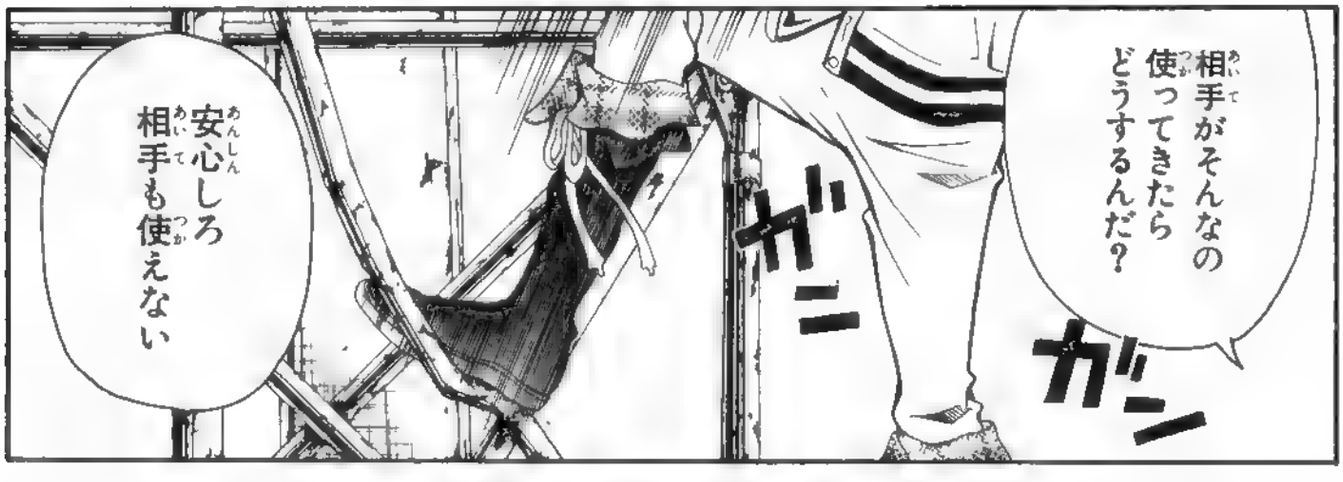

そう考えるべきかと――


真広
ここは退けっ！
今 夏村と戦っても益はない！
黙れよ 葉風


あんなのに逃げるようじゃ
愛花を殺した野郎をぶっ殺せないだろ
……ッ
ええいっ！
なぜわからんのだっ
妹を殺した犯人が絞り込まれて
チッ
思ったより気が立っていたか！


なあ真広
ここは葉風さんの言う事聞いとこうよ
史上最強の魔法使いなんだし
――で僕らは
ゴッ
この魔具で他にどんな魔法が使えるんだ？
防御と
高速移動は聞いたけど
カッ
まともに使えるのはほぼそれ二つだ
あとは壊れた物を直したりもできるな

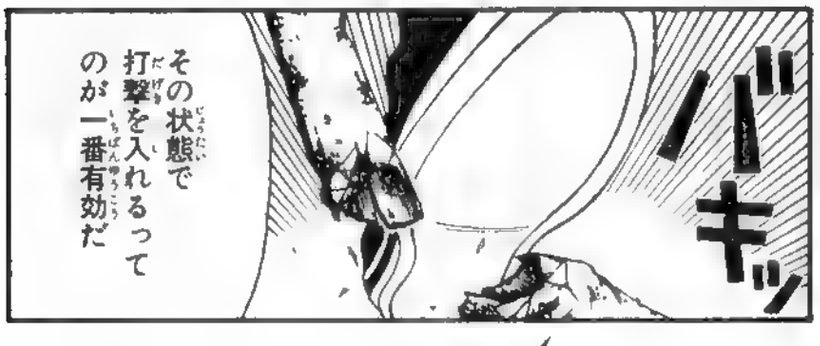

電撃とか
ファイアーボールとか
モンスター召還とかは？
ゲームじゃねえぞ
そんなの使えたら危なすぎるだろ
今でも十分危ないと思うけど…


相手がそんなの使ってきたらどうするんだ？
ガン
ガン
安心しろ相手も使えない


鎖部の魔法にいわゆる――
「攻撃魔法」は存在しない
我らの魔法はこの世の理を守り・直し・治めるための力
それに特化した魔法だ
直接的に物や理を破壊する力などない

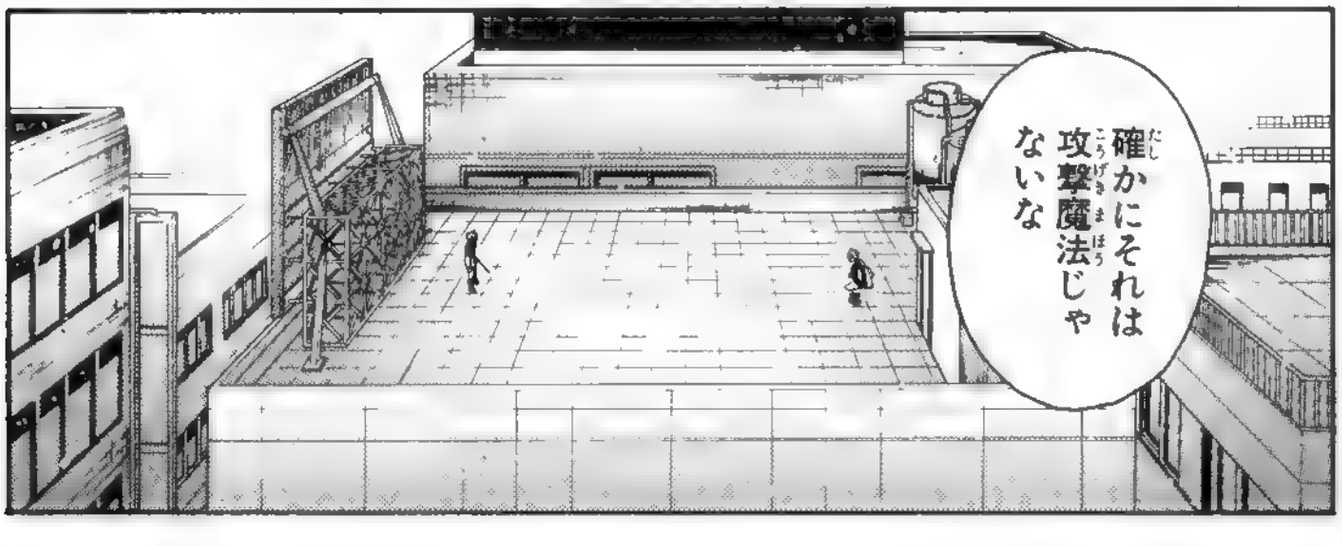

守りに特化した
魔法って……


鎖部の魔法で
攻撃するとしたら
防御フィールド
まとって高速移動
ギシ
ギシ


その状態で
打撃を入れるって
のが一番有効だ
バキッ


鎧着て
思いきり
ぶん殴るって
感じか


そんな感じだ


確かにそれは
攻撃魔法じゃ
ないな


やはり姫様か

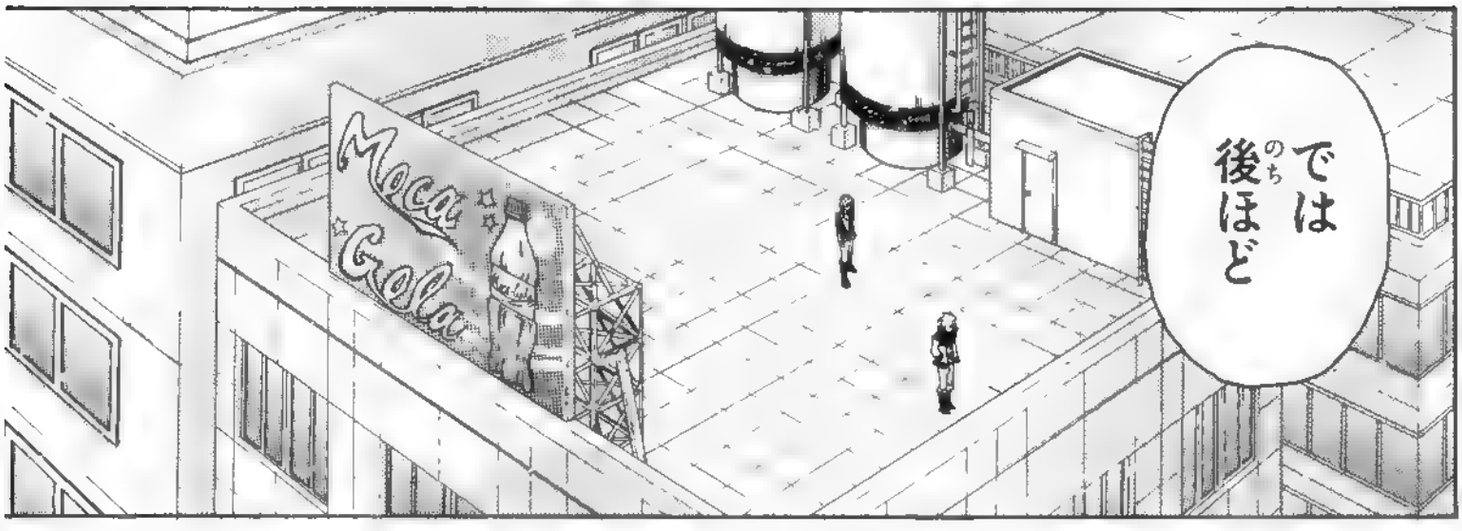

あの孤島から
この時点へ手を
伸ばせるとは
フッ…
これが持って
生まれたものの
差かもしれんな


どうされます?


二人を
捕らえろ
わかっていると
思うが――


殺すな

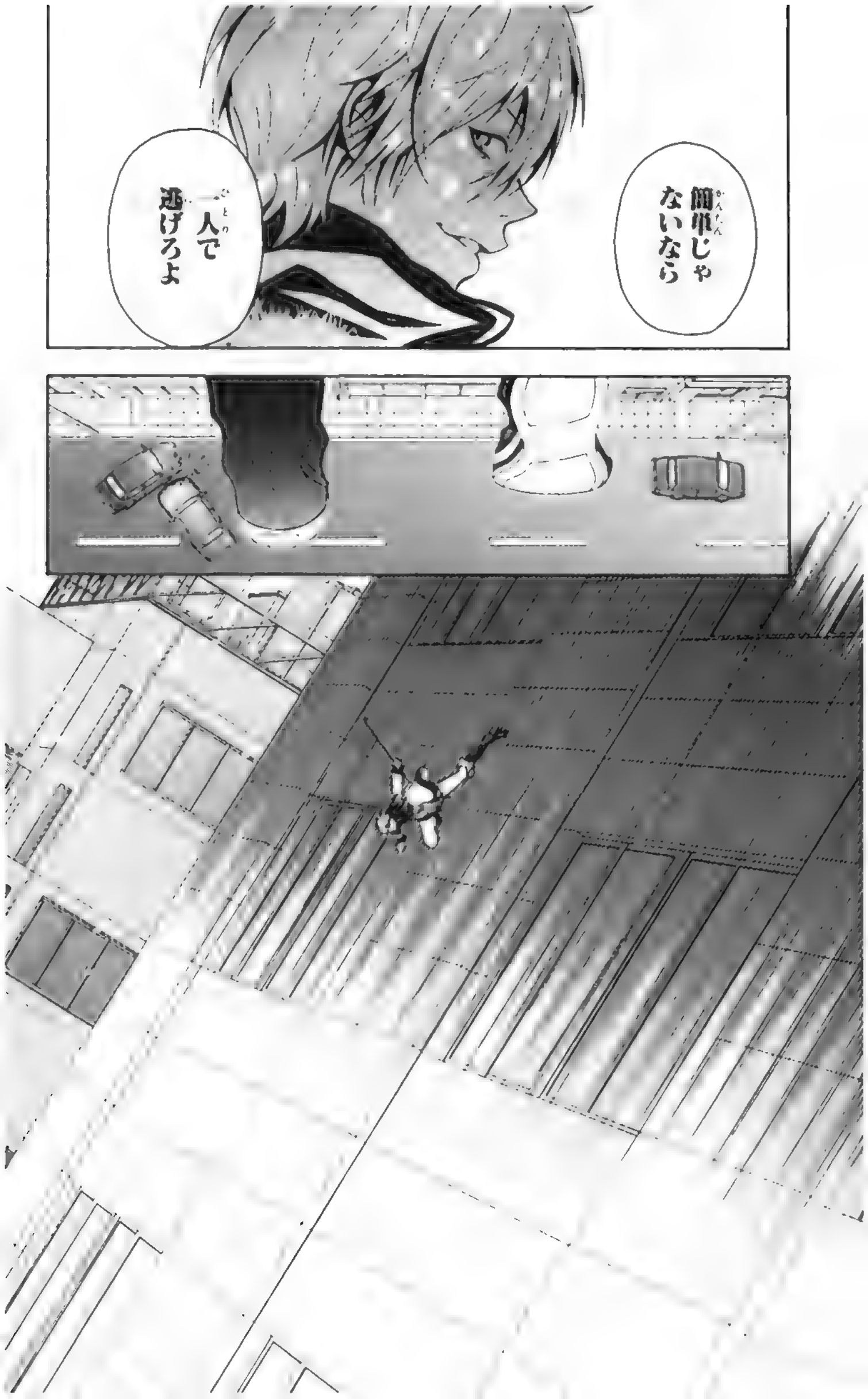

了解
しました


では
後ほど


葉風――
ヒュル
吉野に鎖部の
魔法について
レクチャーしてやれ
パシッ
二分だ


簡単に
言うなよ

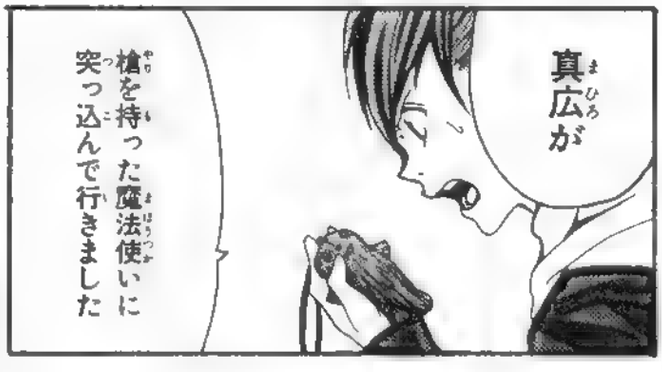

それだけ
たったら
あの野郎を
後ろからでも
蹴り倒せ


簡単じゃないなら
一人で逃げろよ


行くぜっ
JR
ART
魔法使い！


……
真広！


吉野！
状況を
説明しろ！
あ
はい！

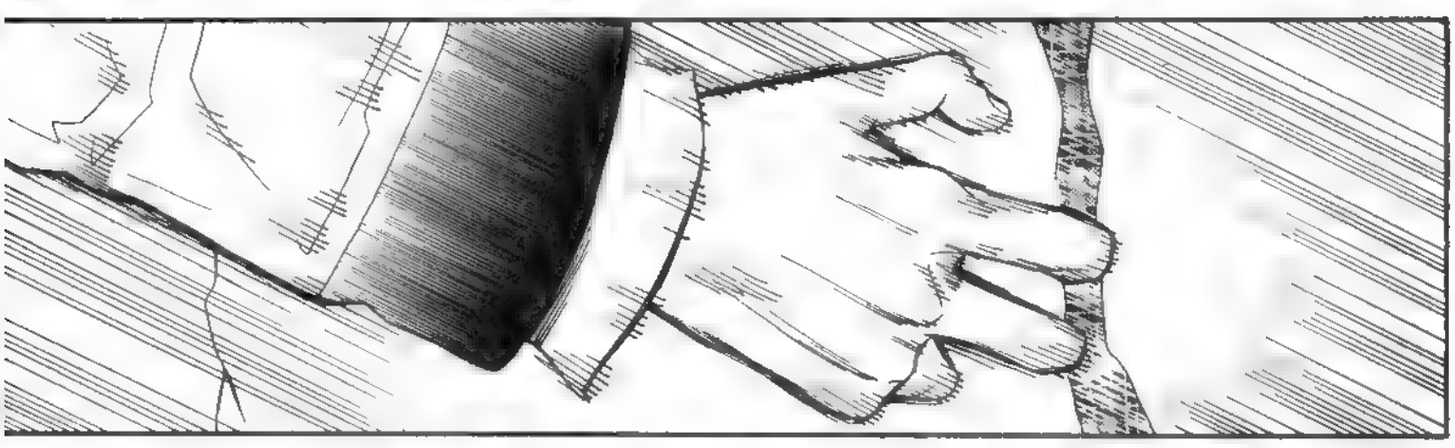

真広が
槍を持った魔法使いに
突っ込んで行きました


まったく
あいつは…！


でも
葉風さん
防御魔法を
まとった同士が
ぶつかって
勝敗がつくもの
なんですか？


ぶつかった
だけでは
双方ダメージを
負わん
ただし防御魔法は
一度の発動で
持続する時間と
耐えられる
負荷に
上限がある


防御の範囲や
発動する魔法や
種類にもよるが
その能力を超える
力がかかれば
防御は破れて
ダメージを負う
だが一度破れても
新たに防御魔法を
発動させれば
また元通りだ
ゆえに鎖部の魔法使いに
ダメージを与えるのは
困難どころの
話ではないぞ








先程より
動きがいいな
仲間が現れた
せいか？

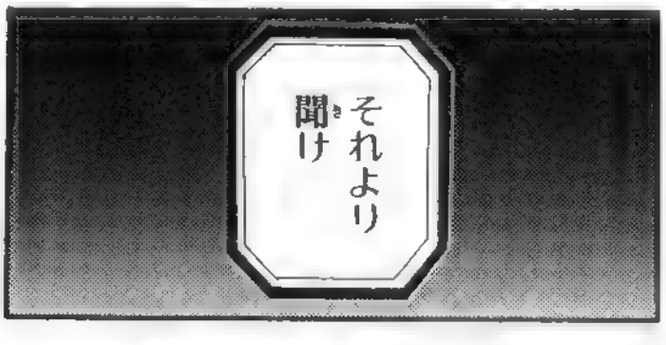

冗談
言うな
本気出す事に
したんだよ
すこうし
だけな


葉風さん


なら一発で
防御を打ち消す
魔法は
ないんですか？
あることは
あるが…


貴様達や
夏村レベルが
戦闘で扱える
ものではない
今は
考えるな


鎖部の
魔法とは
「はじまりの樹」の
力を借り受ける
事にある


それより
聞け


はじまりのき？


我ら鎖部の
神であり――


この世の
始まりにあって
あまねく理を司る
大いなる樹だ
その偉大なる力を
一時的に借り受ける
事により
我らは理を守る
力を得る

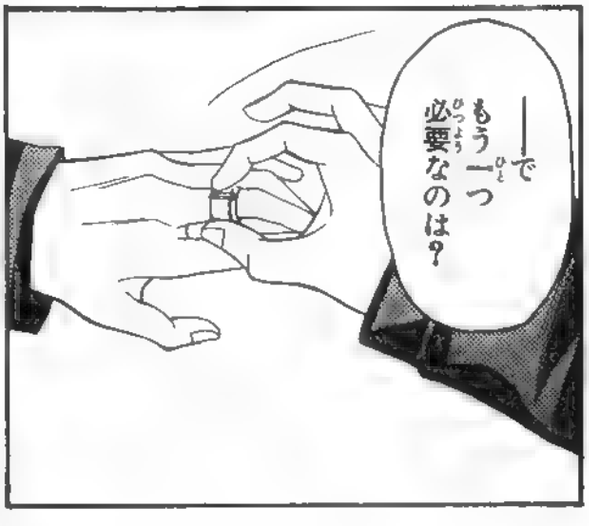

樹…
樹か
確かに
神話とかで
樹が神様みたいに
扱われる事が
あるな
その力を借りる
というのも
魔法的か？
ゲームとかでも
精霊の力を借りて
…とかあるし
——また
その力を得る
のには
二つのものが
必要となる


一つは音声
鎖部の者が声によって
「はじまりの樹」に力の貸与を
申し入れる事により
魔法は
発動する


この
魔具は
頭でイメージ
すれば発動しましたけれど？
それは——

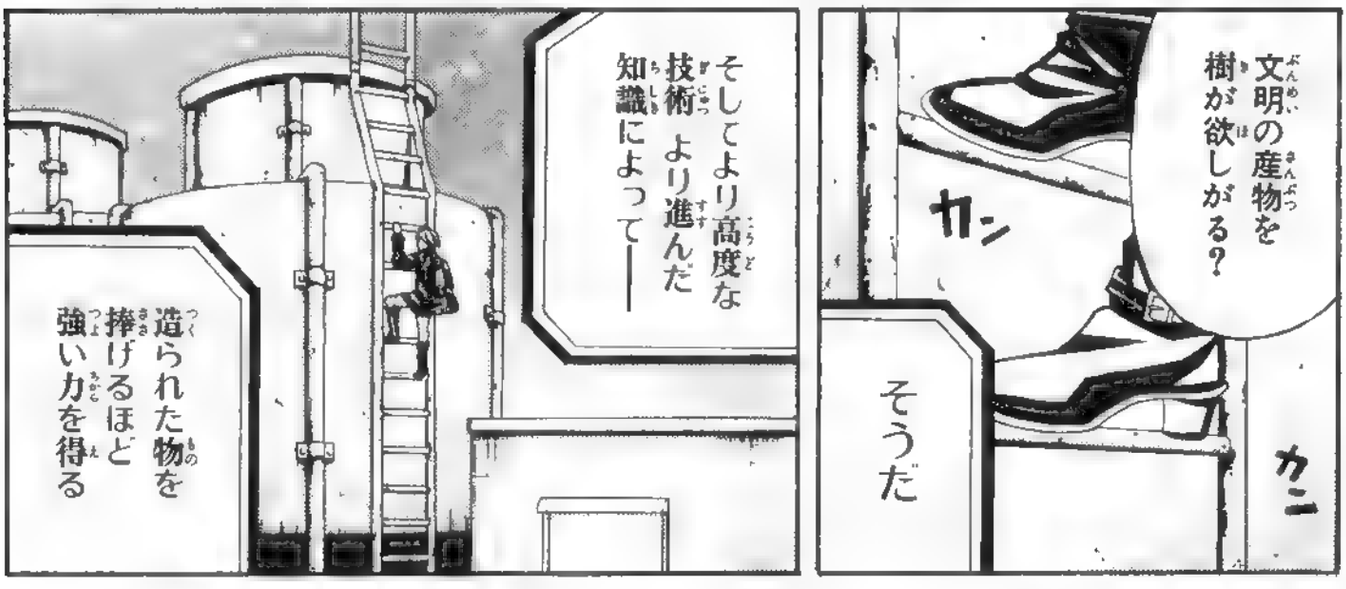

私があらかじめ
私の音声で
どんな魔法を
どういう条件で
発動するか
申し入れて
あるからだ

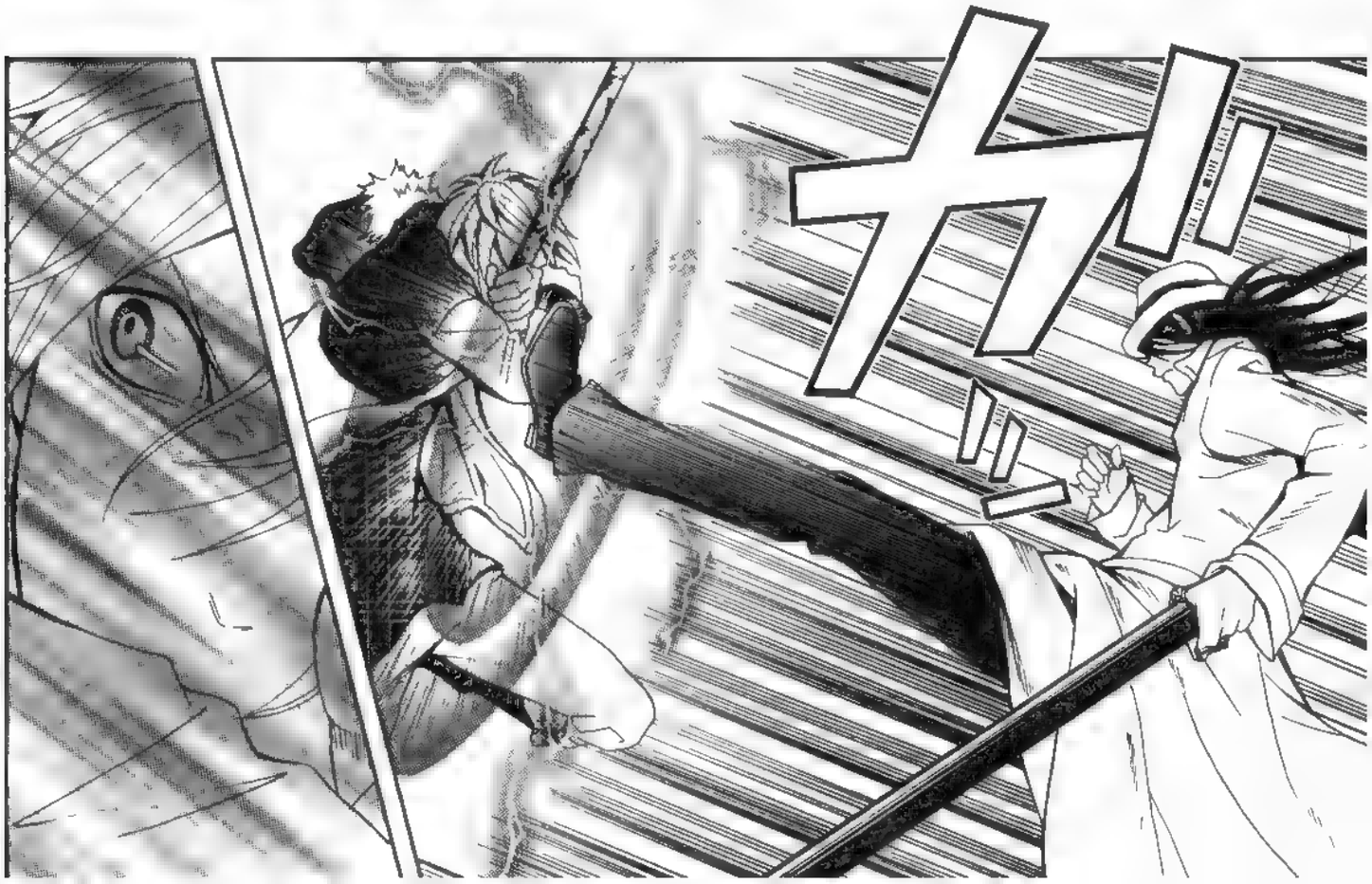

ガチッ
これも
高等技術だ


——で
もう一つ
必要なのは？


「はじまりの樹」
にはそれに応じ
供物を
捧げねばならん


「はしまりの樹」が
欲するのは
文明の産物
鎮部の者が魔法を
使うには人の知識によって
造られた物・道具・機械・
構造物――
それら物質文明の
産物に直接
触れねばならん
そして
捧げられた物は
その証に塵となる

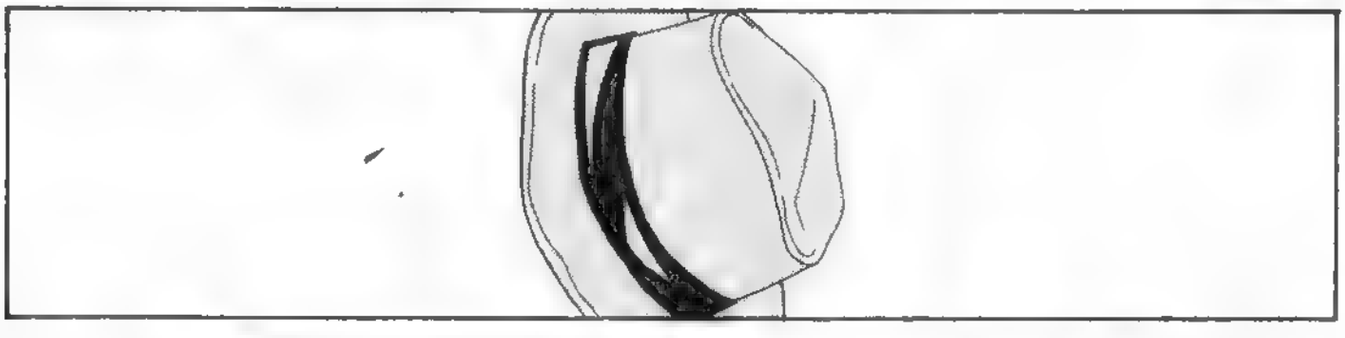

文明の産物を
樹が欲しがる？
カン
そうだ
カニ
そしてより高度な
技術 より進んだ
知識によって――
造られた物を
捧げるほど
強い力を得る


カ!!


ボロ
ちっ
限界が来たか
野郎はどこだ？


ガッ
ダンッ
おらッ！








…帽子を
飛ばされるとはな



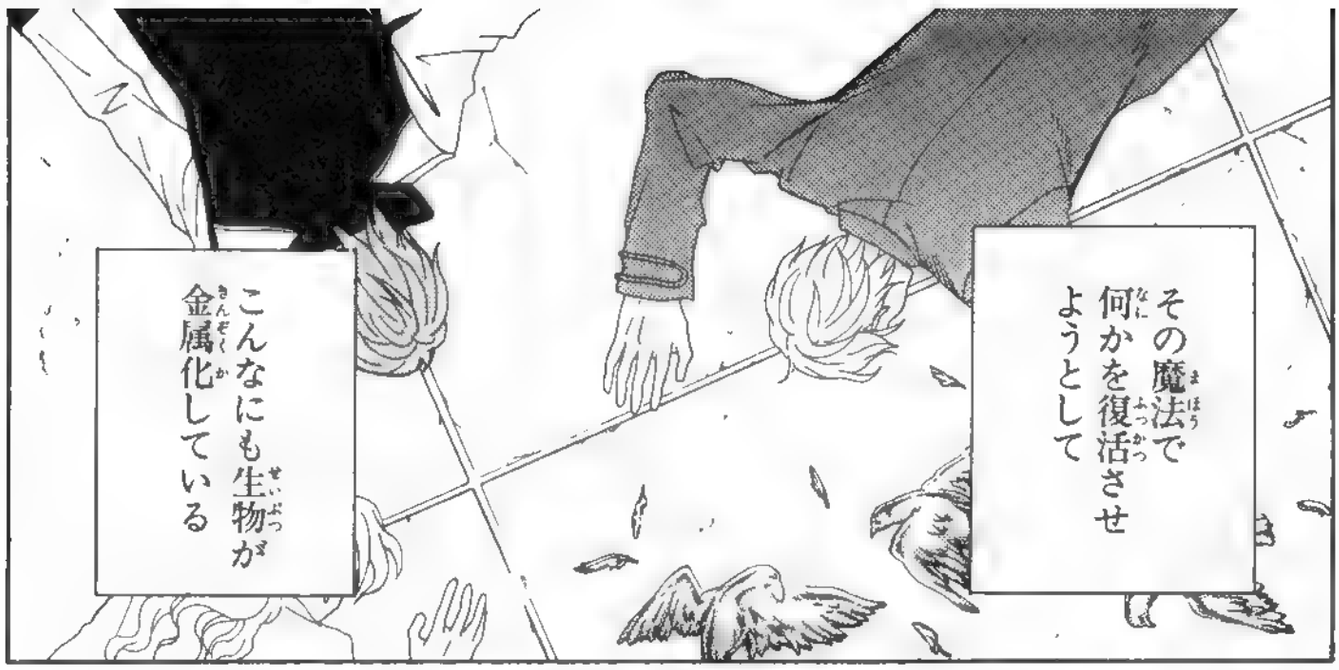

漂流物に付着した
釘やボルト・ガラス瓶等
手に入るが
こんなものでは
大した魔法は
使えはせん


孤島に流された
私がろくに魔法を
使えないのも
その供物が
ろくにないゆえだ
無人島なんて
文明からほど遠い
とこですもんね…


十分に発展した
文明がなければ
我らはさして
力を出せんのだ


…変な感じだ
文明が必要な
魔法なんて
それに「守る」事に
特化までしてる


その上
この状態だ


その魔法で
何かを復活させ
ようとして
こんなにも生物が
金属化している


これに何の
意味がある？
無関係のわけ
ないよな


夏村の魔法使い
としてのレベルは
高くない
使える魔法も
貴様達と
大差なかろう


しかし戦闘に
関しては一族で
最も磨かれている
同じ魔法でも
使う技術に差があるぞ

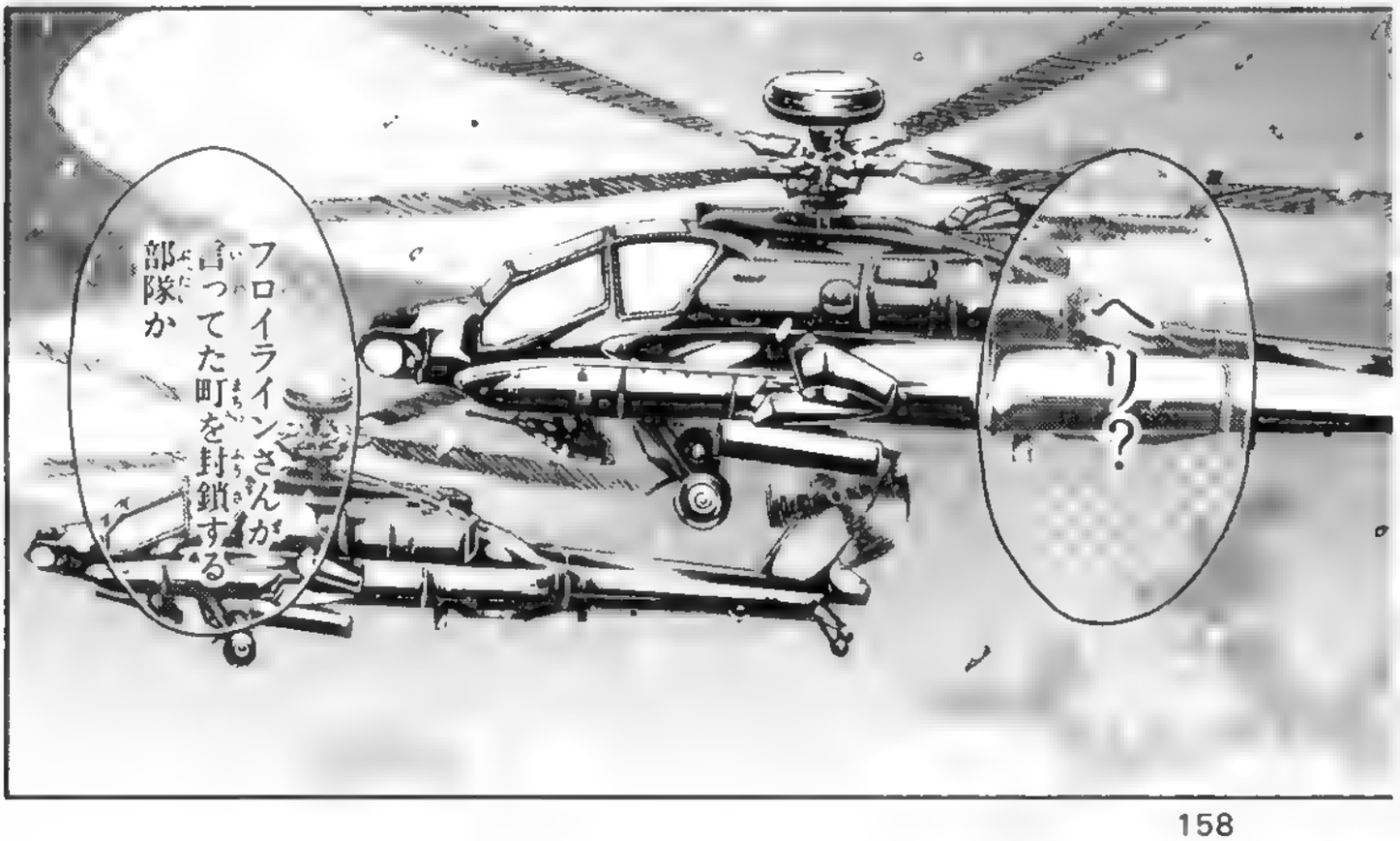

しかもそこは町中だな？
供物となる文明に
困らん場所だ

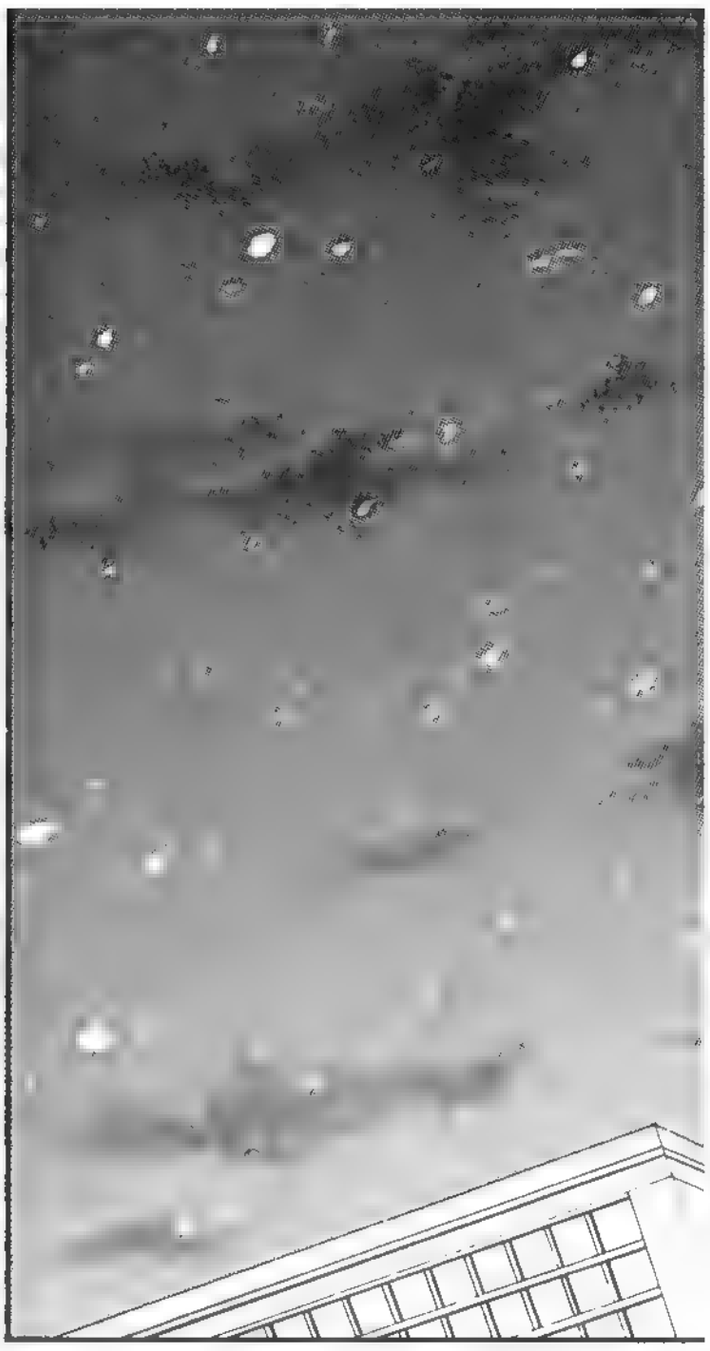

魔具頼みの
貴様等と違い
夏村はいくらでも
魔法を使える


樹の中の樹
大樹の中の大樹
始まりにありし
はじまりの樹
我が言葉において
聞き届けよ
ピシ
ピシ
ボロ
ボロ
バリ
バリ


ハッ
あそこか！
だから早く真広を退かせろ
たとえ勝っても魔具を無駄にするだけだ
そう言われても…
にわか仕込みの魔法であの間に簡単に入れないって
スタッ
真広みたいに頭のネジが
どうかしてないんだから




フロイラインさんが言ってた町を封鎖する部隊か
ヘリ？

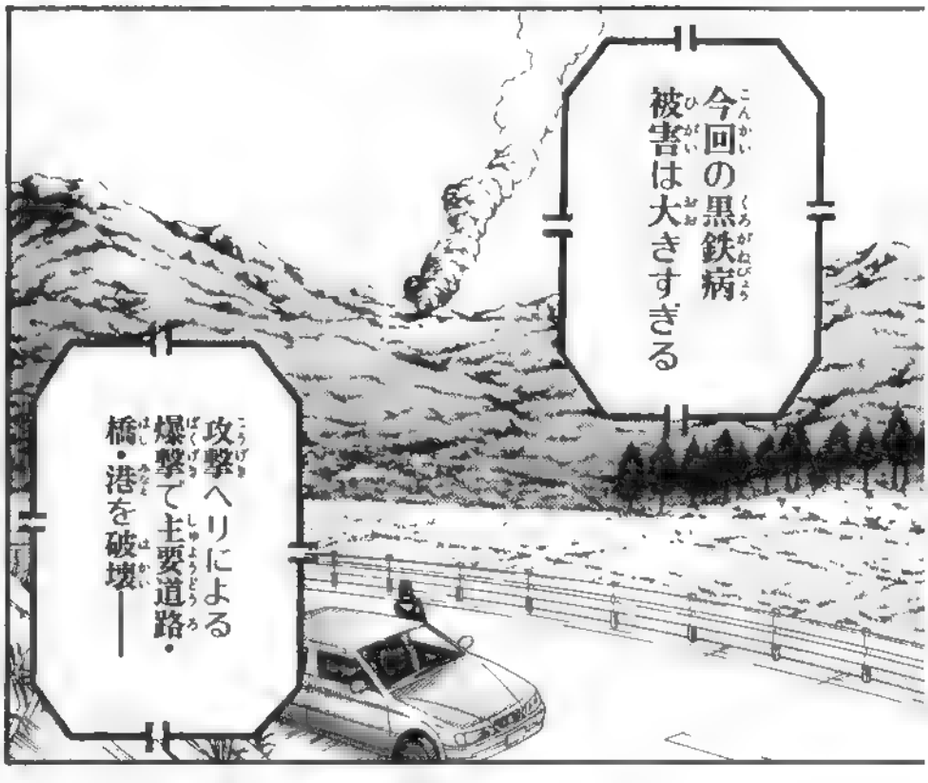





ミサイルとバルカン砲？
あれ攻撃ヘリか!?


町を封鎖するのに
ヘリで爆撃!?
どういう
事よ!!


外部からの
侵入ルートを
閉じるよう指示が
出された
でも乱暴
すぎない?


今回の黒鉄病
被害は大きすぎる
攻撃ヘリによる
爆撃で主要道路・
橋・港を破壊——


その地上部隊が
町に降りるのを
嫌がったんだ
考えてもみろ


生存者がいたら
どうするのよ
地上部隊で
個々に爆破すれば——


見る限りの生物が
金属化している
異常な地域に
誰が入りたがる？
その上 原因が
まるで不明なんだ
防護服
着込んだって
安心できやしない
それで 離れた
空からってわけ？
……ッ
あの子達
大丈夫で
しょうね？
カン
カン
カン

厄介だな…
町はじき封鎖されそうだけど
真広も相手も
簡単には退きそうにもないし
でも
うまくすれば何とか…

何か
あったのか？
あ…
いえ！
それより
葉風さん
一つ訊いて
いいですか？
何だ？

鎖部の魔法で
死者を
生き返らせたりは
できないんですか？
言ったはずだ
鎖部の魔法は
この世の理を
守る力だと


すでに死んだ者を
墓の下から
呼び戻すのが
世の理に
かなう事だと
思うのか？
いえ
真広が犯人を
見つけて殺す
ばかり言うんで
トロ
なぜかと思って
いただけです
「魔法」なんて
ファンタジーな
ものがあれば
最初に願うのは
それのはずなのに
ああ やっぱり
愛花ちゃんは
この手に戻って
こないんだな
ふむ
だが――
真広は
最初から
妹を生き返らせて
くれとは
願わなかったぞ
え？


奴は傲慢で
自己中心的で
いけ好かんが
まともに
信じている事も
あるのだろう
己に都合のいい
奇跡など決して
起こらん事を
犯してはならん
理がある事を
……
そうですね
奇跡なんて
不合理
ですから


じゃあ真広をどうにかします
何だ…？
まるで愛花という娘に生き返って欲しいようだったな？
そんな動機がありそうとも聞いていないが…
わからんな滝川吉野…
何を内に抱えている？

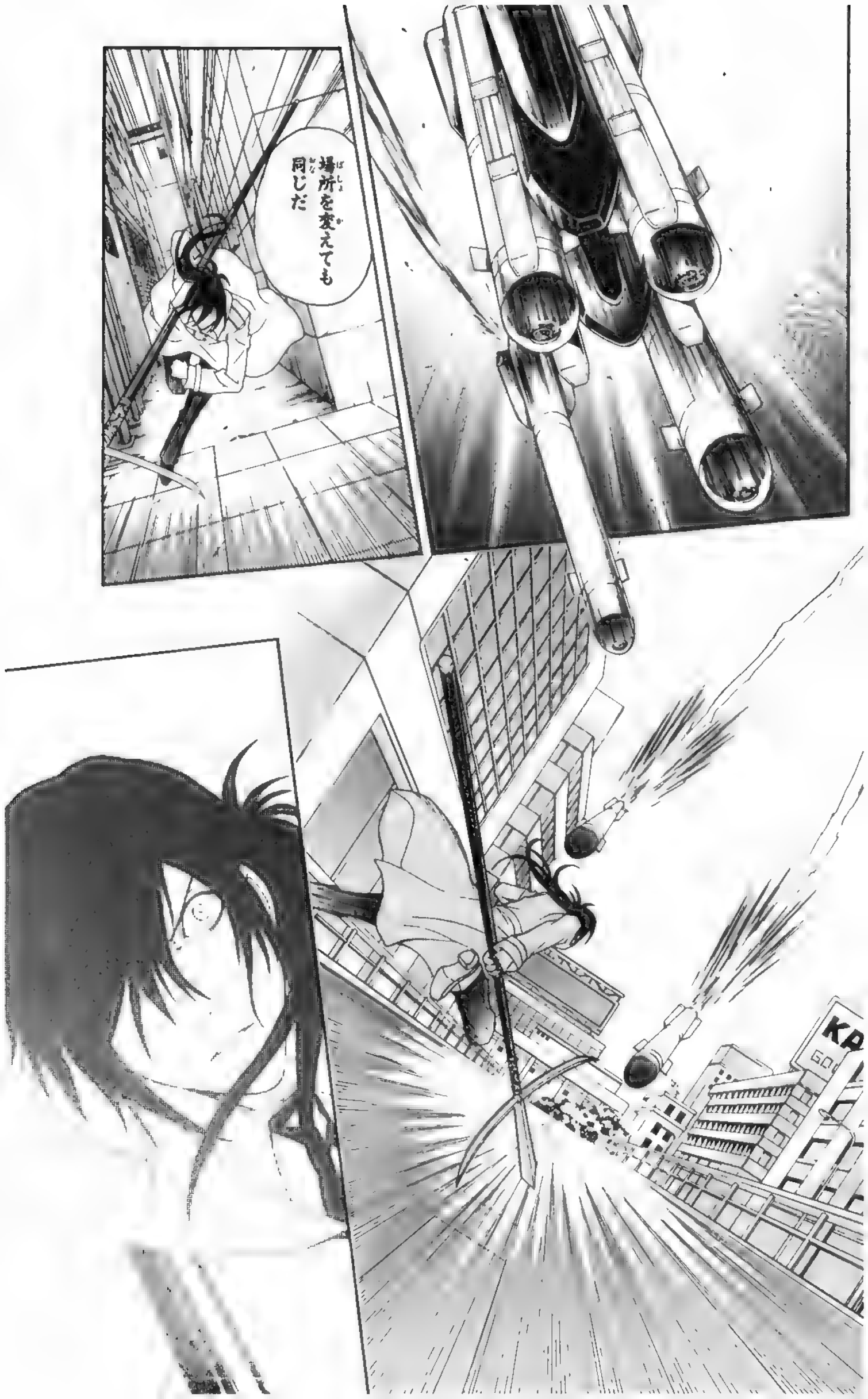

ここまでだ
悪いようには
しない
命まで賭ける
義理や理由は
なかろう
義理はねえが
理由なら
あるさ
十分にな

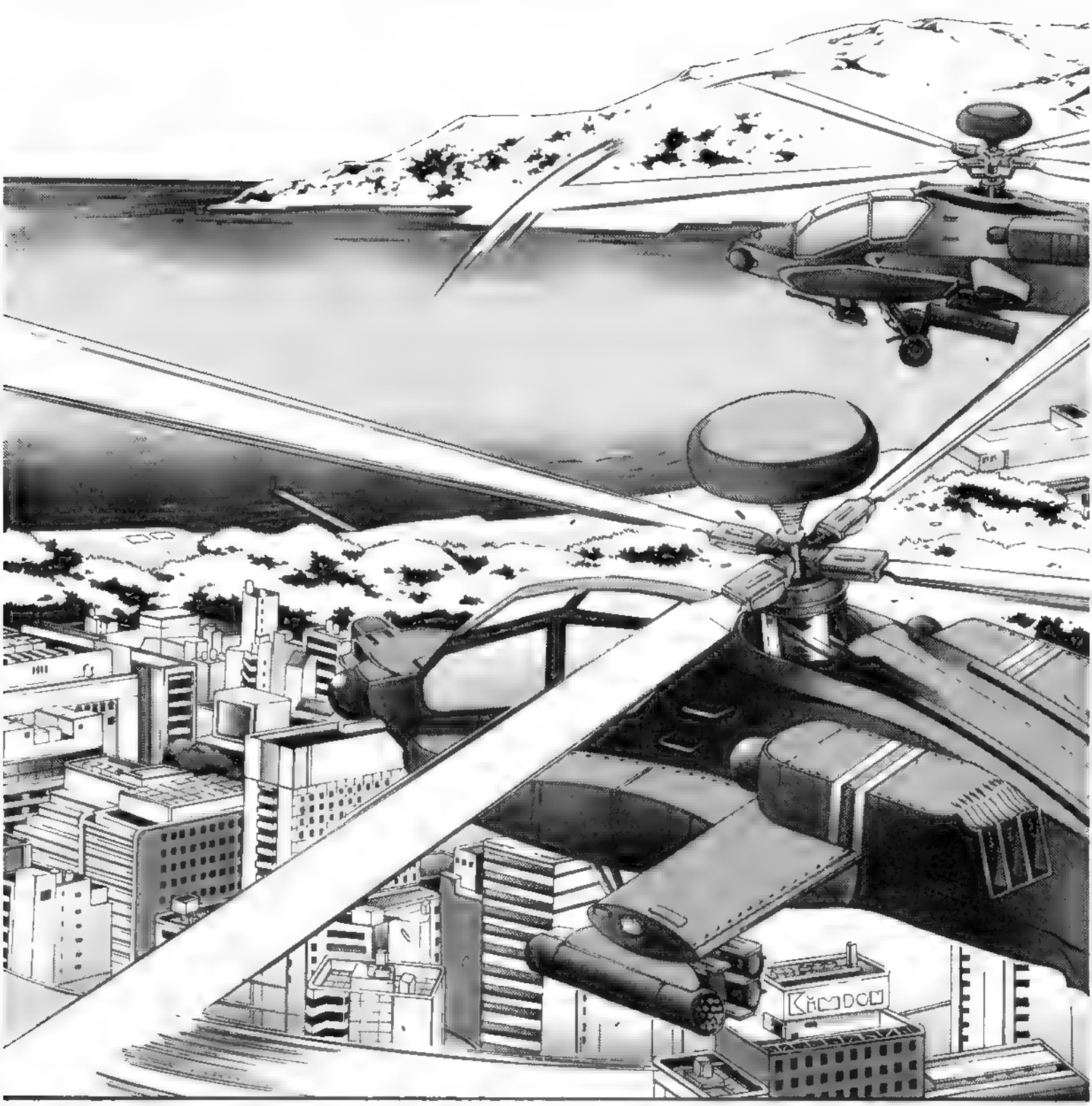



いい
タイミングだっ
反撃には
丁度いい！


それより今は
広い所に出よう
ここじゃ
動きづらい！
それも
そうかっ
お前は
慣れてないしな！

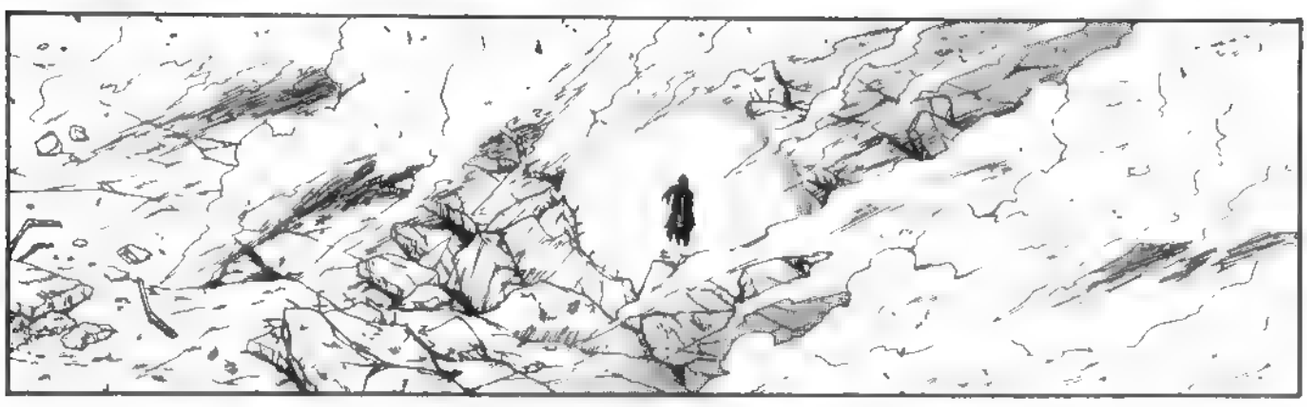

吉野国道に出たら挟撃っ！
前後だ
それより
ぎりぎりで飛んでくれ
何？
――よし
ぴったり！

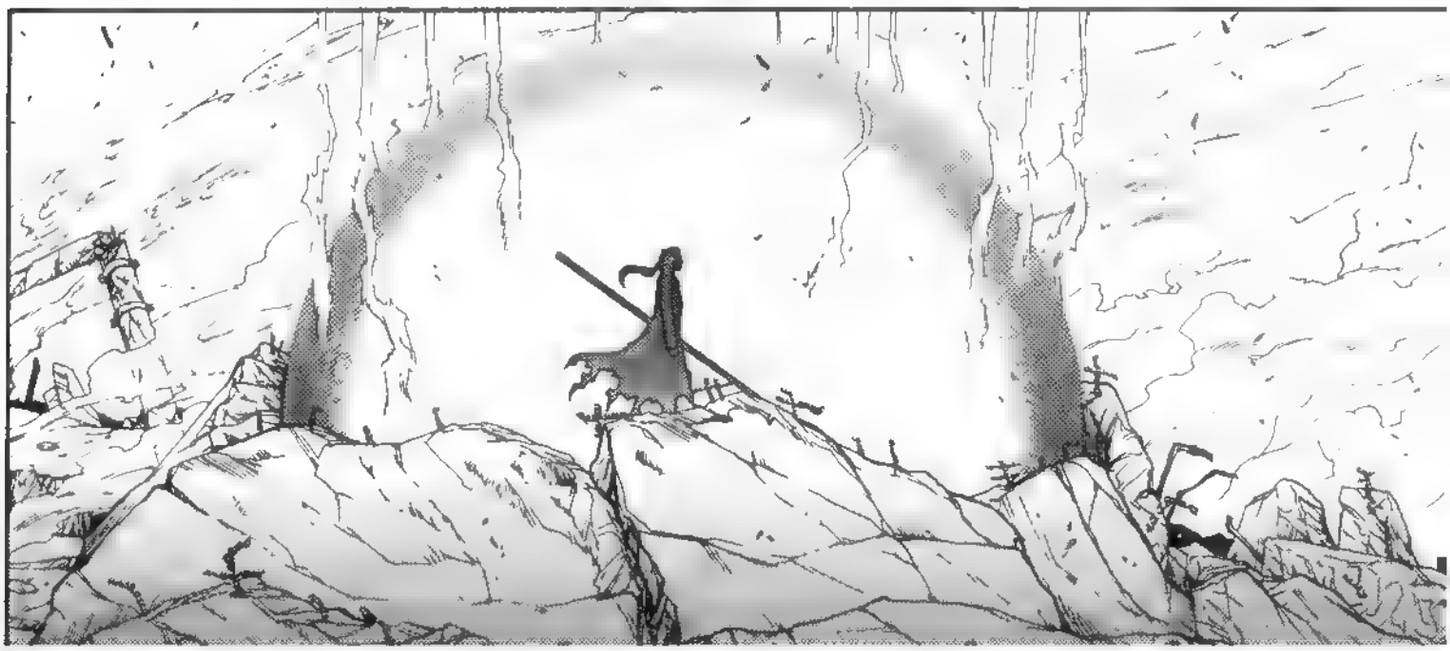

場所を変えても
同じだ











……

してやられたか

あの少年が
この爆撃を
読んでいた
ようだな

左門
申し訳ありません

構わん

逃しました

姫様が我らの
邪魔をすると
いうのなら

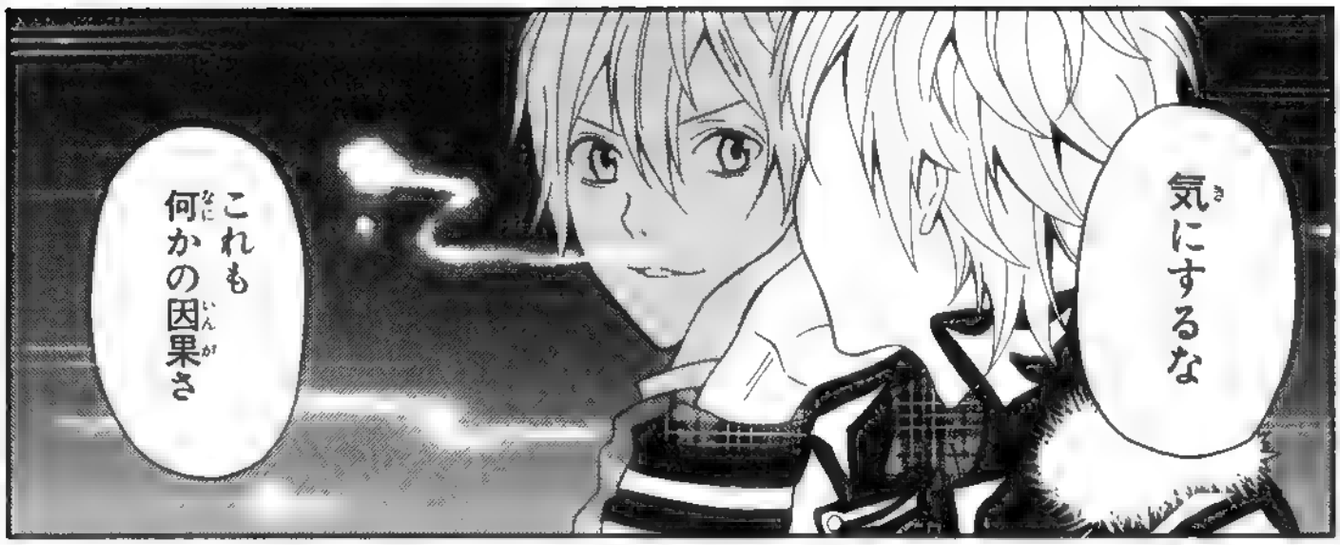
再びまみえる
はずだ


それに
どういう事情で
その二人が姫様と
つながったか知れんが
この世の
命運を左右する
この争い
ただ
巻き込まれた者に
戦いきれはせん
…なら
いいのですが
……
「はじまりの樹」が
造りし世の理は
我らを
邪魔するように
出来ているか？

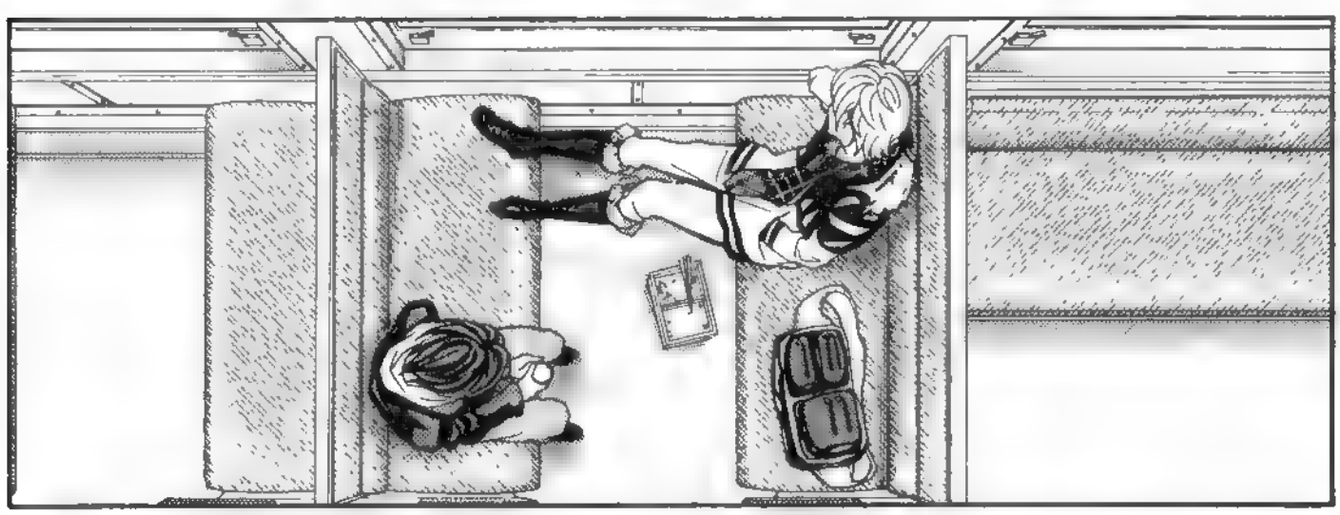

ガタン
ゴトン
……
もったいねえ
あれ とどめ させただろ？
魔法使いを 倒すのが
一番の目的じゃ ないだろ
吉野の方が 正しい
左門達と正面から ぶつからずとも
復活は 妨害できるのだ

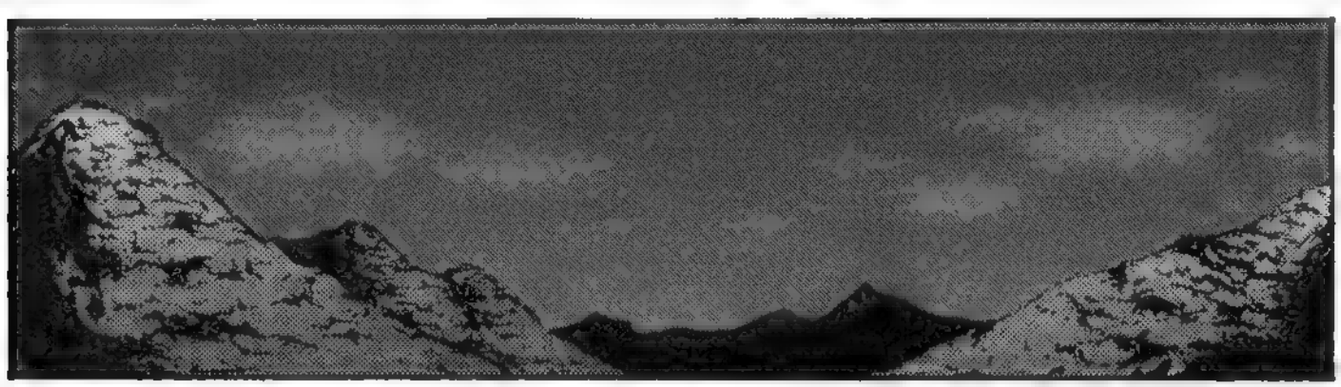

…いいや
魔法使いは
直接倒さなきゃ
ならないだろ
……
…？
どういう事だ？
さっき
葉風の魔法で
愛花を殺した
野郎が
かなり絞れた
犯人は
鎖部一族の
誰かだ


まさか…
間違いない
当時一族を
治めていた身として
申し訳がたたんが
犯人は
一族の者だ
…!
何だ
このつながりは?
こんな偶然
あるのか?
それとも
これは
何かの
必然?


気にするな
これも
何かの因果さ


だから
何かって
何だよ？





絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

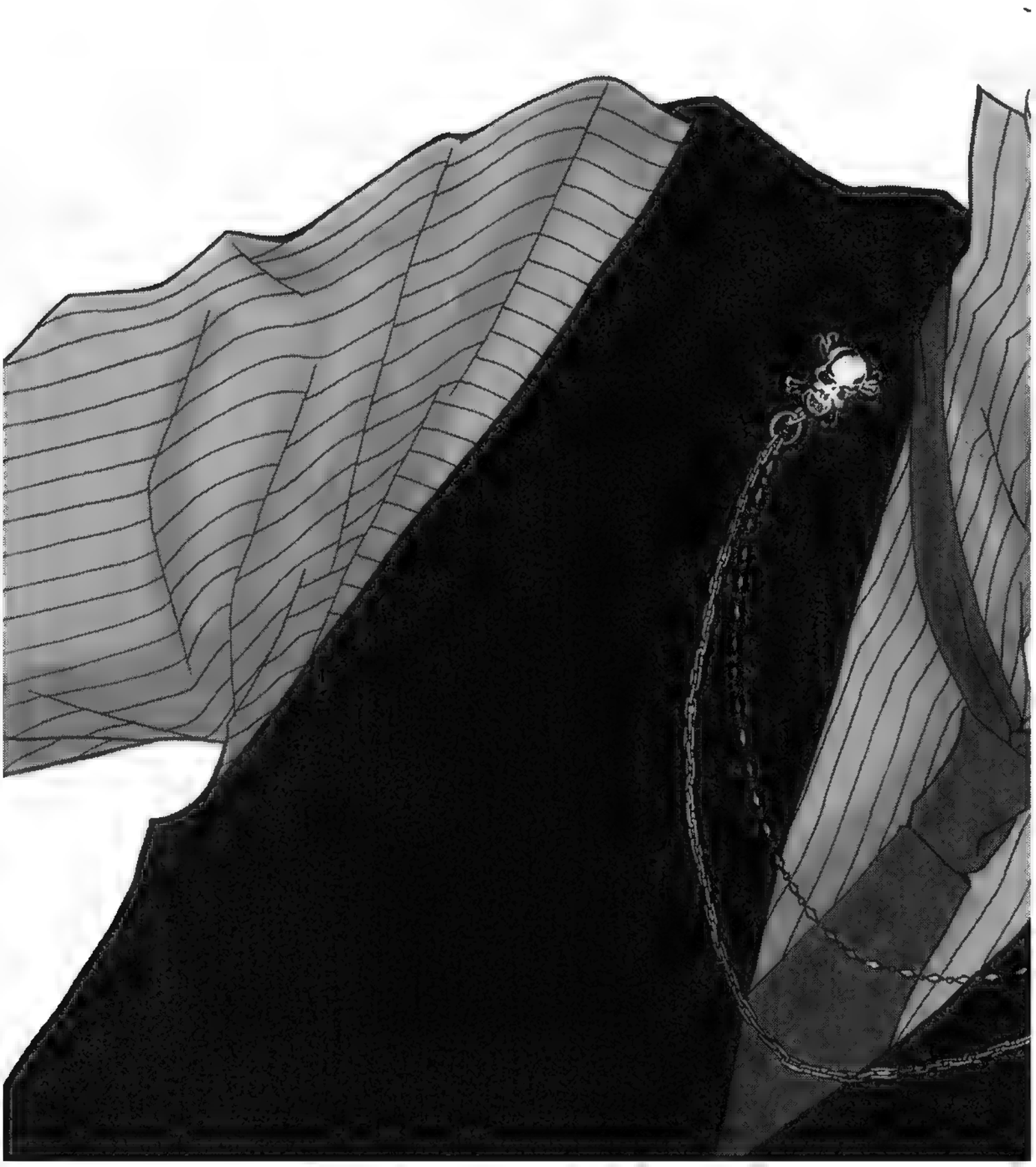
最初にあったのは『はじまりの樹』。この世の理を造り、守る、大いなる神の樹。
いくつもの幹を持ち、谷と山、月をも隠す巨大な姿で、世を乱れなき園にしていたという。



しかし遠い昔、『はじまりの樹』は『絶園の樹』の反乱に遭い、
深く傷つき、長い眠りについた。
それゆえに今の世は理が乱れること多く、争いが尽きないのですね。



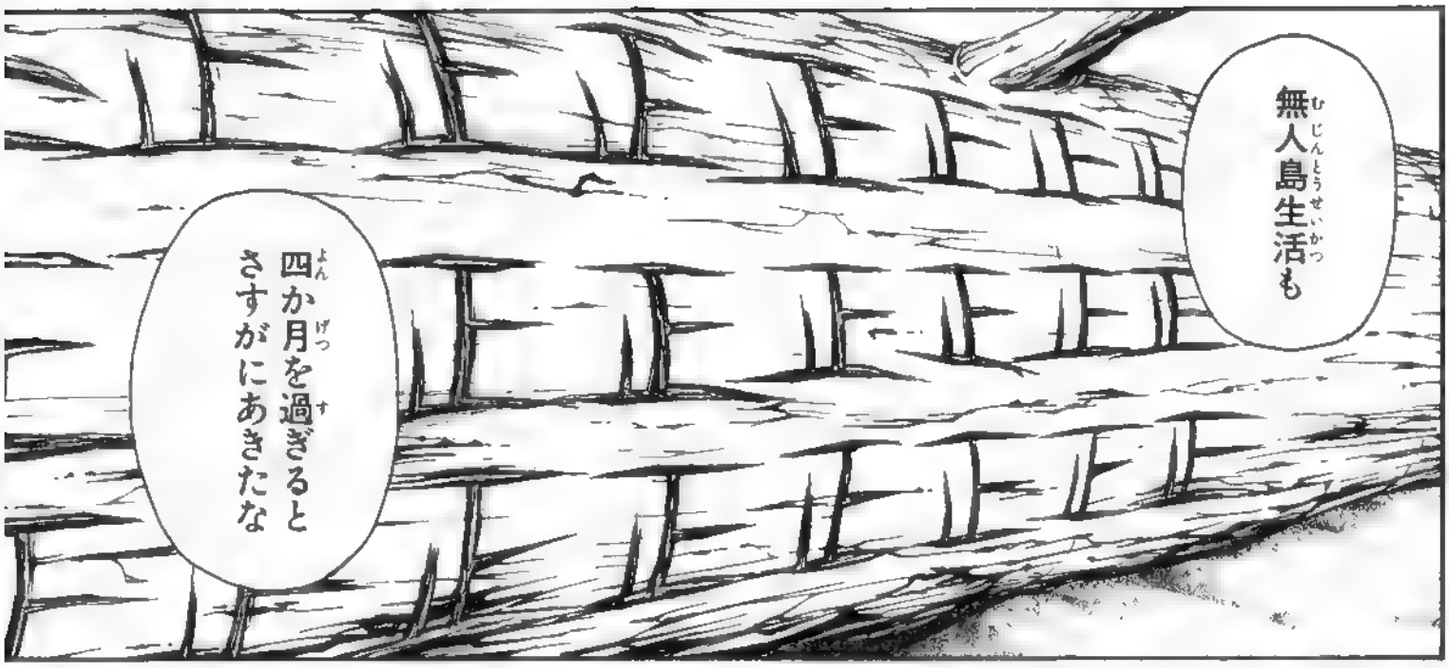
第四話：全てのことには、わけがある

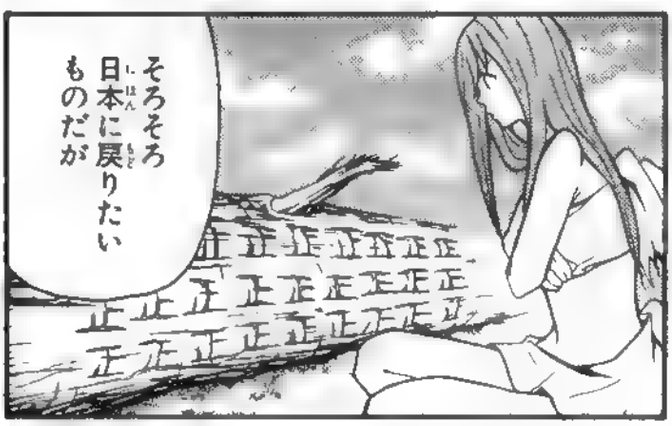




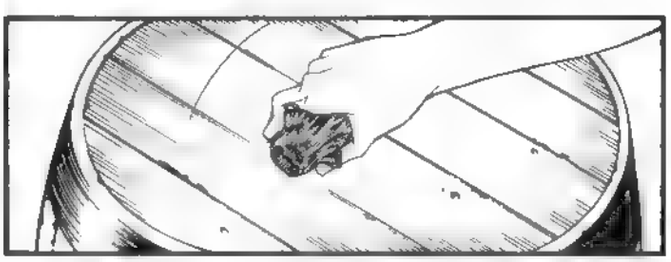

うーん


ふぁ
左門にこの島に放り出され
今日でちょうど
百三十日か


無人島生活も
四か月を過ぎるとさすがにあきたな


そろそろ日本に戻りたいものだが

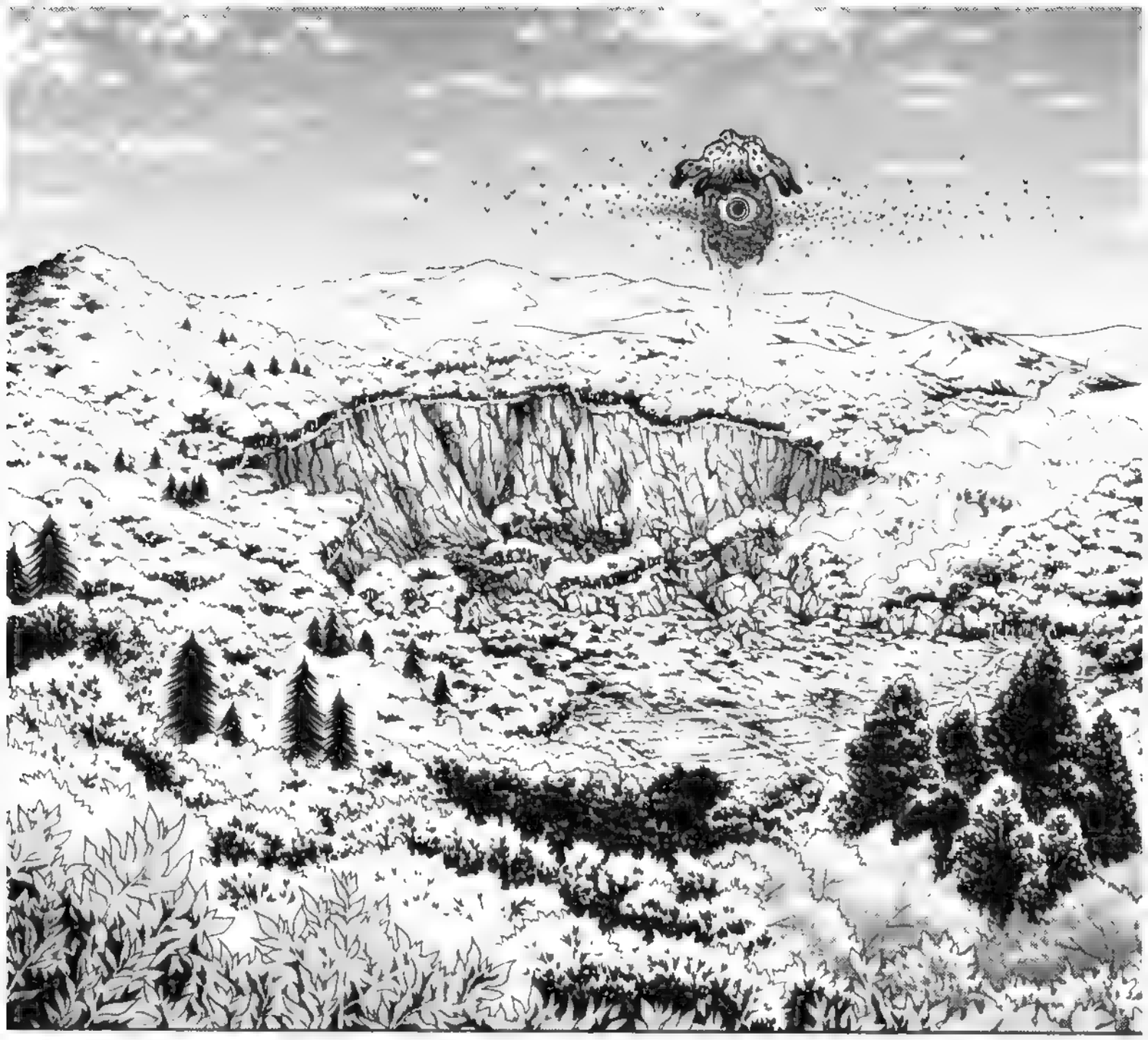

真広
こちらは夜明けだ
そちらはどうだ？

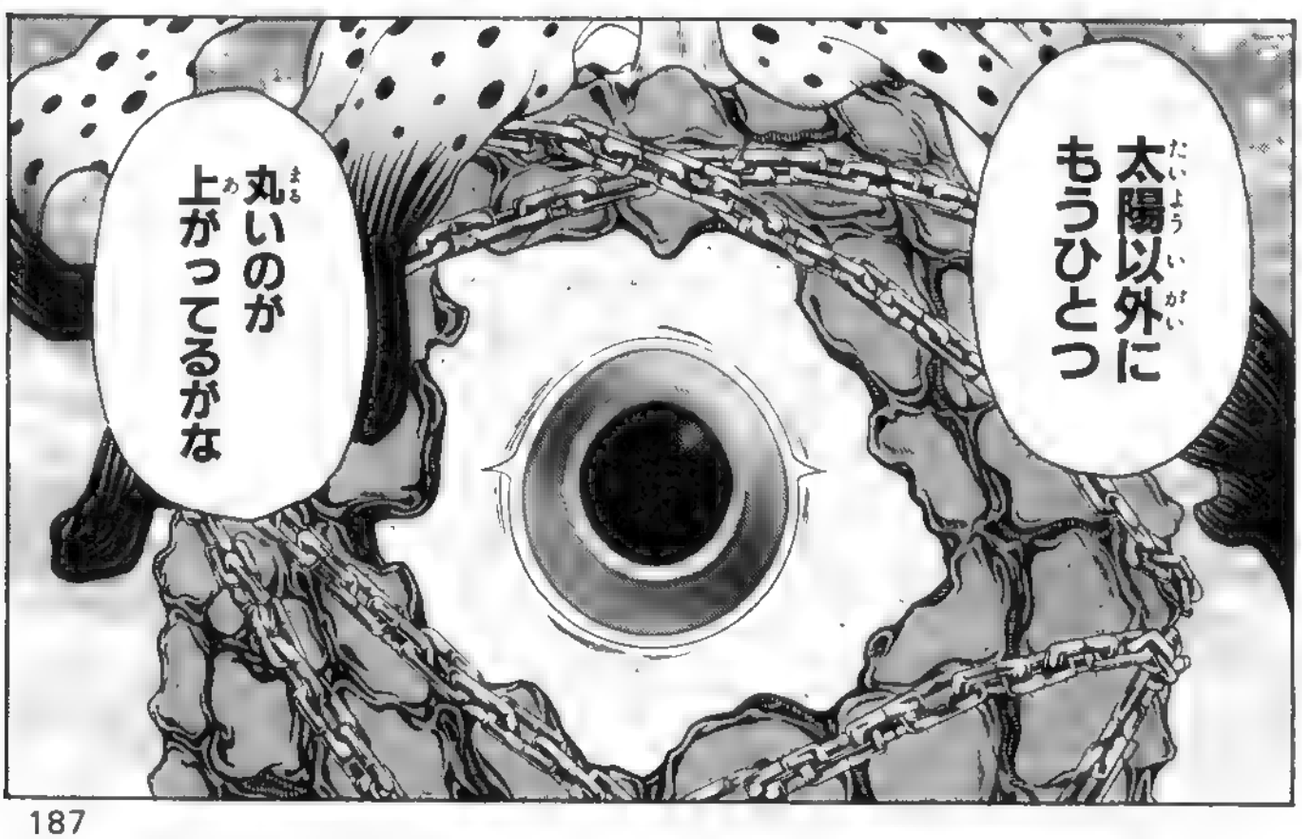



わかってるだろ
そっちとは八時間以上の時差だ


真っ昼間だよ


ただ――

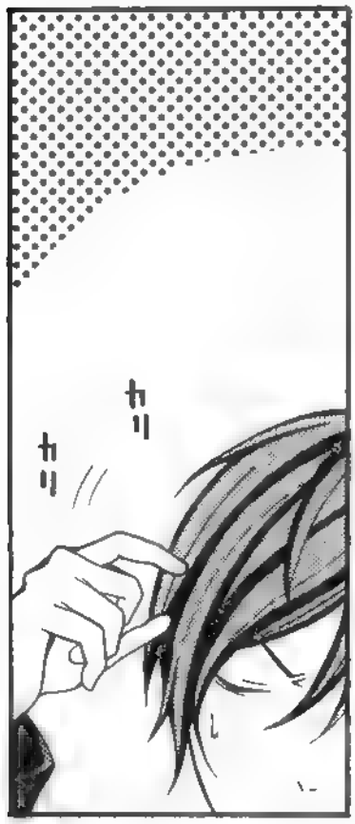



太陽以外にもうひとつ
丸いのが上がってるがな


今度は
何人が犠牲に
なってるか…


また辺りに
黒鉄病が
広がってるね…


大した数じゃ
ねえよ
民家も少ない
山ん中だ


カリ
カリ




真広
いい加減降りろよ
お前は昔から
罰当たりなんだから…
こんなのただの
置物だろ
それより
魔具は？
回収したよ
本殿の中に
隠しとくなんて
葉風さんも
罰当たりだよ
私の神は
「はじまりの樹」だけだ
他の神など
知らん
……

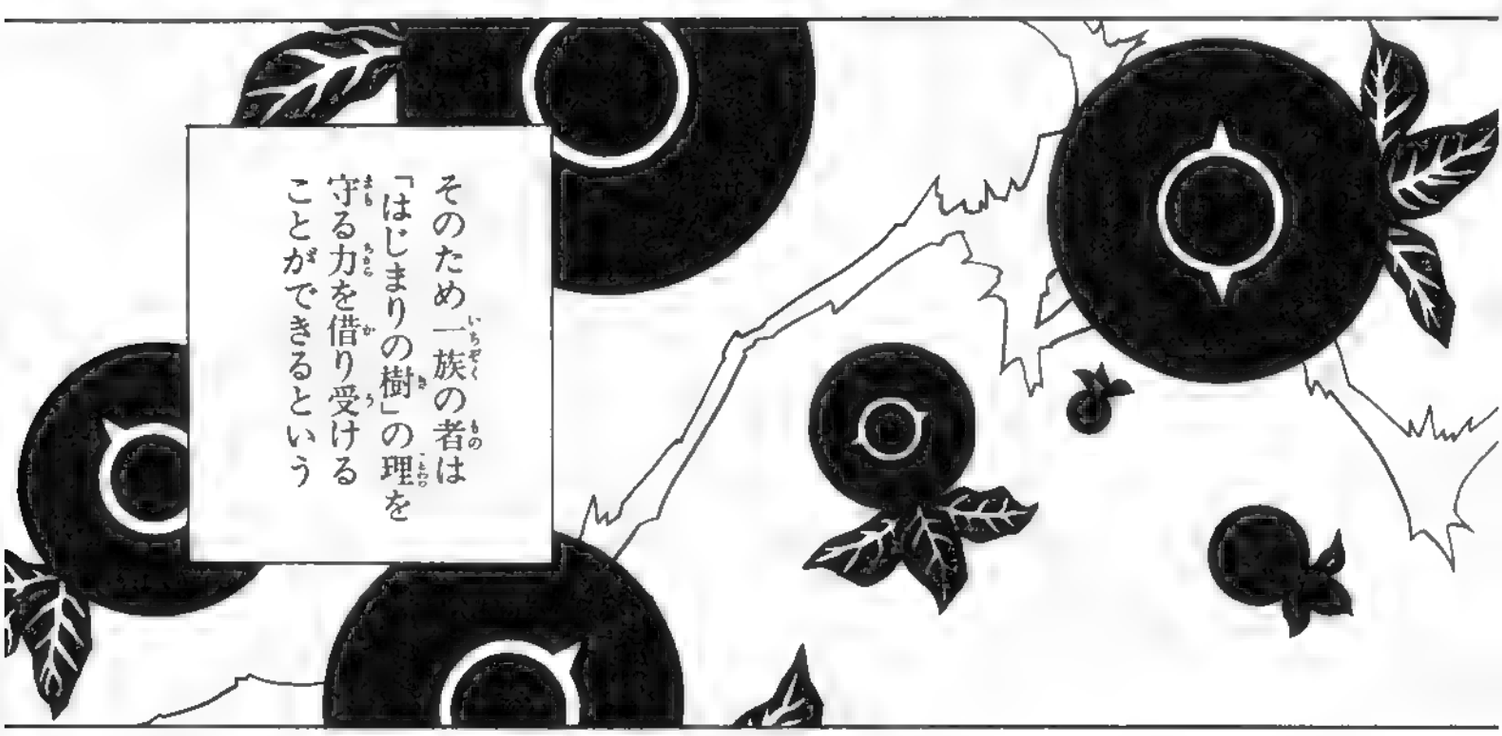
この世の理を
造り 守る
「はじまりの樹」

この世の理を断ち
砕く 塔のごとく高い
荒ぶる「絶園の樹」か

かつてこの世を破壊しよう
とした「絶園の樹」
しかし「はじまりの樹」に敗れ
その身をバラバラにされて
封じられた

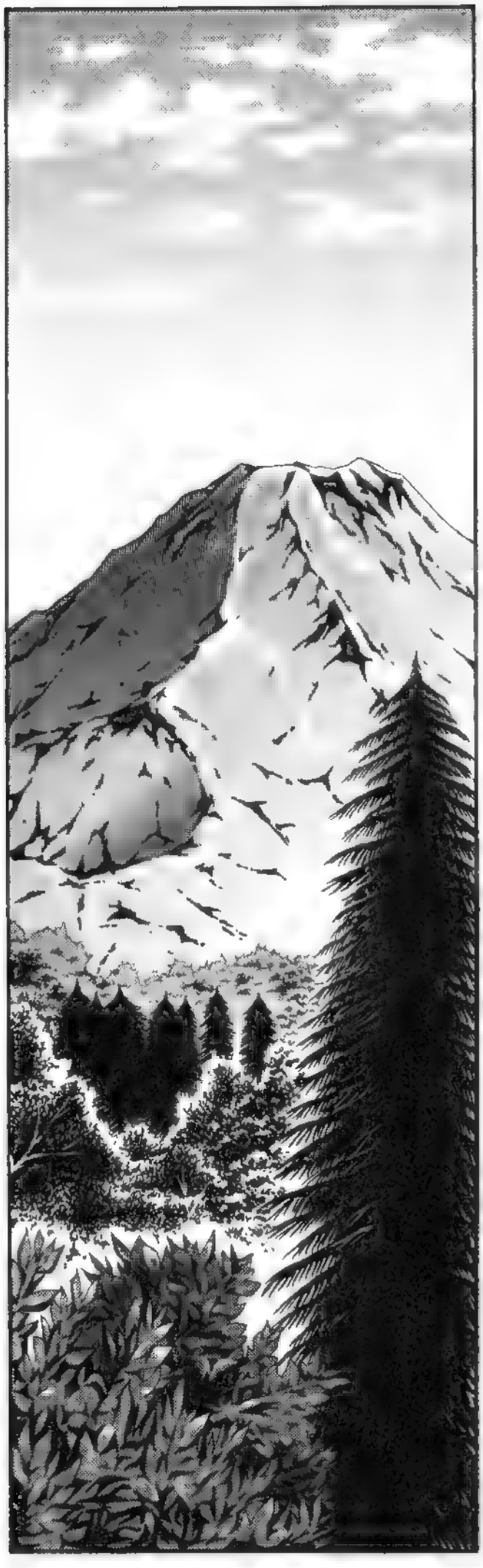
鎖部一族の役目は
「はじまりの樹」が
再生する時まで
「絶園の樹」が果実と
なった身を集め
復活するのを抑えること


一方で
「はじまりの樹」も
深く傷つき 何とか
世界を支えながらも
今は再生のために
眠っているという


そのため一族の者は
「はじまりの樹」の理を
守る力を借り受ける
ことができるという

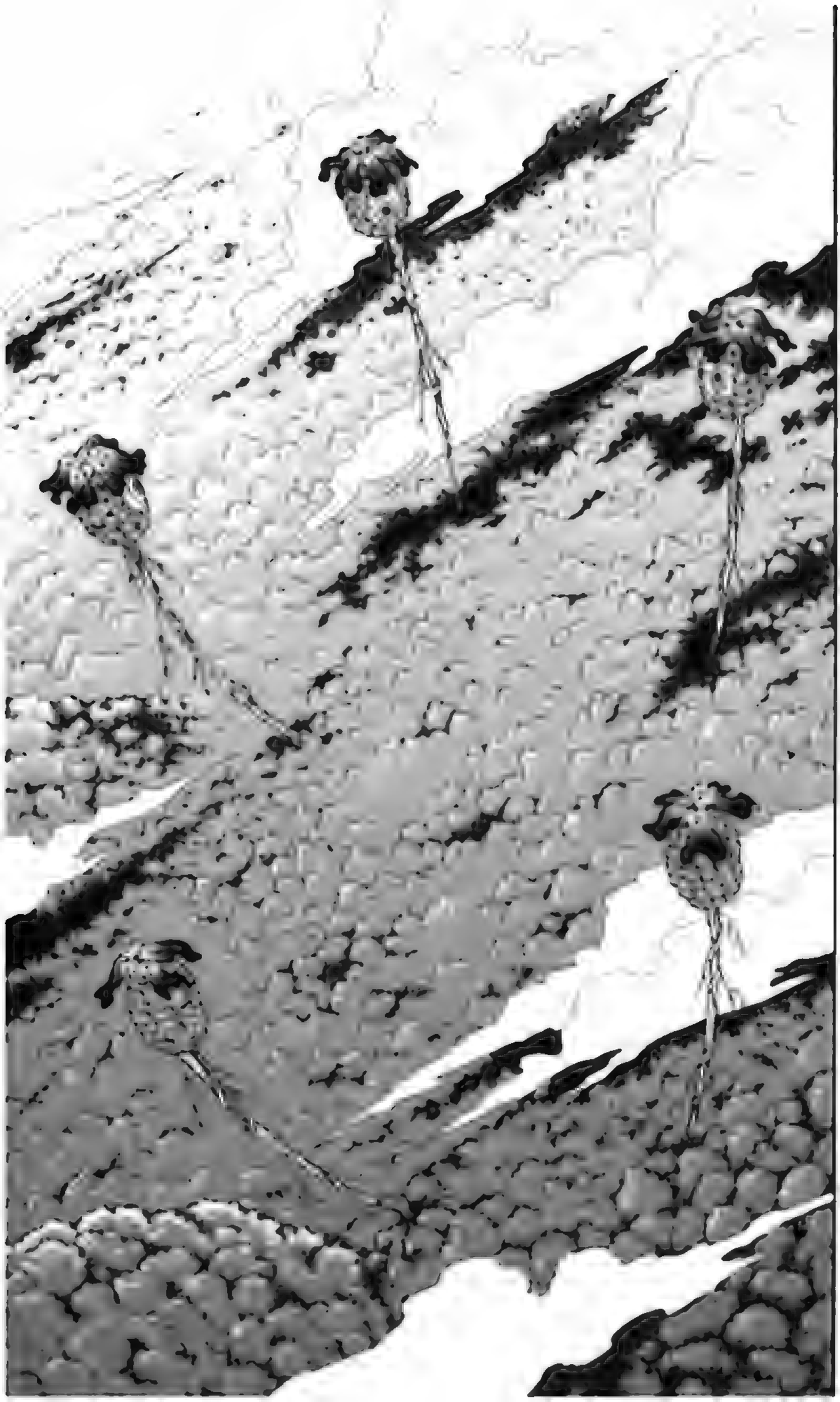

でも…
ワラ…
鎖部左門という男は
その役目に背き
「絶園の樹」を
復活させようと
一族をまとめて
果実を集めている
ゴゴ
ゴゴゴゴゴ…
「はじまりの樹」
にはない
破壊の力を
手にするために
…もう
必要ねえが
パキ
一応飛んだ方向
記録しとくか
ピッ


あんなものを
かき集め
手にした力で
つかむ野望なんて
きっと
ろくなものじゃ
ないだろうに…
しかし
果実の出る
ペースが早いな
前回のが
二日前だぞ
左門め
儀式を早める
リスクより
私の手が伸びる
方を恐れたか
パチ
パチ
だが
最善の選択だ
パチ
パチ
堅実好みの
やつらしい
でも
葉風さん
そこに閉じこめ
られたままで
どうするんですか？
脱出するにも
僕らにその島を
探させようとも
してませんが
探すことはない

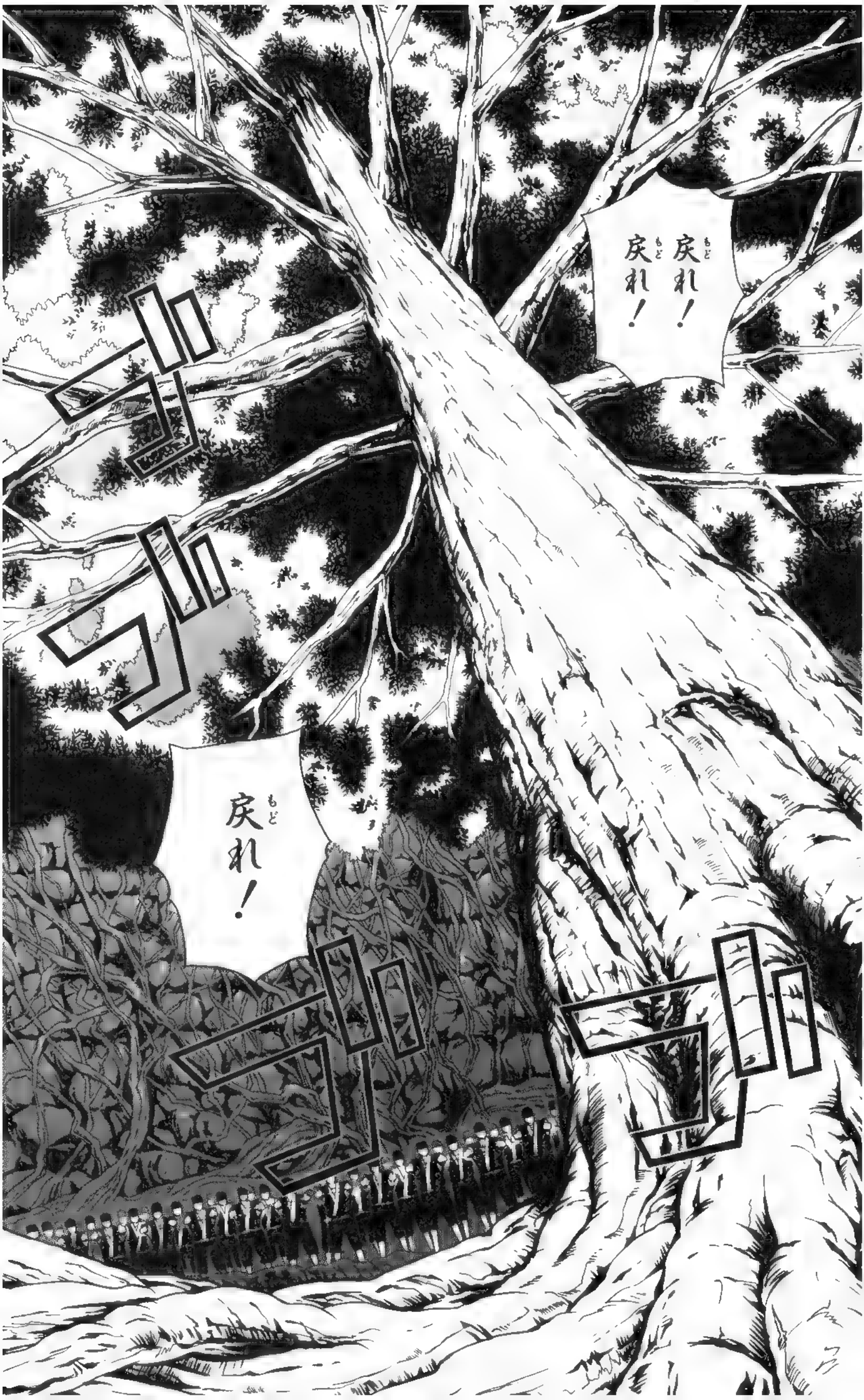



もっと
手っ取り早く
そちらに
帰るぞ


？




戻れ！
戻れ
戻れ
戻れ！


戻れ！
戻れ！
ゴゴゴ
戻れ！
ゴゴゴ



フーン










やはり
お疲れですか
左門殿
錯覚だ
それより
儀式を
手伝わせて
すまんな
交代要員は
回復した
再び各地の
探査に戻ってくれ
はい
しかし
あの二人の動向が
気になります
鎖部の魔法に
望んだ相手を探す
術があれば
すぐ捕らえ
られるのですが…


我らが魔法は
理を守り
正す力だ
人を殺すといった
世の理を侵した
者なら
それを正すため
として探せるが
でなければ
無理だな
ただ
同様に
あの二人も
この場所をたやすくは
見つけられない
でしょう
結界で守られ
この異変さえ
外からは見えないの
ですから


その二人
——いや
姫様はすでに
この地を見つけて
いよう
空に上がった果実は
ほぼ一直線で
「絶園の樹」へ飛ぶ
その方向を
真っ直ぐたどれば
いやでもこの地に
当たろう
直線といえ
広範囲では？
隠されたここに
そう簡単に
行き当たれますか？
果実がひとつ
だけではな
だが二つ・三つと
飛んだ方向を測り
地図上にその軌道を
書き入れれば
それらは必然的に
一点で交わる
この地でな

果実はすでに
五つ以上飛んでいる

姫様はその少年達に
飛んだ方向を測らせ

カキッ

間違いなく
この地を絞り込んで
いよう

なら
姫様の手は

こちらの喉元に
かかったも同じだ

――すでに
左門の拠点は
絞れた

順次進めた
魔具の回収も
ほぼ終えた

貴様らが私に従えば
あと数手で左門を
詰められる

いいか

魔法使いとしては
私が最強だ

一族の者全てを
合わせても私の力の
十分の一にも満たない

私が敵対すれば
その時点で左門の
負けは決まる

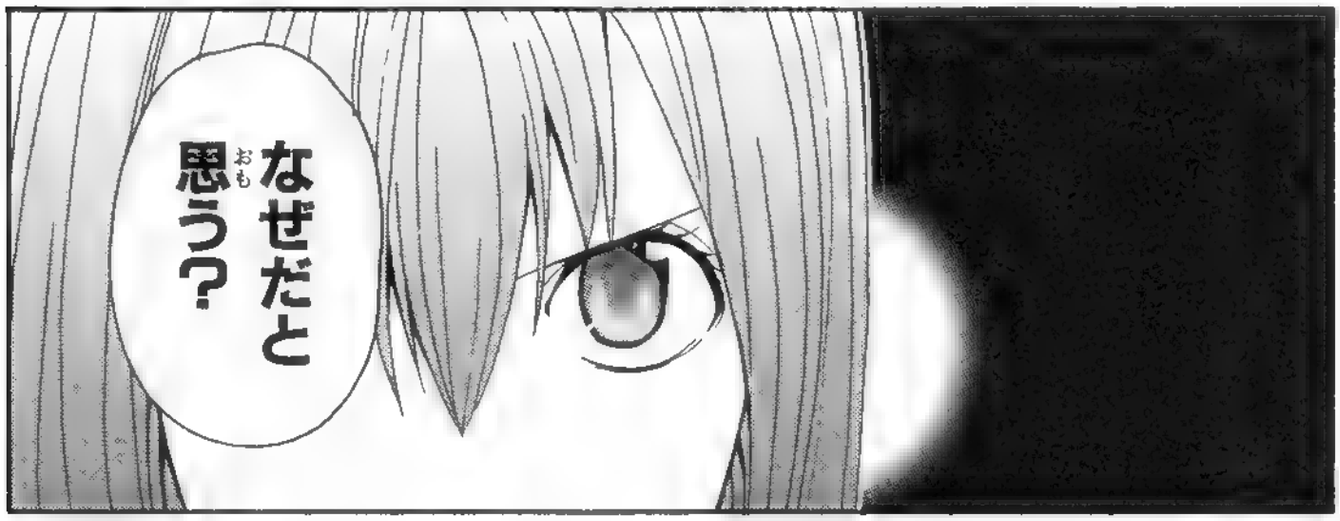
無論 私が魔法を
使える状態で
あればだがな

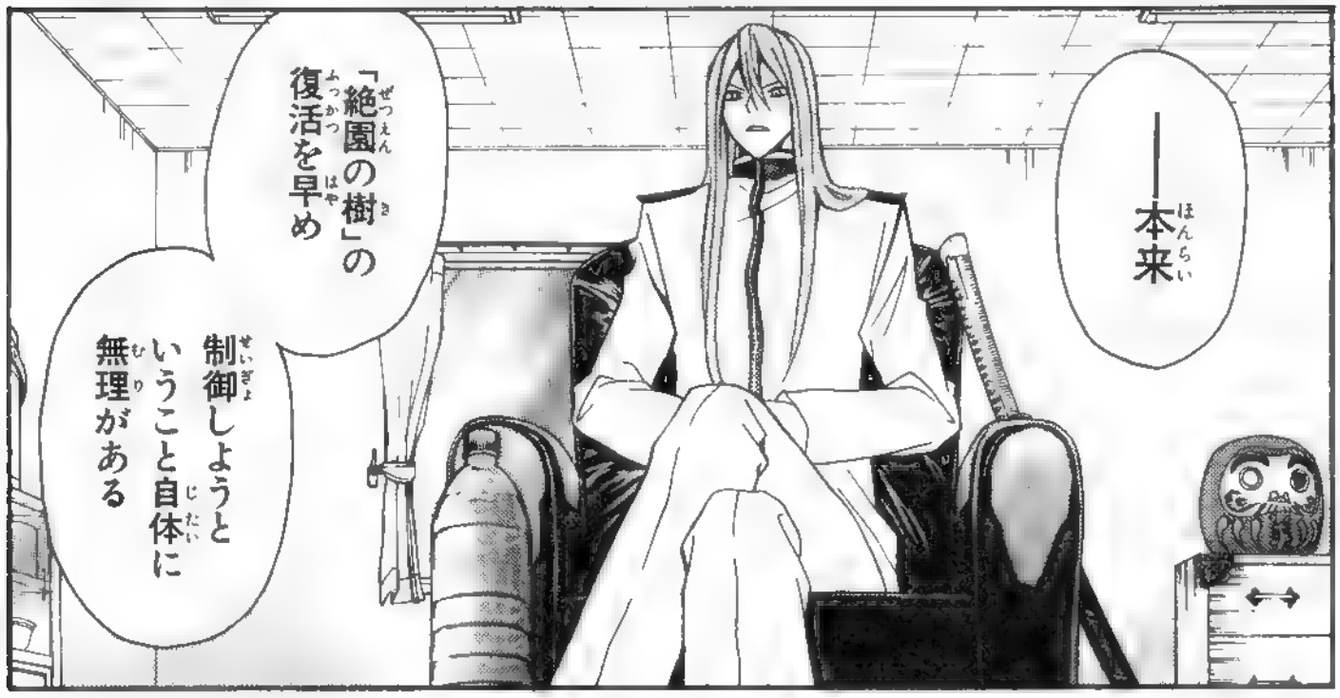
だから
最初に

ろくに魔法を
使えないそこにあなたを
放り出したんでしょう？

そうだ
だが――

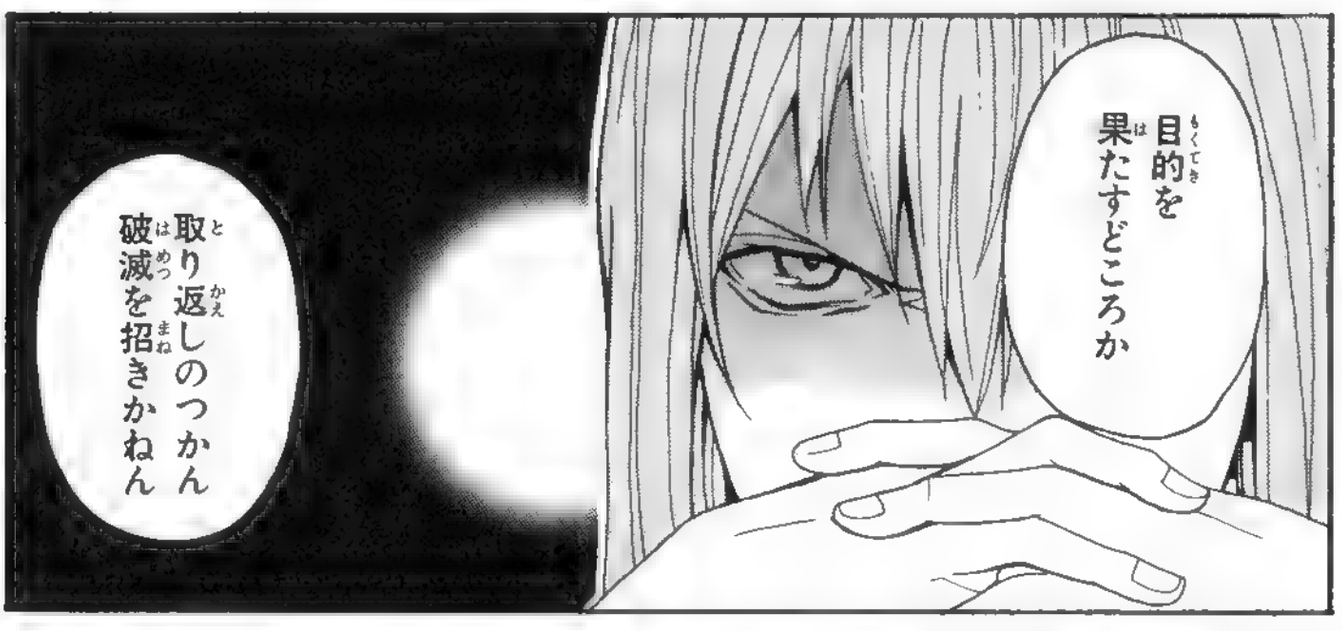

左門は私を
殺さなかった
殺してしまえば
後々邪魔される
恐れは消えるのに
孤島に閉じこめる
という面倒を選んだ


なぜだと
思う?


——本来
「絶園の樹」の
復活を早め
制御しようと
いうこと自体に
無理がある

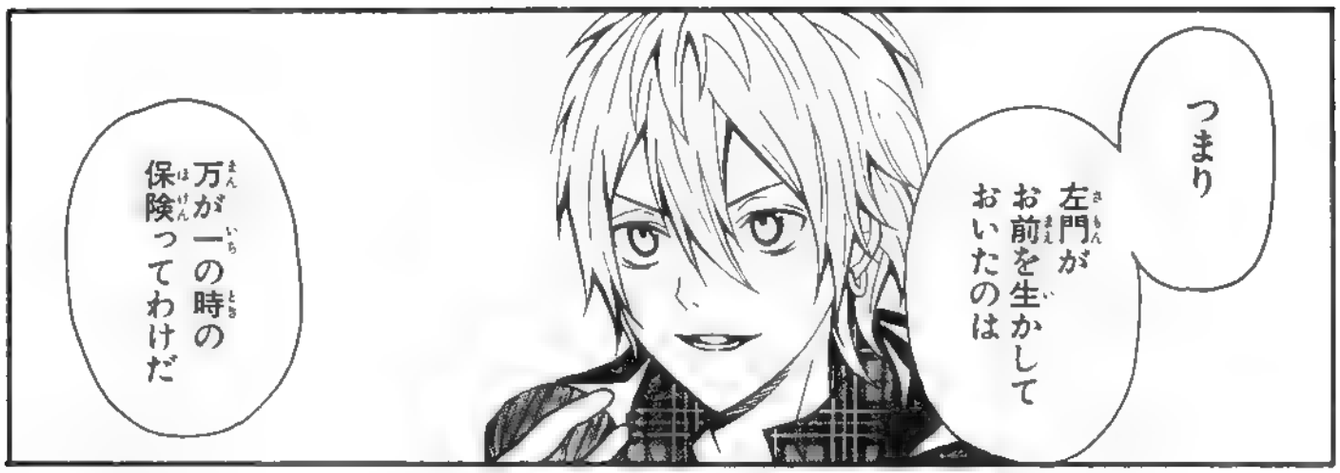

ひとつ
間違えば
その恐るべき
破壊の力を
扱いきれず


細心の注意を
払っても成功の
見込みは高くない


目的を
果たすどころか
取り返しのつかん
破滅を招きかねん

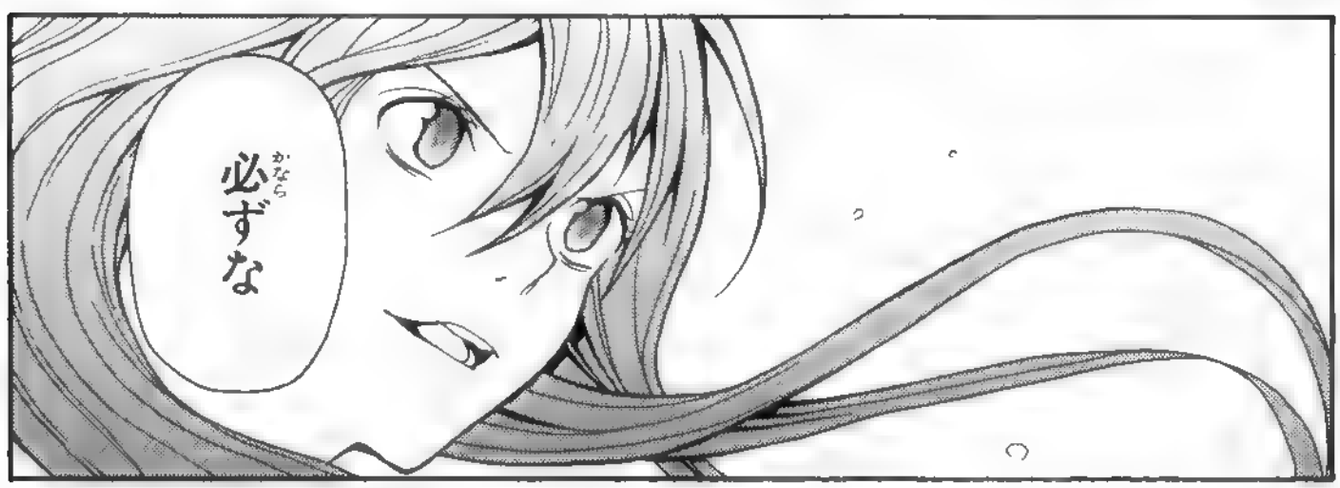

もし「絶園の樹」が
〝狂風〟となれば
左門ごときが
百人いてもその力は
抑えられん


それを
抑えられるのは
私だけだ

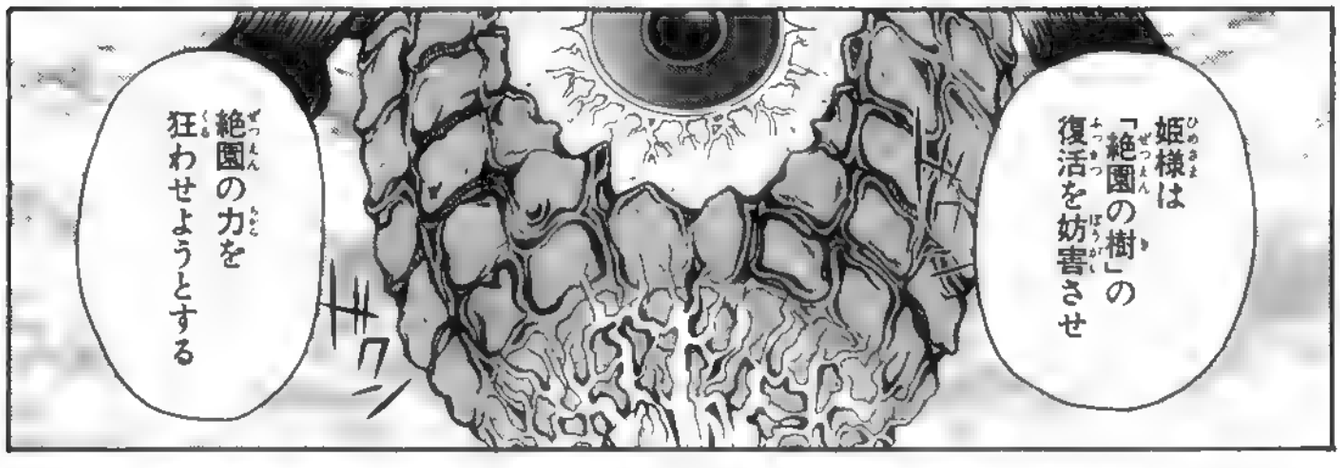

つまり
左門がお前を生かしておいたのは
万が一の時の保険ってわけだ

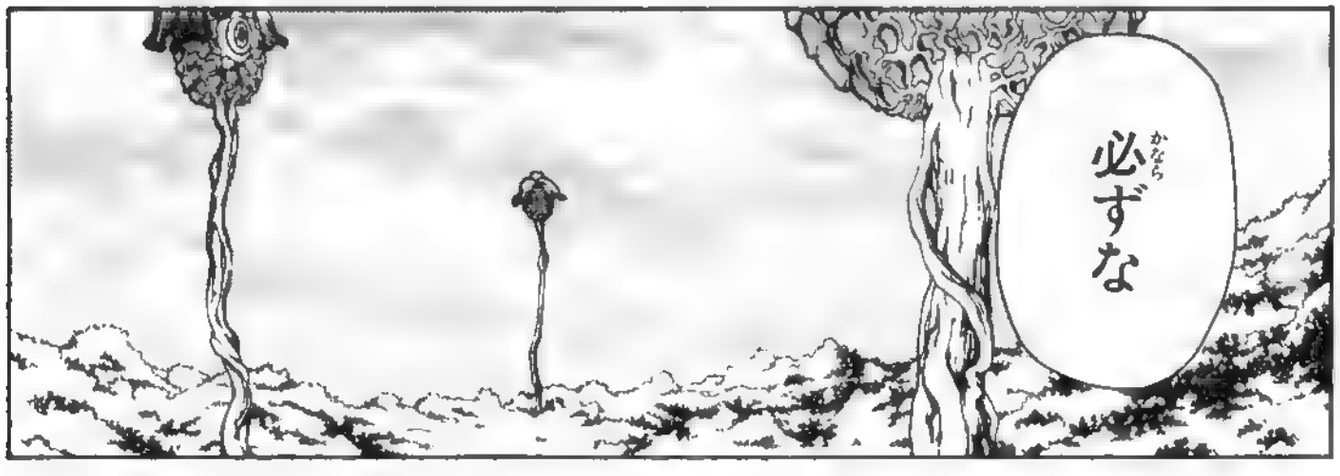

そう
左門は堅実な男だ
常に最悪を考えその対策を用意する

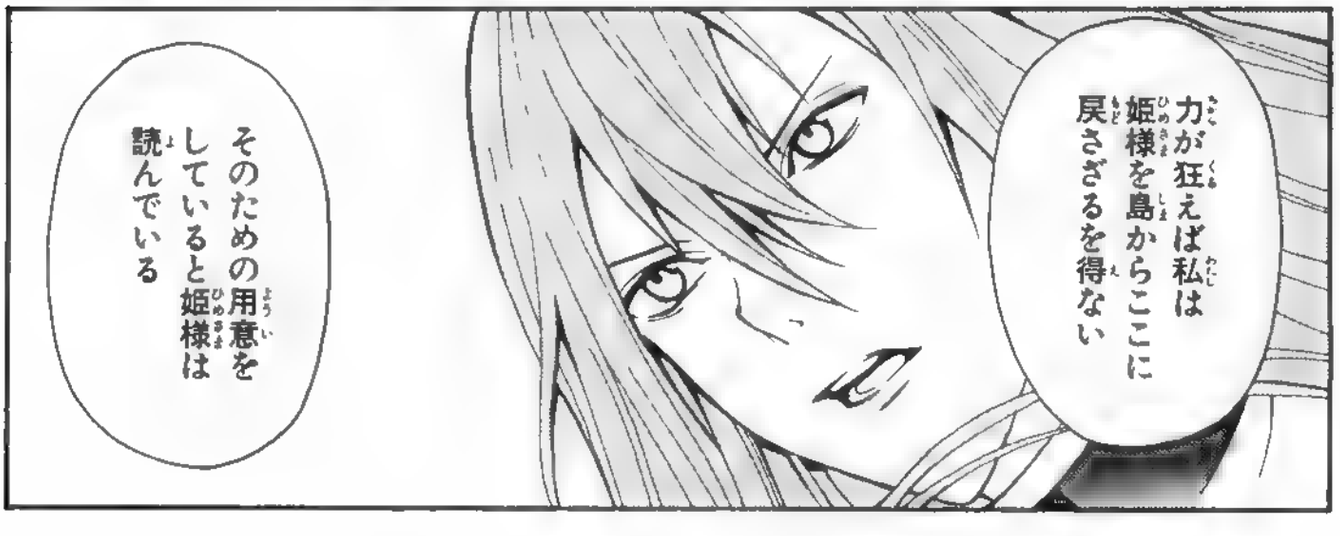

だからまさかの時
いつでも私を日本に戻せる用意をしている


必ずな


姫様は
本土に協力者を見つけたからといって自分がいる島を探させはしない
それには時間も資金もかかりすぎる


姫様は「絶園の樹」の復活を妨害させ
絶園の力を狂わせようとする


必ずな


力が狂えば私は姫様を島からここに戻さざるを得ない
そのための用意をしていると姫様は読んでいる


そして
姫様が戻れば
最悪は避けられても
我らの負けだ
もとより困難な
「絶園の樹」復活を
わずか四か月ばかりの
準備で行っているのだ
外部からの妨害次第で
あっけなく制御が
外れるぞ

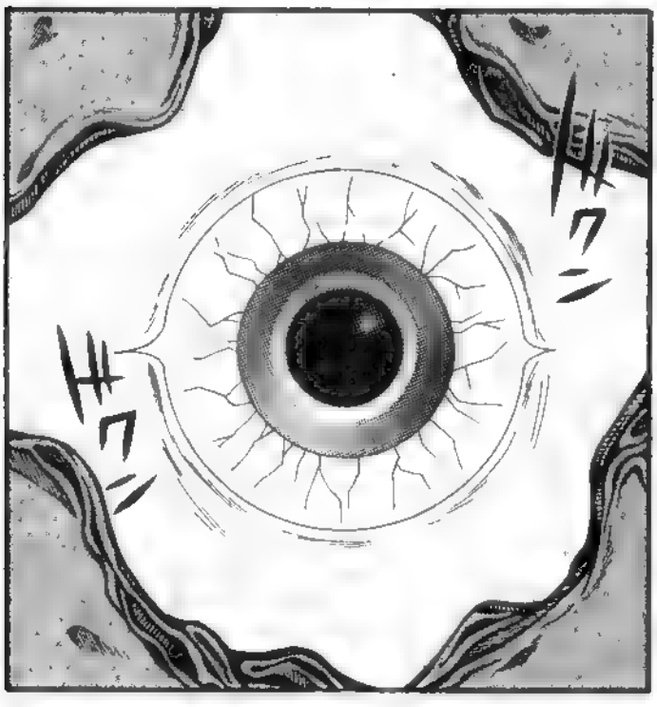

姫様のことだ
妨害に足る
強力な魔具を
用意していよう

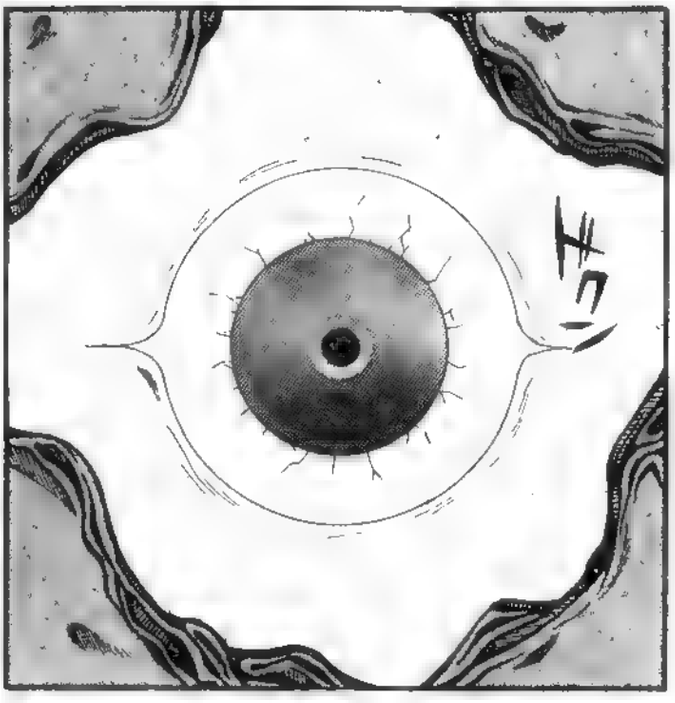

そして今
一族のほとんどは
復活の儀式以外に
力を割く余裕はない


軍や国家の攻撃ならば
あらかじめ張った
結界で守り抜ける
だが――


左門は
剣の下に立っているよ


最強の魔女たる
姫様が相手では
我らの守りは
途端に危うくなる


ドクン
ドクン


ドクン


お前の
見立て通り
ただ巻きこまれた
だけで終わらぬ者なら

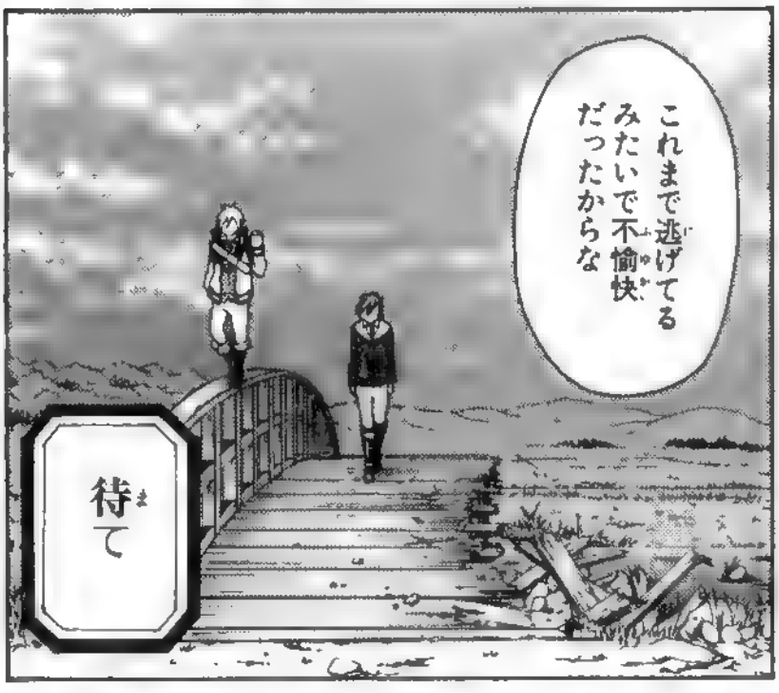

……
……
姫様とつながる
少年達が――

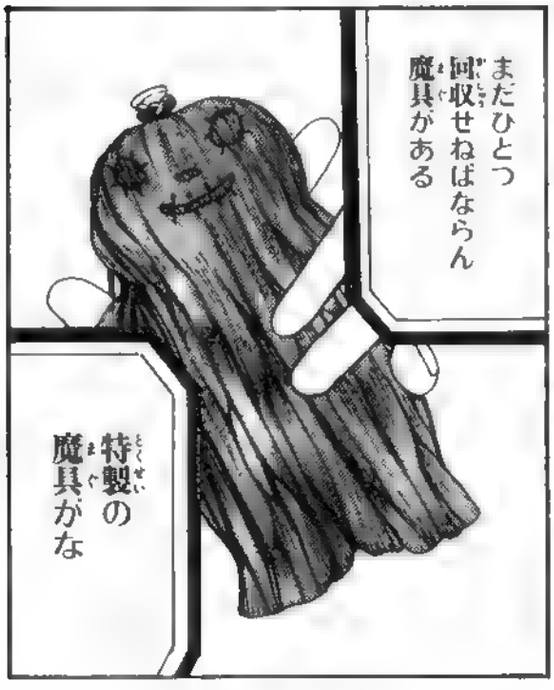

次にまみえるのは
ここでかもしれん
絶海の孤島に
幽閉で放り出され
てさえ——
姫様が
優位になる…
やはりこれが
「はじまりの樹」が造りし
この世の理なのでしょう
それでも
勝たねば
ならん
我らが望む
破壊の力を
手に入れるために


左門
貴様では
勝てん

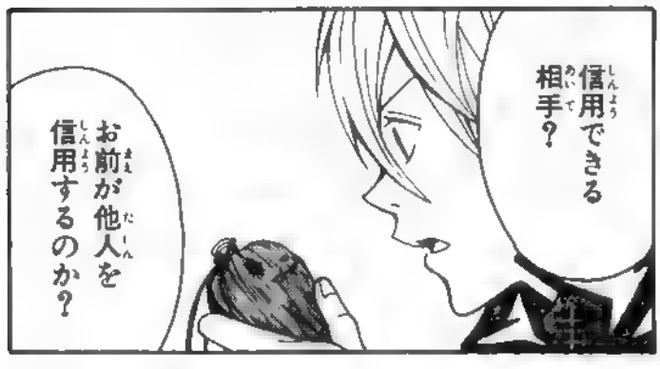

世の理が
私と共にあるかぎり
貴様に勝機は
巡りはしない


——なら
すぐ左門のとこに乗り込むぞ


これまで逃げてるみたいで不愉快だったからな
待て


まだひとつ回収せねばならん魔具がある
特製の魔具がな


これればかりは信用できる相手に預かってもらっている
それを受け取りに行け

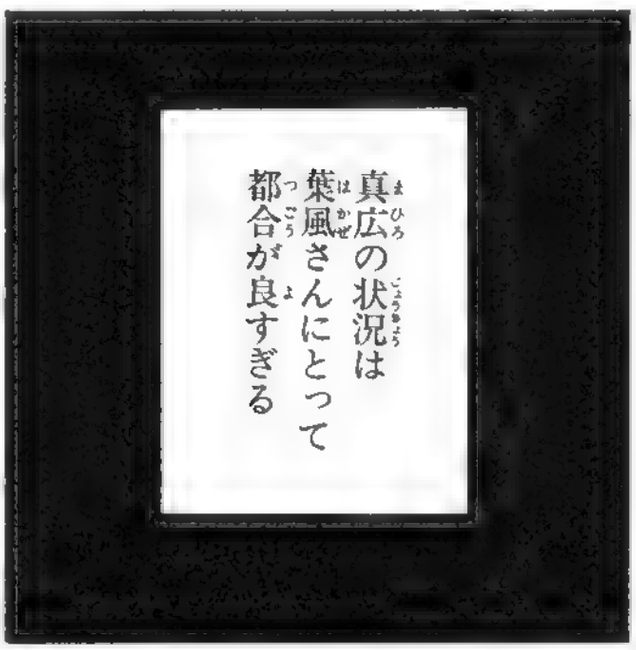

信用できる相手？
お前が他人を信用するのか？


ひとりだけだがな


鎖部一族の一人なのだが妙な立場にあってな…
今も大学生のはずだ
のん気な人だから変わらず同じ所で暮らしていよう
ダンッ
……
どうも引っかかる
何もかも葉風さんの思い通りいき過ぎだ
単に葉風さんの基本的な力が大き過ぎるってだけかもしれないけど…
なら…


真広の存在は
どう説明する？


オレが
その姫様に
手を貸してやる
ことにしたのさ
愛花を
殺したやつを
この手で
殺してやる
犯人は
鎖部一族の
誰かだ
魔法使いは
直接倒さなきゃ
ならないだろ


真広の状況は
葉風さんにとって
都合が良すぎる


その真広が
葉風さんの流した
メッセージ入りの
瓶を拾うとか
そんな
偶然…




吉野さん
全てのことには
わけがあるんです
日々起こる
悲劇も不幸も
いつか明かされる
最良の結末のための
価値ある
出来事なんです


その意味では
ただの不幸なんて
ないのかもしれません
それくらい
人生がうまく
いってくれると
いいんだけどね
マヒロみたいのが
兄だなんて
やってられませんから
そうでも
思わないと
でもあいつは
愛花ちゃんは
大事にしてるよ



*「ハムレット」シェイクスピア(第一幕第五場) 野島秀勝訳 岩波文庫


僕はホレイショーじゃないよ
それに

こういう時
悲劇のセリフを引用しなくても…


愛花ちゃん
これが偶然でなくわけのあることというのなら…


キミが無残に殺されたのは
真広に世界を救わせるためだったとでもいうのかい？
コン
――吉野
…！
つまんねえ心配ならやめとけ
要は最後に辻褄が合えばいい
オレにとってな
やっぱり引っかかる…
これはどこか
おかしいんじゃないか？




潤兄さんにも
何らかの情報が
入っているだろうが
なるべく
心配させたくない


念を押すか
私の現状については
いっさい話すな


星村 潤一郎
コン
コン


ただ魔具を
受け取れ
いいな？




はい
ギィ
どちらさまで？



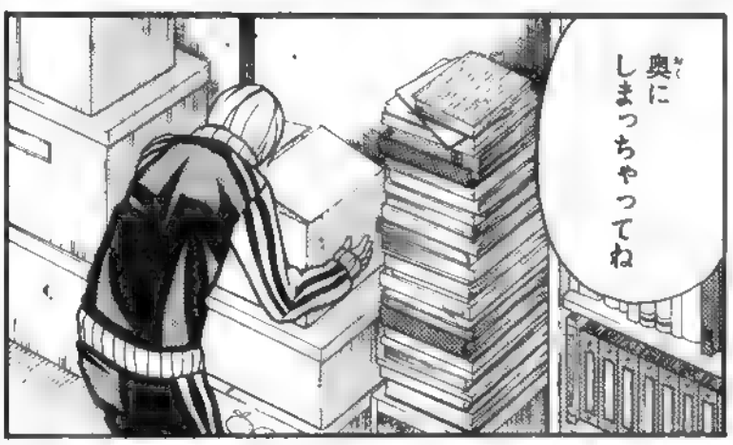

…夜分遅く申し訳ありません
星村「鎖部」潤一郎さんですね？


葉風さんからの依頼で魔具を受け取りにきました
……

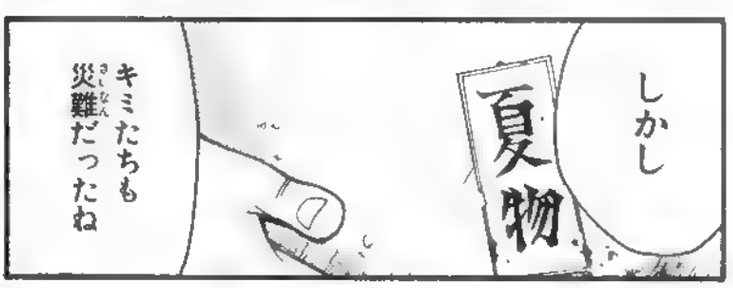

葉風ちゃんの
依頼…？


そうか
あの子はそこまで考えていたのか…
じゃあ中へ――…
あ
一応「合言葉」を言ってくれる？
ずいっ
「揺れない ちちは ちちじゃない」
OK
中に入るといい
この合言葉誰の趣味なんだろ…


まあ
こたつで
ミカンでも食べて
待っててよ

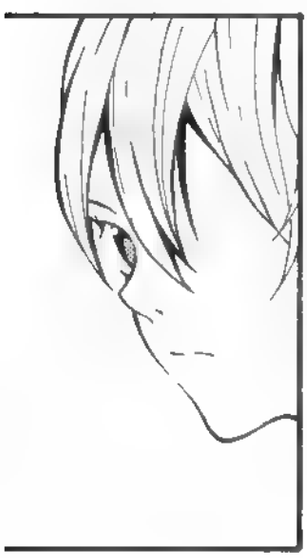

奥に
しまっちゃってね


葉風ちゃんに
見込まれるなんて
昔はおもらしもする
可愛い子だったんだよ


しかし
夏物
キミたちも
災難だったね


なっ…

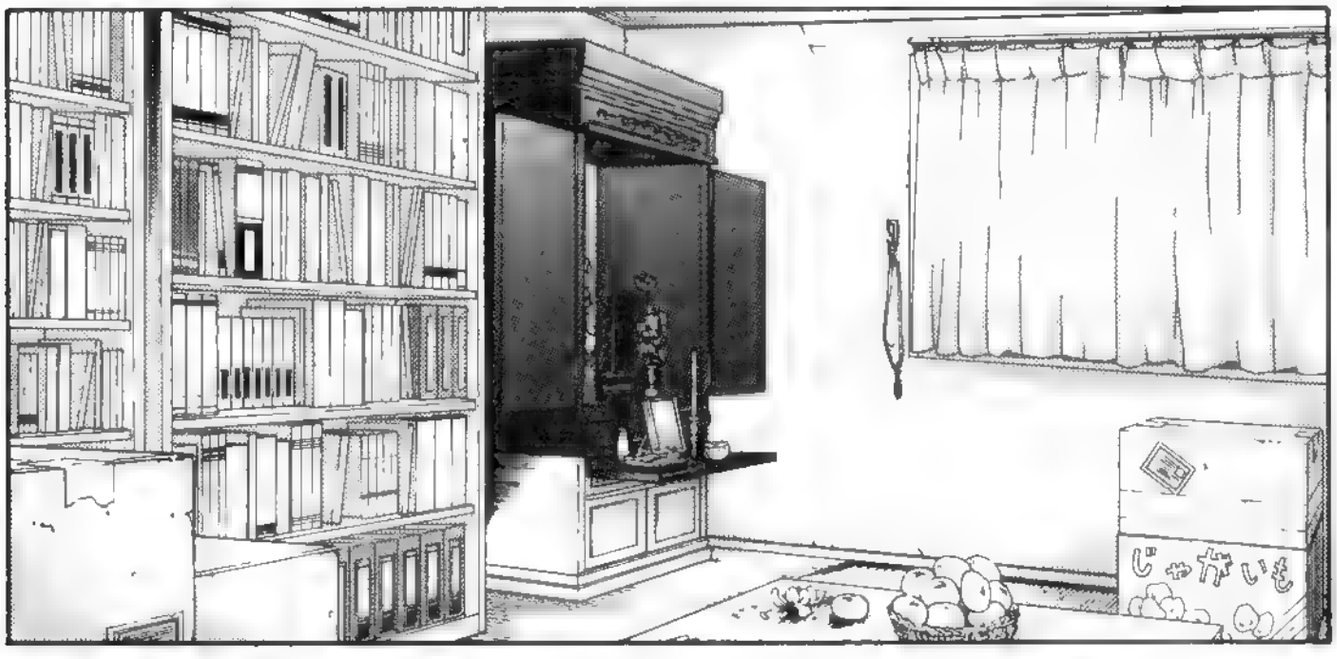

早くしろよ
俺らが暇そうに
見えるか？




ふむ
それも
もっともな話か

なんか
恐ろしく動じない
人だな…
ゴン
ゴン

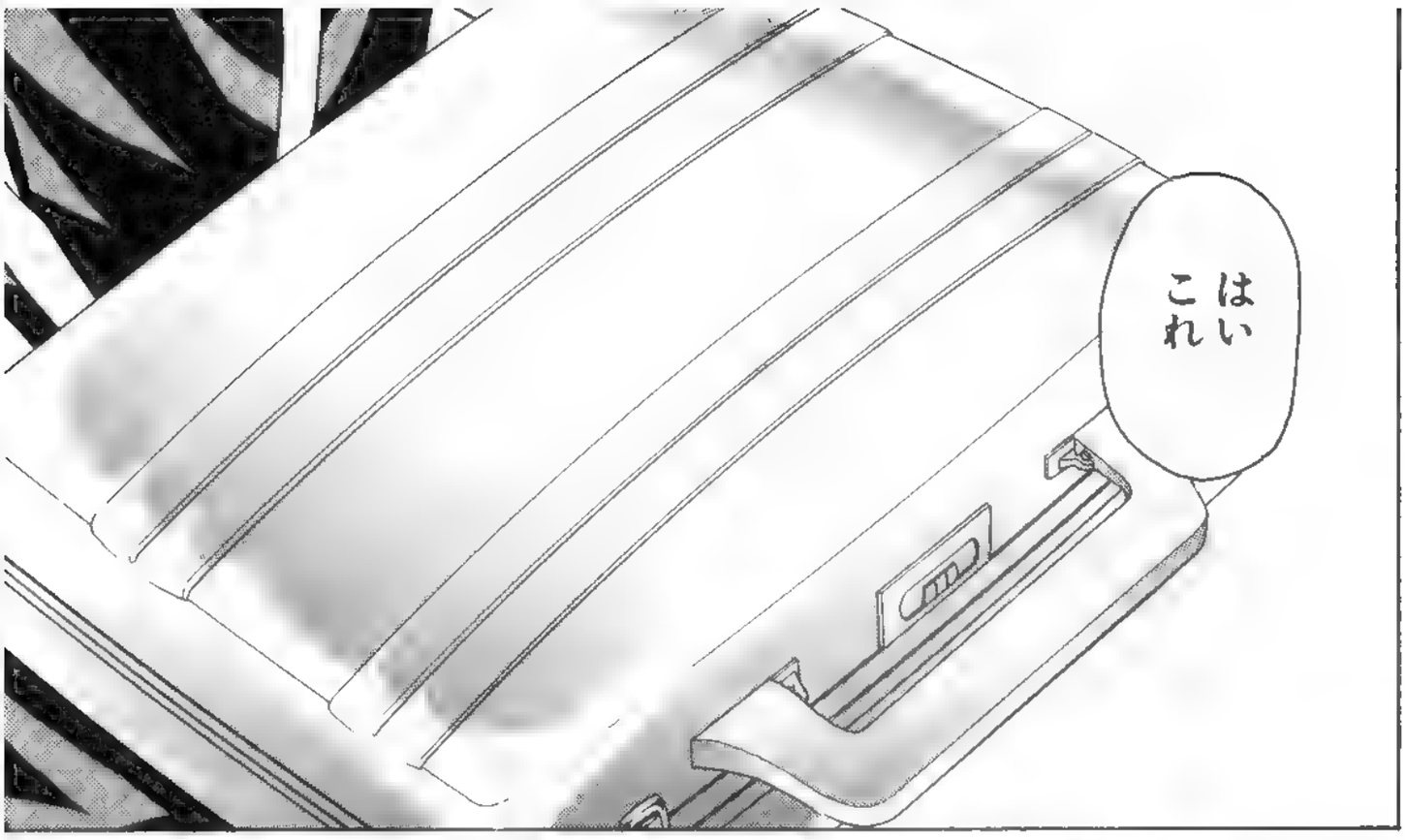
ニ


じゃがいも


仏壇…？


あ
ニ


あった
あった


はい
これ


預けられた
時のままだけど
壊れたりは
していないと…


……
ス…


線香くらい
あげていくかい？
ジジッ

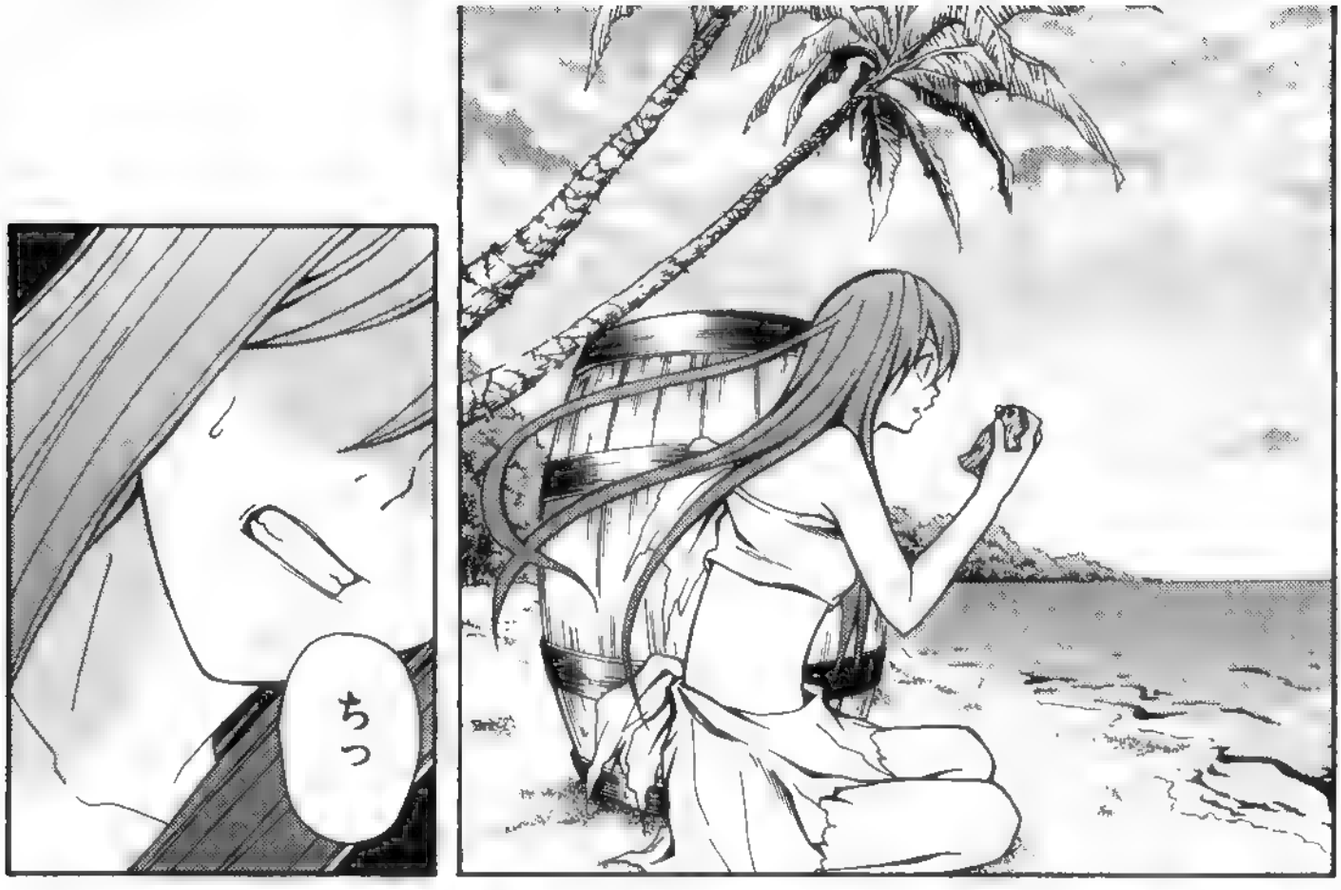

あの
どなたの
です？


ジュ…


葉風ちゃんだよ




彼女が亡くなったの知らなかったの？
!?


ちっ

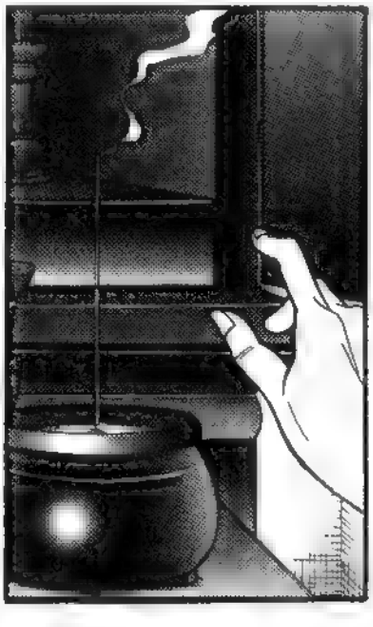

おい


左門め
潤兄さんには
私が死んだと
言ってあるのか


左門にでも
そう言われて
信じたのか？


でもこれは
間違いない


まさか
そんな単純じゃ
ないよ



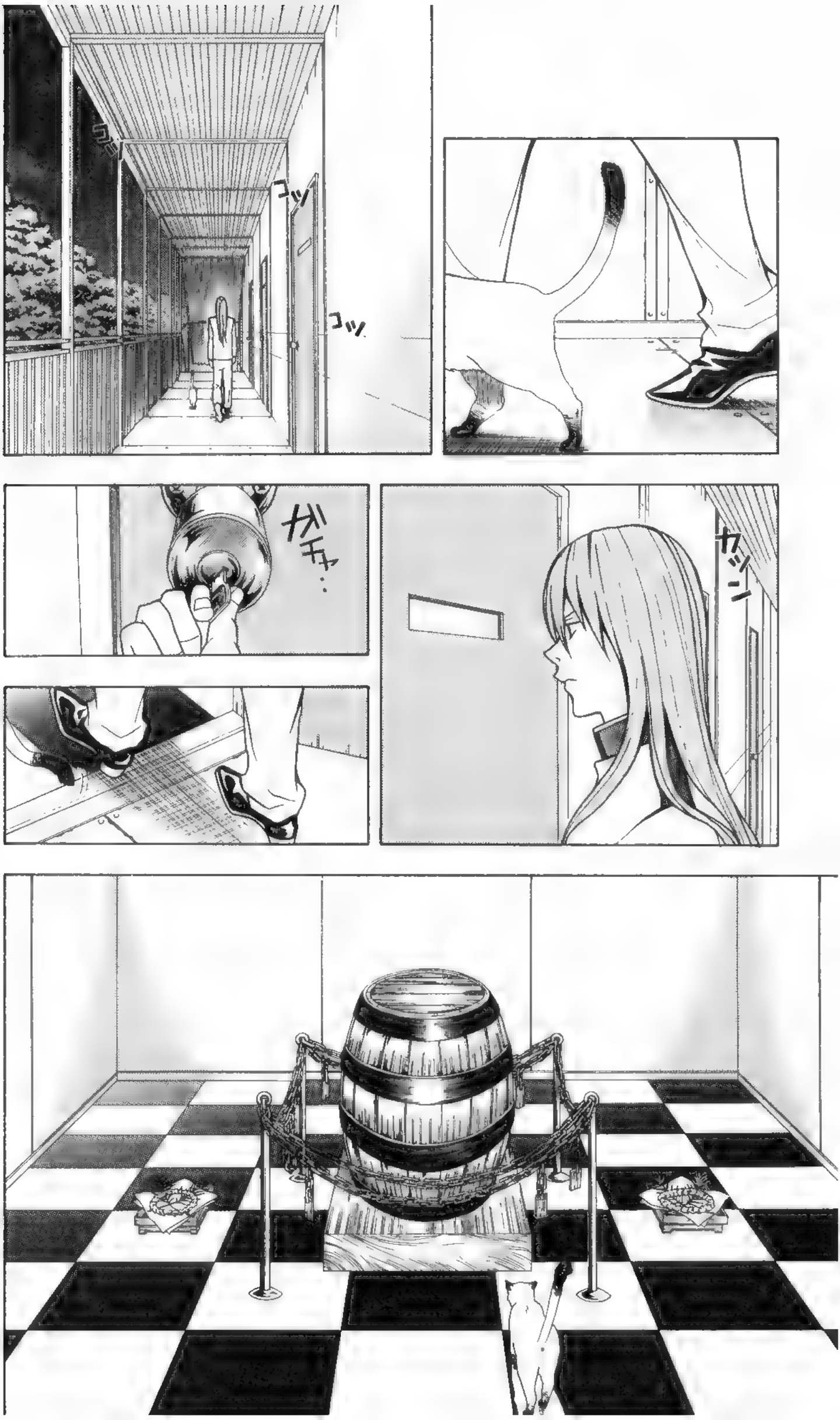

僕は彼女の遺体を
確認したんだ


彼女は
孤島で
樽とともに
死んでいる

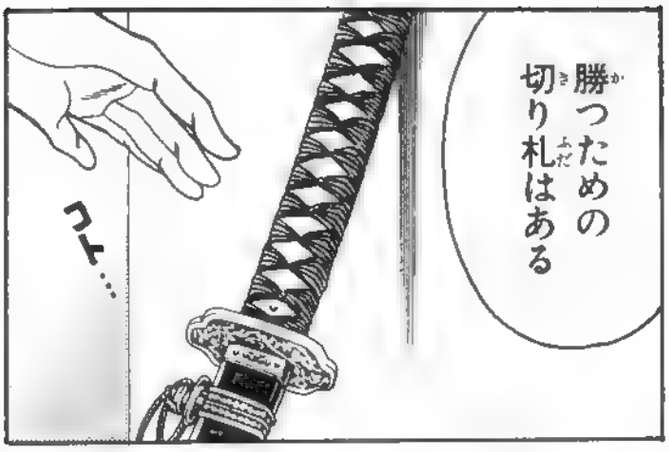


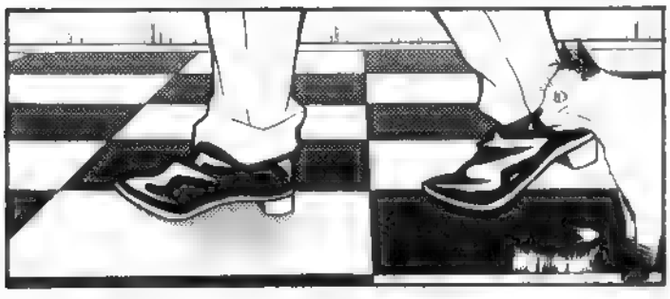


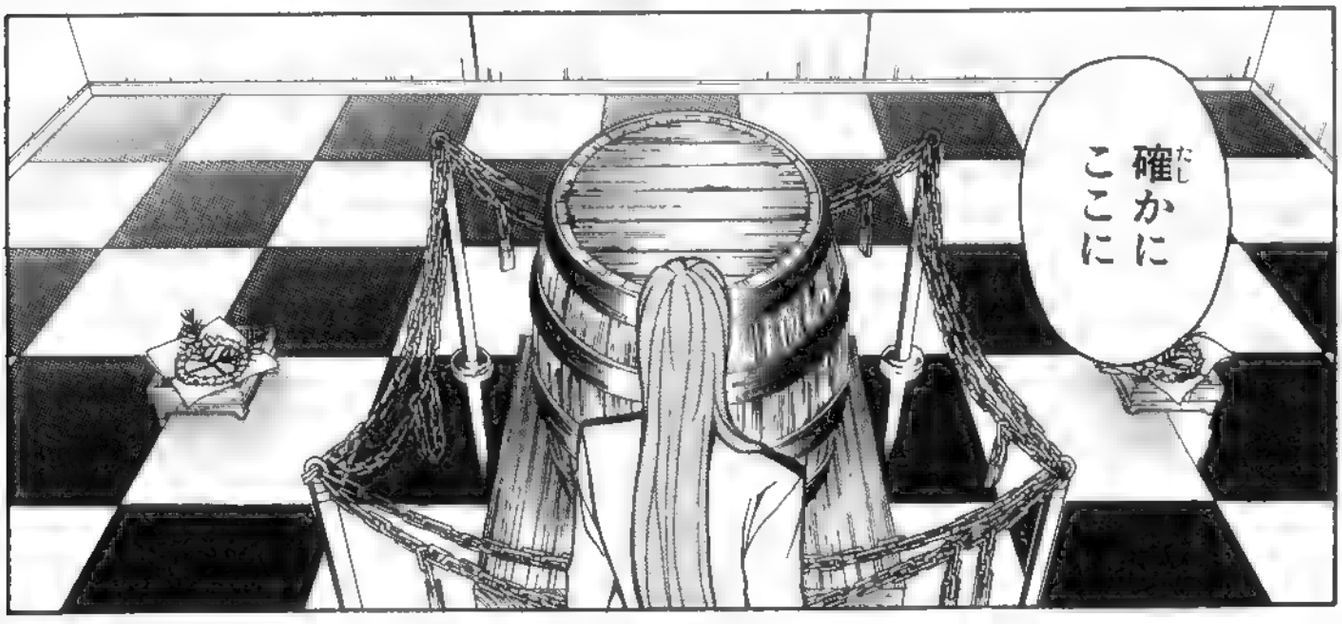



コッ
コッ
ガチャ…
カツン

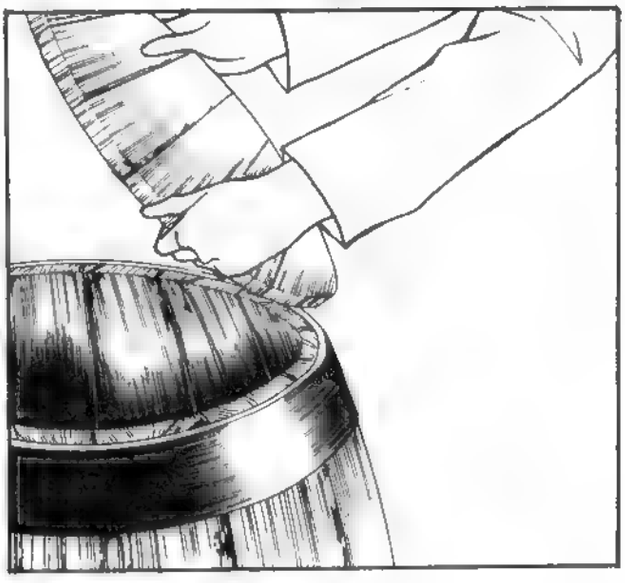

「はじまり」の
理が
姫様に味方を
しようと


勝つための
切り札はある
コト…




確かに
ここに









掲載・月刊少年ガンガン平成21年8月号～11月号

絶園のテンペスト1　おわり

絶園のテンペスト

次巻予告



死んで「骨」と化していた葉風……。



これは一体どういうわけなのか――…!?





「魔法使い」vs「国防軍」、
戦争が始まる…!!



この世界の裏では、
どういう理が働いているかは計り知れない。




——愛花
とにかく しばらく 誰ともどうともなるな
オレに逆らうな
いいな？
復讐を果たすために、
愛花を殺した者を
突き止めようとする真広…。
オレは
あいつに見つけて
もらうやつがいる



［絶園のテンペスト］第2巻へ続く!!

To be continued

ガンガンコミックス

絶園のテンペスト

~THE CIVILIZATION BLASTER~

絶園のテンペスト 1

2010年2月22日
初版

原作/城平 京
構成/左 有秀
作画/彩崎 廉

©2010 Kyo Shirodaira
©2010 Arihide Sano
©2010 Ren Saizaki

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所　図書印刷株式会社

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN978-4-7575-2795-9 C9979